

がん診療連携拠点病院等 院内がん登録

2012年5年生存率集計 報告書

国立がん研究センター がん対策情報センター
がん登録センター 院内がん登録分析室

令和3(2021)年4月
国立がん研究センター がん対策情報センター

がん診療連携拠点病院等 院内がん登録 2012 年 5 年生存率集計の公表について

国立がん研究センターでは、がん対策情報センター・がん登録センターを中心に、これまで全国がん登録及び院内がん登録の標準化や体制整備に努めて参りました。院内がん登録は、2007 年診断症例から全国のがん診療連携拠点病院のデータを収集し、院内がん登録全国集計として我が国のがん診療の実態を把握する資料となるよう、毎年、全国集計報告書を公表しています。院内がん登録情報をもととした生存率集計としては 5 年生存率、科学的根拠に基づく情報をより迅速に提供するために 5 年より早い段階での生存率として、3 年生存率を公表して参りました。

院内がん登録では、2012 年診断症例から UICC TNM 分類第 7 版準拠で病期登録が行われています。そのため、これまでの 2 カ年合算ではなく、2012 年診断症例単年での報告とさせていただきます。2012 年 5 年生存率には、都道府県推薦病院を含め全国 459 施設から 5 年予後情報付院内がん情報を提供いただきました。そのうち、生存状況把握割合が 90%以上であった 365 施設、約 40 万件のデータを用いて集計を行いました。本集計結果が、我が国のがん診療の実態を把握する資料として活用されることを期待します。

本報告書の内容のうち、がんや病期、年階級別の生存率の結果詳細については、Web 上の院内がん登録生存率集計結果閲覧システムからご覧いただけるようになりました。本集計結果が、がん対策立案やがん患者さんへの情報・資料として活用されることを期待します。

令和 3 年 4 月

国立研究開発法人国立がん研究センター 理事長

中釜 斉

生存率について

がん医療を評価する重要な一つの指標として、生存率がある。伝統的に、診断後あるいは治療後 5 年経過した時の生存率が治癒の目安とされており、がん(部位)によっては 10 年生存率が治癒の目安とされることもある。この報告書では、がん診療連携拠点病院 2012 年全国集計の結果を踏まえて、2012 年に診断された例の 5 年生存率を集計した。

信頼性の高い生存率を算定するためには、患者の生存確認を行うことが重要であるため、自施設への来院情報だけにたよらずに、患者の生存状況を把握する生存確認調査(いわゆる予後調査)が必須となる。この生存状況の把握が不十分な場合には真の値よりも高い生存率となることが知られている。また、生存率は生存状況把握割合以外にも生存率を算出した対象集団の基礎疾患の頻度や年齢分布などの偏りなどによっても大きな影響が出る。このように生存率の結果の解釈には様々な要因が影響することに留意する必要がある。

1) 生存状況把握割合の意味

生存率の算出において、先行研究における試算では、生存状況把握割合によって院内のデータのみを使って計算した場合、5 年相対生存率が真の値よりも 10~15% 高く推定されてしまうことがあるとの報告がある。そのため、我が国で先行して施設別生存率の公表をしてきた全国がんセンター協議会の集計方法¹⁾を踏まえて、生存状況把握割合が 90%以上であることを基準として、この基準を全がんにおいて達成した施設のデータのみを集計の対象とした。この生存状況把握割合は国際的には 95%以上が望ましいとされており、わが国の院内がん登録でもより高い把握割合をめざすべきであると考えられる。

2) 生存率の種類

生存率には、その算出の仕方によって大きく「実測生存率」、「疾病特異的生存率」、「相対生存率」、「ネット・サバイバル(Net Survival)」に分けられる。

「実測生存率」は、死因に関係なく、全ての死亡を計算に含めた生存率で、診断例に対する～年後の生存患者の割合で示される。計算方法は複数存在するが、Kaplan-Meier 法が頻用され、医療機関の公表する生存率は Kaplan-Meier 法による実測生存率であることが多い。本報告においても、実測生存率については Kaplan-Meier 法を用いて計算している。

一方で、がんによる生存への影響を把握したいときには、「疾病特異的生存率」、「相対生存率」、「ネット・サバイバル(Net Survival)」が用いられる。「疾病特異的生存率」は、実測生存率で計算される対象にはがん以外の死因による死亡も死亡の中に含まれるため、がん以

外の死因による死亡を、「打ち切り」として計算している。この疾病特異的生存率を正確に推定するためには、がんが死因でないかどうか判定できなければならない。そのため原死因を用いて判定するか、それ以外の死因も含めて判定するかで結果が変わってくる。現在の日本の現状において、この死因の把握はかなり困難である。

これに対し、「相対生存率」、「ネット・サバイバル(Net Survival)」は、実測生存率を対象と同じ性・年齢・診断年(歴年)の一般の日本人集団で「がんではなかった場合の生存率」という考えによる期待生存率を算出し、それで、実際の生存率を割って算出する方法である。疾患特異的生存率のように個々の死因を把握する必要がないため、国際的によく用いられている。

この期待生存率の算出方法の違いから、Ederer I 法、Ederer II 法、Hakulinen 法などがこれまでに開発されてきており、それぞれ特徴があるが、相対生存率に変わる方法として、「ネット・サバイバル(Net Survival)」が目目されている。本集計においては、従来からわが国で推奨されてきた Ederer II 法を用いた。

3) 既存の生存率集計

現在までに、原則として全国を対象とし、かつ臓器別ではなく、全がんを対象として公表されてきたがんの 5 年生存率には、地域がん登録によるもの、全国がんセンター協議会によるものがあり、これらは全て相対生存率で算出されている。

本集計は、人口ベースのデータに近い、臓器別の全国データや、都道府県別データであるため、実測生存率とともに、相対生存率を算出した。

4) 生存率をどう解釈するか

本集計による生存率は、既存の地域がん登録や全国がんセンター協議会の集計結果に比べても、より広汎な集計データといえるが、それでも拠点病院と一部の都道府県推薦病院に限ってのデータであることに留意する必要がある。更に、都道府県別の集計結果を記載しているが、施設数が少ない都道府県のデータについてはかなりの偏りあるいは不正確さが存在していることを想定する必要がある。このため、ここで示した生存率が、単純に当該都道府県のがん医療の優劣ではないことに留意する必要がある。なお、本報告書では、生存率に影響を与えることが想定される情報で、かつ院内がん登録としてデータ収集されている情報として、①性、②年齢、③病期(がんの進行状況)、④観血的治療の有無(手術されたか、されなかったか)などを参考資料として併記して示している。

1) 全がん協調査などでは、消息判明率と呼ばれてきたが、本報告書ではこの呼び方で表記する。

参考資料

- がん登録実務者のためのマニュアル 生存率解析 味木和喜子
2001年9月、大阪府立成人病センター調査部
- がん専門施設における生存率計測の標準化 木下洋子他、
癌の臨床 第46巻第10号、2000年9月、篠原出版新社

目 次

がん診療連携拠点病院等 院内がん登録 2012 年 5 年生存率集計の公表について	2
生存率について.....	3
I 2012 年 5 年生存率集計 調査方法	6
1. 収集の対象と方法.....	6
(1) 収集の対象.....	6
(2) 収集方法.....	6
(3) 収集項目と定義.....	6
2. 集計の対象と集計方法.....	7
(1) 集計の対象.....	7
(2) 集計の手順.....	7
(2) 集計項目の定義.....	8
(3) 集計方法.....	9
(4) 公表の対象.....	9
II 2012 年 5 年生存率集計 結果概要	13
1. 調査参加施設と登録数.....	13
2. 集計対象.....	13
3. 相対生存率集計対象者.....	13
III 2012 年 5 年生存率集計 結果詳細(全体) :悪性新生物<腫瘍>	25
1. 全がん.....	25
2. 胃癌.....	28
3. 大腸癌.....	30
4. 肝細胞癌と肝内胆管癌.....	36
5. 小細胞肺癌と非小細胞肺癌.....	40
6. 女性乳癌.....	44
7. 食道癌.....	45
8. 膵臓癌.....	47
9. 子宮頸癌.....	49
10. 子宮内膜癌.....	50
11. 前立腺癌.....	51
12. 膀胱癌.....	52
13. 喉頭癌.....	54
14. 胆嚢癌.....	56
15. 腎癌.....	58
16. 腎盂尿管癌.....	60
17. 甲状腺癌.....	62
18. 女性卵巣癌.....	67
19. 資料:治療前ステージと術後病理学的ステージの差異.....	69
付表(2012 年 5 年生存率集計).....	73
1. 集計対象施設一覧.....	

I 2012 年 5 年生存率集計 調査方法

1. 収集の対象と方法

(1) 収集の対象

本集計では、2019 年 6 月 26 日時点のがん診療連携拠点病院等 442 施設と 2014 年診断例、2012 年診断例または 2007 年診断例(2012 年 5 年、2007 年 10 年予後情報付収集と同時収集のため)について院内がん登録全国集計(0 年集計)にデータ提出した都道府県推薦病院 300 施設に調査を依頼した。データ収集に当たっては、院内がん登録 2012 年診断例の通年データを持ち、死亡日、最終生存確認日、生存期間等の生存状況情報を含めたデータ提出が可能と考えられる上記の調査依頼施設に、「予後情報付集計」の名称で、2012 年 5 年予後情報付登録情報の提供を依頼した。調査対象例は、2012 年 1 月 1 日から 12 月 31 日までの 1 年間に、自施設で診断または他施設で既に診断されて自施設に初診した、全悪性新生物(がん)及び頭蓋内の良性及び良悪性不詳の腫瘍の登録患者*である。これら対象例の 5 年予後情報付の登録情報(以下「予後情報付腫瘍データ」という。)の提供を各施設に依頼した。なお、各施設における登録対象患者は、下記の通りである。

* 各施設における登録患者について

各施設における登録対象は、登録を実施する自施設での新規の診断患者または他施設で診断された初診患者であり、初発例、再発例を含む。また、治療を行わない経過観察例も含まれる。セカンドオピニオンのみを目的とした初診に関しては登録対象とするかどうかは各施設の判断に任されている。1 腫瘍 1 登録の原則に基づき、同一患者に別のがん種と判断されるがんが同時または時間をあけて(異時性に)生じた場合には、多重がんとして登録される。なお、多重がんの判断は各施設に任されている。登録済みの同じがんについて当該施設で治療中に再発した患者については登録対象ではないが、同じ患者が同じがんで複数の病院を受診した場合は、異なる施設において同じ患者の同じがんが登録されている可能性がある。(本全国集計では提供されたデータは匿名化後のデータであるため、重複の整理は行わない。)

(2) 収集方法

2019 年 5 月 22 日に、対象施設に、「院内がん登録予後情報付集計 手順書」を送付し、手順書に従って作成されたデータの提供を依頼した。データは、エラーチェックのための品質管理ツールを用いインターネット(ネットワーク型)を通しての提出を依頼した。データ収集期間は、2019 年 6 月 3 日から 6 月 26 日までとした。

提出においては、「がん診療連携拠点病院院内がん登録標準登録様式登録項目とその定義 2006 年度版修正版」において定義された標準項目(以下「標準項目」と略す。)を満たす腫瘍データを収集した。項目の品質管理(定義通りの項目・区分で登録されているか、関連する項目間の登録内容に矛盾はないか等)については、ネットワーク型ではデータの收受の段階で品質管理を

実施し、論理矛盾がない状態でのデータ提供への協力を依頼した。なお、健総発第 0907001 号「がん診療連携拠点病院で実施する院内がん登録における必須項目の標準登録様式に係る改正等」において定義された必須項目のみでのデータ提供についてはデータ精度管理上の問題から集計対象としなかった。

(3) 収集項目と定義

収集項目は、前述の診断から 5 年後の生存状況の情報を含む標準項目である。また、予後情報付腫瘍データの提出にあたり、下記の計算式に従って、追跡期間(日数)を計算し入力するよう依頼した。

* 追跡期間(日数)の計算方法

追跡期間(日数)とは、起算日から生存最終確認日もしくは死亡日までの日数とする。起算日は、後述する集計用診断日決定のルールに従って決定する。追跡終了日とは、予後調査結果が死亡であり死亡日があれば死亡日、生存の場合は生存最終確認日とする。

$$\text{追跡期間 (日)} = \text{追跡終了日} - \text{起算日} + 1$$

本集計に関連する項目について以下に記述する。その他の標準項目の定義は、2012 年全国集計報告書を参照いただきたい。

i. 診断区分

診断区分は、わが国の地域がん登録との整合性を図るために用いられている分類で、「1:初発(治療開始前)」、「2:治療開始後」に分けられる。この項目は当該腫瘍について自施設に受診する前に他施設において既に治療が開始されていたか否かを区別するもので、この項目が「1:初発(治療開始前)」であったケースでは、自施設で行われた治療は初回治療とみなす。本来であれば、一連の治療方針の下で施設を問わずに初回治療とされるべきであるが、わが国の現状では、施設が異なると、一連の治療であるかないかが判明しないことが多く、そのため、他施設での治療の情報は、初回治療であっても「初回治療なし」とするルールを定めている。

ii. 症例区分

症例区分は生存率の算定等で対象となる患者範囲を決定する重要な区分である。院内がん登録の機能の一つには、各施設の対がん医療活動の評価のための基礎資料を提供することにある。他施設と比較し自施設のがん診療実態を把握するためには、がん対象例を正しく識別する必要がある。この項目では、初回診断(登録施設での診断の有無)と初回治療(登録施設における初回治療の有無)の組み合わせにより患者を分類するための区分を登録している。本集計では、原則として「症例区分 2:診断ならびに初回治療に関する決定・施行がなされた症例」及び「症例区分 3:他施設で診断確

定され、自施設で初回治療方針に関する決定・施行が行われた症例」を分析対象とする。また、施設によっては前述の診断区分のみを入力している施設もあり、本集計では診断区分の組み合わせから症例区分を算出する対応表を用いて集計を行った。

iii. 臨床病期

治療前ステージ

UICC (Union for International Cancer Control) の定める病期の分類方法に基づき、何らかの治療が行われる以前につけられたステージを指す。わが国の一般的な臨床現場で使用される癌取扱い規約に基づくステージとは若干異なる部分がある。胃、乳房、肝臓、大腸、肺についてのみ、標準項目とされているが、他のがんについては任意の登録となっている。肝臓については、取扱い規約のステージも標準項目として登録することになっている。

前医で治療がなされており治療前のステージが不明の場合などは「不明」に分類されるか、空白のまま登録される。わが国の診療情報に関わる施設間の情報交換に関する懸念からこのような方針をとっている。

術後病理学的ステージ

手術が行われた患者に対して、術後に検体が提出され病理学的に算出されたステージを登録する。手術が行われなかった場合には空欄で、術前に化学療法や放射線療法、免疫・内分泌療法などが行われた場合には、手術前の治療の影響が予想されるため、術後病理学的ステージは適応外として登録される。定義上は、原発巣に対する切除術が行われ、断片が陰性であるような治癒的な切除が行われた場合に本ステージが評価できるとされている。術後病理学的ステージは、腫瘍やリンパ節を顕微鏡的に観察して得られるステージであることから、治療前ステージと比較して、治療開始時点でのがんの状態をより正確に表しているといえる。

なお、2012年登録対象はUICC TNM 第7版準拠で登録されている。

iv. 治療の有無

院内がん登録において登録される治療は、登録対象となったがんに対する初回治療である。初回治療とは治療開始時点で計画された一連の治療のことであり、症状・治療の進行に従って後に追加された治療などは含まれない。当初経過観察が計画されていたが、病状が悪化したために治療が行われた場合なども「初回治療なし」となる。また、症状緩和的な目的で行われた手術や放射線治療は、部分的に腫瘍に対する治療であるといえることから登録対象に対する治療の一環に考えるが、腫瘍に影響のない、鎮痛剤や制吐剤などの治療は、「治療あり」としない。

現時点の院内がん登録では、「i 診断区分」で既に述べたとおり、登録施設で行われた治療のみを「初回治療あり」としている。

① 手術・体腔鏡的治療

手術とは一般に外科的治療を指し、体腔鏡とは麻酔

下に行われる腹腔鏡、胸腔鏡などの手術を指す。これらには、消化管や気管支内視鏡による治療を含めない。

② 内視鏡治療

上記で除外された、消化管、気管支内視鏡などによる治療を指す。

③ 放射線治療

原発巣に対する放射線治療だけではなく転移巣に対する放射線治療も含まれる。小線源療法も放射線治療として登録される。

④ 化学療法、免疫療法・BRM、内分泌療法

症状緩和のための薬物療法(鎮痛剤、制吐剤)などは含まない。また、通常の静注・経口化学療法だけではなく、肝動脈化学塞栓療法(TACE)に含まれる化学療法や動注療法も化学療法に分類される。内分泌療法には前立腺癌における除睾術等も含まれる。

⑤ 外科的・体腔鏡的・内視鏡的治療の結果

当該のがんに対する外科・体腔鏡的・内視鏡的治療の根治度を登録する。ここでは、初回治療として行った総合的な結果を記載する。つまり、最初内視鏡的な治療を行ったが、その後外科的な追加切除が行われた場合は、外科的切除の根治度を登録する。

2. 集計の対象と集計方法

(1) 集計の対象

生存率集計における集計対象は、2012年に診断された例で次のiからiiiを満たす例を集計対象とした。

i. 自施設診断・自施設治療と他施設診断・自施設治療例

「症例区分 2:診断ならびに初回治療に関する決定・施行がなされた症例」及び「症例区分 3:他施設で診断確定され、自施設で初回治療方針に関する決定・施行が行われた症例」を集計対象とした。

ii. 悪性新生物<腫瘍>(一部良性の脳腫瘍)

本集計では、原則として新生物<腫瘍>の性状コード3の「悪性、原発部位(悪性新生物<腫瘍>)」の例を集計対象とした。但し、脳・中枢神経系に発生した腫瘍性疾患については、良性、良性又は悪性の別不詳の例を含めて集計対象とした。また、GISTの良性または悪性の別不詳を集計対象に含めた。

iii. 年齢

診断時の年齢が0から99歳までの例を集計対象とした。

(2) 集計の手順

① 集計対象例の選定

提出されたデータから上記のiからiiiに該当する例を抽出した。

i 自施設診断・自施設治療と他施設診断・自施設治療例

集計対象施設から提供されたデータを、表1-1 集計用診断日の決定のルール、及び表1-2 集計用症例区分の決定のルールに基づいて、「項目:集計用診断日」、

「項目：集計用症例区分」を作成した。その後、集計用症例区分が2, 3であった例を集計対象とした。

ii 悪性新生物<腫瘍> (一部良性の脳腫瘍)

原則として、「項目：330 組織診断名コード」の新生物<腫瘍>の性状を表す第5桁コードが「3:悪性、原発部位」であった例を集計対象とした。但し、一部の脳・中枢神経系に発生した腫瘍性疾患、ICD-O-3の局在コードが「C70.0, C70.9, C71.0, C71.1, C71.2, C71.3, C71.4, C71.5, C71.6, C71.7, C71.8, C71.9, C72.2, C72.3, C72.4, C72.5, C72.8, C72.9, C75.1, C75.2, C75.3」の場合は、「0:良性」又は「1:良性又は悪性の別不詳」であった場合も集計対象に含めた。また、GISTの良性または悪性の別不詳を集計対象に含めた。

iii 年齢

年齢は、生年月と集計用診断年月を用いて、院内がん登録全国集計と同様に下記の定義で求めた。

診断年月の月 > = 生年月日の月

⇒ 診断年月の年 - 生年

診断年月の月 < 生年月日の月

⇒ 診断年月の年 - 生年 - 1

上記で求めた年齢が0~99歳までの例を集計対象とした。

上記で選定した例から、下記の㉞~㉟に該当する場合は集計対象から除外した。

㉞ 性別不詳の場合

半陰陽や性同一性障害による戸籍性別の変更等のため、性別で特有の臓器に発生した腫瘍と戸籍上の性別が矛盾していないかを確認した上で、性別が不詳(項目：性別が9)であった者を除外した。性別で特有の臓器に発生した腫瘍について矛盾があった場合は、臓器に基づいて性別を修正した上で集計した(例：前立腺と登録があった場合に性別が女性として登録されていたら、男性として集計)。

㉟ 追跡終了日の年月が不明の場合

追跡終了日は、「項目 660：予後調査結果」が死亡であった場合は死亡日、生存であった場合は最終生存確認日となる。ただし、死亡例であっても死亡日の年または月が不明の場合は、打ち切り扱いとし、生存最終確認日を追跡終了日とした。追跡終了日の年あるいは月が不明であった場合は、集計対象から除外した。

㊱ UICC TNM 分類総合ステージが0期の場合

病期は、患者の予後を予測する上で重要である。院内がん登録では、UICC TNM 分類に基づく治療の選択と評価に不可欠である臨床分類(治療前ステージ)と、術後アジュバント療法の指針となり、予後推定や遠隔成績の計算のための追加情報を提供する術後病理学的分類ステージについて情報を収集している。本集計では、腫瘍切除例(外科的・体腔鏡的・内視鏡的治療の結果が、1:治療切除、2:非治療切除、3:

治療/非治療の別不詳)については腫瘍の縮小を目的とした化学療法や放射線療法あるいは免疫・内分泌療法などを施行後の腫瘍切除例(術後病理学的ステージ適応外例)及び術後病理学的ステージが不詳であった例を除き、UICC TNM 分類術後病理学的ステージをより患者の治療前の病期を表すとしてUICC TNM 分類総合ステージとして用いた。腫瘍切除例以外はUICC TNM 分類治療前ステージをUICC TNM 分類総合ステージとして用いた。なお、本集計では総合ステージが0期であった場合は、集計対象から除外した。

㊲ 追跡期間(日数)の確認

追跡期間(日数)は正確な生存率を算出するために必須の項目である。2012年診断例については、品質管理において、登録された追跡期間の確認を行っている。

㊳ 集計対象施設の選定

生存率の推定値は、生存状況把握割合に影響を受ける。5年生存率を計算する場合には、対象者全員の5年後の生存状況を把握することが必要となる。これまで、全国がんセンター協議会は、加盟施設の生存率を公表してきた。その中で、がんの生存率は生存状況把握割合を100%に近づけるほど、真の値に近づくこととされ、概ね95%以上の生存状況把握割合を維持する必要があるとされている。しかしながら、現在の院内がん登録における生存確認調査の実施においては、障害も多く、調査を実施しても生存状況が確認できず、生存状況把握割合が低い施設も存在する。また全国がんセンター協議会の生存率公表においても、改善が要するとされつつも生存状況把握割合が90%を超えた場合に施設の生存率が公表されてきた。これらの経緯を踏まえ、本集計では前述の集計対象例の生存状況把握割合が90%以上の施設を集計対象とした。具体的には、予後調査結果が生存であるが追跡期間(日数)が5年未満の打ち切り例が施設の生存率集計対象例の10%未満である施設を集計対象施設とした。

生存状況把握割合 = (1 - 打ち切り例数 / 集計対象例数) × 100

(2) 集計項目の定義

● 部位区分

表 1-3 部位分類コード対応に基づき、作成した。

● 臨床病期

UICC TNM 分類総合ステージ

2012年診断例では、UICC TNM 分類第7版に準拠してUICC TNM 分類の治療前及び術後病理学的ステージが登録されている。

本集計では、がん患者の予後に影響するステージとして、治療開始時点でのがんの状態をより正確に表している術後病理学的ステージがある場合(適応外、不詳、空欄を除く)は術後病理学的ステージを、無い場合は治療前ステージを用いて、UICC TNM 分類総合ステージとして集計に用いた。なお、本集計では、各施設で

登録されたステージの値を用いて集計をしており、登録されている TNM 情報からみてステージが UICC TNM 分類のステージと一致しない場合であってもデータに修正は加えていない。

各生存率の集計対象は、表 1-4 の部位・組織形態コードとする。

● 観血的治療

当該のがんに対する外科・体腔鏡的・内視鏡的治療の根治度について、「項目 520:外科的・体腔鏡的・内視鏡的治療の結果」に登録することとなっている。登録の際には、「1:原発巣-治癒切除」、「2:原発巣-非治癒切除」、「3:原発巣-治癒/非治癒の別不詳」、「4:姑息/対象治療、転移巣切除」、「8:その他」、「9:不詳」の中から一つを選択する。本集計では、観血的治療の有無、外科・体腔鏡的・内視鏡的治療の根治度別に生存率を集計した。

(3) 集計方法

前述のとおり選定された集計対象例・集計対象施設において、5 年後の生存状況変数を作成し生存率を推定した。追跡期間(日数)が5年未満でかつ予後調査結果が死亡であった場合は、5 年後の生存状況＝死亡(1)とした。

生存率は、Kaplan-Meier 法を用いた実測生存率と、国立がん研究センターがん対策情報センターがん登録センターにおいて作成されたコホート生存率表(2016 年版)を用い、Ederer II 法を用いた相対生存率を推定した。なお、本報告書では StataMP 16.0 (Stata Corporation, College Station, TX, USA)を用い、Paul W. Dickman ら

が開発した strsr を用いて相対生存率を推定している。

がんごとの集計では、集計対象定義に基づいて集計を行った。なお、上皮内がん(総合ステージ 0 期)については生存状況把握割合の算出の際には対象に含めていないが、上皮内がんの生存率を算出することも重要との判断から、全がん(上皮内がん除く)で生存状況把握割合が 90%以上の施設のデータを用いて算出した。

(4) 公表の対象

令和 2 年度第 1 回都道府県がん診療連携拠点病院連絡協議会がん登録部会での検討に基づき、以下の公表基準に沿って、生存率を公表する。

生存率の推定値は、対象例数、死亡者数等の件数に依存する。一般に対象例数が 30 例未満の場合、推定された生存率の信頼性が低くなるため、本集計では対象例数が 30 例未満の場合は、5 年生存率を公表しないこととする。なお、各集計表において、集計値が 10 未満の場合、個人が特定される可能性が高いことから、厚生労働省平成 28 年 8 月 4 日第 8 回がん診療提供体制のあり方に関する検討会での検討に従い 1-3 件、4-6 件、7-9 件といった形で公表する。

なお、都道府県別生存率については、当該都道府県で集計対象が 1 施設となる場合は表示していない。

参考資料

1)全国がんセンター協議会. 全がん協加盟施設におけるがん患者生存率公表にあたっての指針(案) 2004/11/25版 厚生労働省がん研究助成金「地域がん専門診療施設におけるソフト面の整備拡充に関する研究」班

表1-1 集計用診断日決定のルール

集計用症例区分	集計用診断日	備考
1:診断のみ	診断日2	
2:自施設診断自施設治療	診断日2	
3:他施設診断自施設治療	当該腫瘍初診日	
4:初回治療開始後の症例、 もしくは再発症例	当該腫瘍初診日	*
5:剖検	診断日2	死亡日
8:その他	診断日2、当該腫瘍初診日のいずれか	*

* 優先する集計用診断日となる日付が登録されていない場合、診断日 2、当該腫瘍初診日、診断日 1、入院日の中で、2012 年の日付の項目を用いて作成した。

表 1-2 集計用症例区分の決定のルール

診断区分	診断施設	治療方針	集計用症例区分
1:初発	1:自施設診断	1:自施設で治療	2:自施設診断自施設治療
1:初発	1:自施設診断	3:自施設で経過観察	2:自施設診断自施設治療
1:初発	1:自施設診断	4:他施設へ紹介	1:診断のみ
1:初発	1:自施設診断	8:来院中断	1:診断のみ
1:初発	1:自施設診断	9:その他	1:診断のみ
1:初発	2:他施設診断	1:自施設で治療	3:他施設診断自施設治療
1:初発	2:他施設診断	3:自施設で経過観察	3:他施設診断自施設治療
1:初発	2:他施設診断	4:他施設へ紹介	8:その他
1:初発	2:他施設診断	8:来院中断	8:その他
1:初発	2:他施設診断	9:その他	8:その他
2:治療開始後	2:他施設診断	1:自施設で治療	4:初回治療開始後の症例、 もしくは再発症例
2:治療開始後	2:他施設診断	3:自施設で経過観察	4:初回治療開始後の症例、 もしくは再発症例
2:治療開始後	2:他施設診断	4:他施設へ紹介	8:その他
2:治療開始後	2:他施設診断	8:来院中断	8:その他
2:治療開始後	2:他施設診断	9:その他	8:その他

症例区分が登録されているケースでは症例区分を優先、症例区分が登録されていない例では、診断区分・診断施設・治療方針から上記のルールで変換した集計用症例区分を用いて集計用症例区分を作成した。

表 1-3 部位分類コード対応

部位名	第 1 段階 ICD-O-3 形態コード	第 2 段階 ICD-O-3 部位コード
口腔・咽頭		C00-C14
食道		C15
胃		C16
結腸		C18
直腸		C19-C20
大腸		C18-C20
肝臓		C22
胆嚢・胆管		C23-C24
膵臓		C25
喉頭		C32
肺		C33-C34
骨・軟部		C40-C41、C47、C49
皮膚(黒色腫を含む)		C44
乳房		C50
子宮頸部		C53
子宮体部		C54
子宮		C55
卵巣		C56
前立腺		C61
膀胱		C67
腎・他の尿路		C64-C66、C68
脳・中枢神経系		C700、C71、C722-C729、C751-C753
甲状腺		C73
悪性リンパ腫	959-972 974-975	
多発性骨髄腫	973、976	
白血病	980-994	
他の造血器腫瘍	995-998	C421
その他		第 1 段階、第 2 段階で変換された以外の症例

※全がんの集計対象の部位分類であり、生存率集計はがん種別となっていることに留意

表 1-4 各生存率の集計対象

	局在コード	組織形態コード
胃癌	C160, 161-166, 168, 169	8000-8157 (但し、8153 を除く), 8160-8162, 8170-8231, 8244, 8246-8247, 8250-8551, 8560-8576, 8940-8941
大腸癌	C180, 182-189, 199, 209	8000-8157 (但し、8153 を除く), 8160-8162, 8170-8231, 8246-8247, 8250-8551, 8560-8576, 8940-8941
肝細胞癌	C220	8170-8175
肝内胆管癌	C221	8013, 8041, 8148, 8160-8161, 8180, 8246, 8980
小細胞肺癌	C340-343, 348, 349	8041-8045
非小細胞肺癌	C340-343, 348, 349	8000-8157 (但し、8041-8045 を除く), 8160-8162, 8170-8231, 8240-8245, 8246-8247, 8249, 8250-8551, 8560-8576, 8940-8941, 8972, 8980
乳癌 (女)	C500-509	8000-8157, 8160-8162, 8170-8231, 8246-8247, 8250-8551, 8560-8576, 8940-8941, 8982
食道癌	C150-155, 158, 159	8000-8157, 8160-8162, 8170-8231, 8240-8245, 8246-8247, 8249, 8250-8551, 8560-8576, 8940-8941
膵臓癌	C250-253, 257, 259	8000-8157, 8160-8162, 8170-8231, 8240-8245, 8246-8247, 8250-8551, 8560-8576, 8940-8941, 8971
前立腺癌	C619	8000-8157 (但し、8120-8131 を除く), 8160-8162, 8170-8231, 8240, 8246-8247, 8250-8551, 8560-8576, 8940-8941
子宮頸癌	C530-531, 538, 539	8000-8157, 8160-8162, 8170-8231, 8240, 8246-8247, 8249, 8250-8551, 8560-8576, 8940-8941
子宮内膜癌	C540-543, 548, 549	8000-8157, 8160-8162, 8170-8231, 8240, 8246-8247, 8250-8551, 8560-8576, 8940-8941, 8980
膀胱癌	C670-679	8000-8157, 8160-8162, 8170-8231, 8246-8247, 8250-8551, 8560-8576, 8940-8941
甲状腺癌 (乳頭・濾胞癌)	C739	8050, 8230, 8260, 8290, 8330-8332, 8335, 8337, 8340-8344, 8350
甲状腺癌 (未分化癌)	C739	8020, 8021
甲状腺癌 (髄様癌)	C739	8345
胆嚢癌	C23.9	8000-8157, 8160-8162, 8170-8231, 8244, 8246-8247, 8250-8551, 8560-8576, 8940-8941
喉頭癌	C32.0,32.1,32.2,10.1	8000-8157, 8160-8162, 8170-8231, 8246-8247, 8250-8551, 8560-8576, 8940-8941
腎	C64.9	8000-8157, 8160-8162, 8170-8231, 8246-8247, 8250-8551, 8560-8576, 8940-8941
腎盂尿管	C65.9,66.9	8000-8157, 8160-8162, 8170-8231, 8246-8247, 8250-8551, 8560-8576, 8940-8941
卵巣癌 (女)	C56	8000-8157, 8160-8162, 8170-8231, 8246-8247, 8250-8551, 8560-8576, 8620, 8940-8941, 8980, 9000, 9014-9015, 9060, 9071, 9070, 9072, 9080, 9100, 9085

Ⅱ 2012年5年生存率集計 結果概要

1. 調査参加施設と登録数

調査を依頼した 742 施設(がん診療連携拠点病院等 442 施設(小児がん拠点含)、都道府県推薦病院 300 施設)のうち、460 施設(がん診療連携拠点病院等 368 施設、都道府県推薦病院 92 施設)から 5 年予後情報付腫瘍データが提供された(協力率 61.9%、がん診療連携拠点病院等 83.3%、都道府県推薦病院 30.7%)。そのうち通年データでなかった施設を除外し、がん診療連携拠点病院等 367 施設、都道府県推薦病院 92 施設のデータを集計した。なお、表 2-1-1 に全登録数と集計対象を示す。

2. 集計対象

(1) 集計の対象

① 集計対象例の選定

i 自施設診断自施設初回治療及び他施設診断自施設初回治療

提出されたデータ全体で、「自施設診断・自施設初回治療(症例区分 2)」が 401,757 例(61.6%)、「他施設診断・自施設初回治療(症例区分 3)」が 127,528 例(19.5%)であり、全登録数の 81.1%を占めた。

ii 悪性新生物<腫瘍>

症例区分 2, 3(自施設診断・自施設初回治療又は他施設診断・自施設初回治療)のうち悪性新生物<腫瘍>(新生物<腫瘍>の性状コードが 3)は、462,849 例(87.4%)であった。脳腫瘍の良性又は良性・悪性の別不詳を合わせると集計対象腫瘍例は、473,118 例(89.4%)であった。

iii 年齢

診断時の年齢を見ると、100 歳以上が 144 例あり、生存率集計からは除外した。年齢別にみると、70 歳代が 32.0%と最も多く、次いで 60 歳代が 28.5%であった。

上記で選定した例から、性別不詳及び追跡終了日不明または UICC TNM 分類総合ステージ 0 期の合計 183 例を集計対象から除外した。

② 追跡期間(日数)の確認

5 年予後情報付データ収集では、品質管理において追跡期間の確認を行った。なお、追跡終了日(死亡例の場合は、死亡日の年月、生存例の場合は、生存最終確認日の年月)が不明の場合は集計対象から除外した。但し、死亡例で死亡日の年月が不明であっても、生存最終確認日の年月が判明している場合は、生存最終確認日を追跡終了日とし、打ち切り例として集計した。

(2) 生存状況把握割合

各施設における集計対象例に対する生存状況把握割合について検討した結果、最も低かった施設の生存状況把握割合は、8.3%で、最も高かった施設は 100.0%であった。都道府県・施設別生存状況把握割合につい

て図 2-1 に示した。以降の集計結果では、生存状況把握割合が 90%以上であった 365 施設(がん診療連携拠点病院等 318 施設、都道府県推薦病院 47 施設)における登録例を集計対象とした。

3. 相対生存率集計対象者

全がんで生存状況把握割合が 90%以上であった 365 施設において集計対象例は、406,210 例であった。

表 2-1-1 調査参加施設の全登録数と集計対象

	集計対象外施設		集計対象施設		全体	
	94 施設	(%)	365 施設	(%)	459 施設	(%)
全登録数	92,570	100.0	560,038	100.0	652,608	100.0
症例区分別登録数						
1. 診断のみ	6,317	6.8	29,802	5.3	36,119	5.5
2. 自施設診断・自施設初回治療	60,290	65.1	341,467	61.0	401,757	61.6
3. 他施設診断・自施設初回治療	14,800	16.0	112,728	20.1	127,528	19.5
4. 初回治療開始後・再発	8,871	9.6	55,418	9.9	64,289	9.9
5. 剖検	64	0.1	289	0.1	353	0.1
6. 不明・その他	2,228	2.4	20,334	3.6	22,562	3.5
症例区分(2, 3)(再掲)	75,090	81.1	454,195	81.1	529,285	81.1
症例区分 2, 3のうち						
良性	1,146	1.5	6,443	1.4	7,589	1.4
良性又は悪性の別不詳	353	0.5	2,548	0.6	2,901	0.5
上皮内癌	8,282	11.0	47,664	10.5	55,946	10.6
悪性新生物<腫瘍>	65,309	87.0	397,540	87.5	462,849	87.4
集計対象腫瘍*	66,775	88.9	406,343	89.5	473,118	89.4
症例区分 2, 3、集計対象腫瘍のうち(年齢不詳除く)						
年齢 0~14 歳	213	0.3	1,388	0.3	1,601	0.3
15~39 歳	1,970	3.0	12,922	3.2	14,892	3.1
40 歳代	3,723	5.6	25,124	6.2	28,847	6.1
50 歳代	7,822	11.7	49,397	12.2	57,219	12.1
60 歳代	18,403	27.6	116,304	28.6	134,707	28.5
70 歳代	21,751	32.6	129,668	31.9	151,419	32.0
80-99 歳	12,893	19.3	71,540	17.6	84,433	17.8
100 歳以上	21	0.0	123	0.0	144	0.0
0~99 歳(再掲)	66,775	100.0	406,343	100.0	473,118	100.0
除外対象(以下重複有)	50	0.1	133	0.0	183	0.0
性別不詳	0	0.0	0	0.0	0	0.0
追跡終了日不明	(7-9)		21	1.5	28	1.7
総合ステージ 0 期	43	20.2	112	8.1	155	9.7
集計対象例	66,725		406,210		472,935	

*症例区分 2, 3のうち、悪性新生物<腫瘍>、脳・中枢神経系に発生した良性または良性・悪性の別不詳の腫瘍を含む

表 2-2-1 がん診療連携拠点病院等調査参加 365 施設の全登録数及び症例区分 2, 3 の登録数

都道府県	施設名称	集計対象	全登録数	自施設 診断自 施設治 療(症 例区分 2)	他施設 診断自 施設治 療(症 例区分 3)	自施設 治療 (症例 区分 2, 3) 登録 割合
総数		318	586,599	355,198	119,695	81.0
北海道	国立病院機構北海道がんセンター	集計対象	2325	1046	651	73.0
北海道	JA 北海道厚生連旭川厚生病院	集計対象	1430	970	184	80.7
北海道	王子総合病院	集計対象	978	754	97	87.0
北海道	市立釧路総合病院		1059	642	182	77.8
北海道	市立札幌病院		1181	903	158	89.8
北海道	JA 北海道厚生連帯広厚生病院	集計対象	1476	1147	202	91.4
北海道	北見赤十字病院	集計対象	1325	820	241	80.1
北海道	社会医療法人母恋 日鋼記念病院	集計対象	609	329	39	60.4
北海道	函館厚生院 函館五稜郭病院	集計対象	1563	1224	179	89.8
北海道	札幌医科大学附属病院		2269	1099	505	70.7
北海道	JA 北海道厚生連 札幌厚生病院		1609	1080	269	83.8
北海道	手稲溪仁会病院	集計対象	2119	1286	384	78.8
北海道	旭川医科大学病院		1666	935	420	81.3
北海道	独立行政法人 労働者健康安全機構 釧路労災病院	集計対象	790	645	98	94.1
青森	青森県立中央病院	集計対象	2051	1229	472	82.9
岩手	岩手県立中央病院	集計対象	1891	1356	355	90.5
岩手	岩手県立二戸病院	集計対象	357	242	53	82.6
岩手	岩手医科大学附属病院	集計対象	2756	1290	926	80.4
岩手	岩手県立中部病院	集計対象	1104	686	230	83.0
岩手	岩手県立磐井病院	集計対象	694	419	161	83.6
岩手	岩手県立宮古病院	集計対象	460	312	61	81.1
岩手	岩手県立胆沢病院	集計対象	849	648	134	92.1
岩手	岩手県立大船渡病院		570	381	54	76.3
岩手	岩手県立久慈病院		380	306	22	86.3
岩手	岩手県立釜石病院	集計対象	380	190	61	66.1
宮城	東北大学病院	集計対象	3355	1375	904	67.9
宮城	宮城県立がんセンター	集計対象	1883	1020	375	74.1
宮城	石巻赤十字病院	集計対象	1855	1134	255	74.9
宮城	独立行政法人国立病院機構 仙台医療センター	集計対象	1617	979	320	80.3
宮城	大崎市民病院	集計対象	1578	1188	251	91.2
宮城	独立行政法人労働者健康安全機構 東北労災病院	集計対象	912	644	171	89.4
秋田	秋田大学医学部附属病院	集計対象	1486	658	532	80.1
秋田	JA 秋田厚生連 由利組合総合病院	集計対象	613	418	125	88.6
秋田	秋田県厚生農業協同組合連合会 大曲厚生医療センター	集計対象	670	521	83	90.1
秋田	秋田県厚生農業協同組合連合会平鹿総合病院	集計対象	818	696	92	96.3
秋田	秋田県厚生農業協同組合連合会 能代厚生医療センター		614	445	78	85.2
秋田	秋田赤十字病院	集計対象	1175	864	217	92.0
秋田	大館市立総合病院	集計対象	685	493	126	90.4
秋田	秋田県厚生農業協同組合連合会 秋田厚生医療センター	集計対象	1026	717	176	87.0
山形	山形県立中央病院	集計対象	1930	1201	446	85.3
山形	山形大学医学部附属病院	集計対象	1956	961	520	75.7
山形	山形市立病院済生館	集計対象	954	724	103	86.7
山形	置賜広域病院企業団 公立置賜総合病院	集計対象	951	701	173	91.9
山形	日本海総合病院	集計対象	1726	1361	237	92.6
福島	労働者健康安全機構 福島労災病院		1017	655	213	85.3
福島	一般財団法人慈山会医学研究所附属坪井病院	集計対象	728	434	117	75.7
福島	福島県立医科大学附属病院	集計対象	2166	995	547	71.2
福島	一般財団法人太田総合病院附属太田西ノ内病院	集計対象	1788	1260	297	87.1
福島	一般財団法人竹田健康財団 竹田総合病院	集計対象	1314	808	292	83.7
福島	総合南東北病院	集計対象	2020	1099	427	75.5
福島	会津中央病院	集計対象	821	641	85	88.4
茨城	茨城県立中央病院	集計対象	1709	1127	308	84.0
茨城	筑波メディカルセンター病院・茨城県地域がんセンター		882	638	121	86.1
茨城	茨城県厚生農業協同組合連合会 総合病院土浦協同病院・茨城県地域がんセンター	集計対象	1473	1151	188	90.9
茨城	株式会社日立製作所 日立総合病院・茨城県地域がんセンター		1407	1059	237	92.1

都道府県	施設名称	集計対象	全登録数	自施設 診断自 施設治 療(症 例区分 2)	他施設 診断自 施設治 療(症 例区分 3)	自施設 治療 (症例 区分2, 3)登録 割合
茨城	友愛記念病院	集計対象	876	530	101	72.0
茨城	筑波大学附属病院	集計対象	2570	1288	571	72.3
茨城	国立病院機構水戸医療センター	集計対象	1073	800	185	91.8
茨城	株式会社 日立製作所 ひたちなか総合病院	集計対象	700	503	70	81.9
茨城	医療法人社団善仁会 小山記念病院		458	231	12	53.1
栃木	地方独立行政法人栃木県立がんセンター	集計対象	2111	1099	596	80.3
栃木	自治医科大学附属病院	集計対象	3244	1878	830	83.5
栃木	栃木県済生会宇都宮病院	集計対象	1827	1409	190	87.5
栃木	獨協医科大学病院	集計対象	2565	1793	444	87.2
栃木	那須赤十字病院	集計対象	796	583	78	83.0
群馬	伊勢崎市民病院	集計対象	1463	991	189	80.7
群馬	群馬県立がんセンター	集計対象	2252	1042	766	80.3
群馬	群馬大学医学部附属病院	集計対象	3264	1632	1066	82.7
群馬	独立行政法人国立病院機構渋川医療センター	集計対象	507	310	69	74.8
群馬	独立行政法人国立病院機構高崎総合医療センター	集計対象	1263	823	203	81.2
群馬	公立富岡総合病院	集計対象	897	615	135	83.6
群馬	桐生厚生総合病院	集計対象	827	704	57	92.0
埼玉	さいたま赤十字病院	集計対象	1381	1060	188	90.4
埼玉	埼玉県立がんセンター	集計対象	3768	1886	1042	77.7
埼玉	深谷赤十字病院	集計対象	644	507	126	98.3
埼玉	春日部市立医療センター	集計対象	796	516	77	74.5
埼玉	さいたま市立病院	集計対象	1087	805	159	88.7
埼玉	埼玉医科大学総合医療センター		2563	1599	374	77.0
埼玉	獨協医科大学埼玉医療センター	集計対象	2007	1217	405	80.8
埼玉	川口市立医療センター	集計対象	1278	763	180	73.8
埼玉	埼玉医科大学国際医療センター	集計対象	4271	2158	1416	83.7
埼玉	社会福祉法人恩賜財団済生会支部埼玉県済生会川口総合病院	集計対象	1228	814	163	79.6
埼玉	東光会 戸田中央総合病院	集計対象	608	477	36	84.4
千葉	国立研究開発法人 国立がん研究センター東病院	集計対象	5234	2163	1574	71.4
千葉	国保旭中央病院	集計対象	2389	1801	195	83.5
千葉	医療法人鉄蕉会 亀田総合病院	集計対象	2744	1835	452	83.3
千葉	国保直営総合病院君津中央病院	集計対象	1381	1048	124	84.9
千葉	千葉県がんセンター	集計対象	4469	1962	1199	70.7
千葉	独立行政法人労働者健康安全機構 千葉労災病院	集計対象	965	765	142	94.0
千葉	船橋市立医療センター	集計対象	1101	691	250	85.5
千葉	千葉大学医学部附属病院	集計対象	3407	1749	858	76.5
千葉	独立行政法人国立病院機構 千葉医療センター	集計対象	1017	714	96	79.6
千葉	東京歯科大学市川総合病院	集計対象	1291	892	125	78.8
千葉	順天堂大学医学部附属浦安病院	集計対象	1633	1189	189	84.4
千葉	東京慈恵会医科大学附属柏病院	集計対象	1832	1295	319	88.1
千葉	松戸市立総合医療センター	集計対象	1220	630	130	62.3
千葉	日本医科大学千葉北総病院	集計対象	1093	786	171	87.6
東京	国立研究開発法人 国立がん研究センター中央病院	集計対象	6548	2457	2000	68.1
東京	東京都立駒込病院	集計対象	4292	2041	1033	71.6
東京	青梅市立総合病院	集計対象	1204	896	94	82.2
東京	N T T東日本関東病院	集計対象	1943	1118	480	82.2
東京	日本赤十字社医療センター	集計対象	2248	917	327	55.3
東京	日本大学医学部附属板橋病院	集計対象	2780	1489	333	65.5
東京	武蔵野赤十字病院	集計対象	2210	1521	331	83.8
東京	がん研有明病院	集計対象	8787	3257	2706	67.9
東京	国立大学法人 東京大学医学部附属病院	集計対象	3757	1813	851	70.9
東京	日本医科大学付属病院	集計対象	2598	1596	516	81.3
東京	聖路加国際病院	集計対象	2336	1261	605	79.9
東京	帝京大学医学部附属病院	集計対象	2155	1229	424	76.7
東京	東京医科大学八王子医療センター		1432	993	219	84.6
東京	杏林大学医学部付属病院	集計対象	2427	1765	424	90.2
東京	順天堂大学医学部附属順天堂医院	集計対象	3836	2059	1004	79.8
東京	昭和大学病院	集計対象	2554	1466	539	78.5
東京	慶應義塾大学病院	集計対象	3583	1801	709	70.1

都道府県	施設名称	集計対象	全登録数	自施設 診断自 施設治 療(症 例区分 2)	他施設 診断自 施設治 療(症 例区分 3)	自施設 治療 (症例 区分2, 3)登録 割合
東京	東京都立多摩総合医療センター	集計対象	2605	1479	706	83.9
東京	公立昭和病院	集計対象	1545	1089	267	87.8
東京	東京慈恵会医科大学附属病院		3300	1898	677	78.0
東京	国家公務員共済組合連合会 虎の門病院	集計対象	3394	1571	1020	76.3
東京	東邦大学医療センター大森病院		2231	1547	282	82.0
東京	独立行政法人国立病院機構東京医療センター	集計対象	2127	1401	361	82.8
東京	東京医科歯科大学医学部附属病院	集計対象	2748	1351	729	75.7
東京	東京都立墨東病院	集計対象	1429	1004	180	82.9
神奈川	神奈川県立がんセンター	集計対象	3357	1553	1089	78.7
神奈川	国家公務員共済組合連合会 横須賀共済病院	集計対象	2207	1610	353	88.9
神奈川	横浜市民病院	集計対象	1639	1089	319	85.9
神奈川	小田原市立病院		874	527	137	76.0
神奈川	相模原協同病院	集計対象	1212	767	102	71.7
神奈川	公立大学法人 横浜国立大学附属病院	集計対象	2298	1103	643	76.0
神奈川	聖マリアンナ医科大学病院	集計対象	2780	1648	614	81.4
神奈川	東海大学医学部附属病院	集計対象	3708	2262	775	81.9
神奈川	藤沢市民病院		1180	842	222	90.2
神奈川	北里大学病院	集計対象	1911	1345	460	94.5
神奈川	横浜労災病院	集計対象	1801	1155	186	74.5
神奈川	昭和大学横浜市北部病院	集計対象	2057	1279	444	83.8
神奈川	横浜市立みなと赤十字病院	集計対象	1460	867	194	72.7
神奈川	大和市立病院	集計対象	985	683	78	77.3
神奈川	独立行政法人 労働者健康安全機構 関東労災病院		1009	689	111	79.3
神奈川	済生会横浜市東部病院	集計対象	1870	1090	378	78.5
神奈川	公立大学法人横浜国立大学附属市民総合医療センター	集計対象	2232	1601	385	89.0
新潟	新潟県立がんセンター新潟病院	集計対象	3073	1925	968	94.1
新潟	新潟県立中央病院	集計対象	1438	1002	306	91.0
新潟	新潟市民病院	集計対象	1740	1217	389	92.3
新潟	長岡赤十字病院	集計対象	1763	1277	289	88.8
新潟	新潟県厚生農業協同組合連合会 長岡中央総合病院	集計対象	1610	1151	388	95.6
新潟	新潟大学医歯学総合病院	集計対象	2153	995	741	80.6
新潟	県立新発田病院	集計対象	1232	834	225	86.0
富山	富山県立中央病院	集計対象	2413	1599	504	87.2
富山	黒部市民病院	集計対象	658	528	66	90.3
富山	富山大学附属病院	集計対象	1137	745	222	85.0
富山	厚生連高岡病院	集計対象	1261	977	157	89.9
富山	高岡市民病院	集計対象	628	489	42	84.6
富山	市立砺波総合病院		752	484	63	72.7
石川	国立大学法人金沢大学附属病院	集計対象	2116	1032	476	71.3
石川	独立行政法人国立病院機構 金沢医療センター	集計対象	714	592	76	93.6
石川	石川県立中央病院		1712	1103	531	95.4
石川	金沢医科大学病院	集計対象	1213	807	178	81.2
石川	小松市民病院	集計対象	743	513	93	81.6
福井	福井県立病院	集計対象	1569	1030	286	83.9
福井	社会福祉法人恩賜財団済生会支部 福井県済生会病院	集計対象	1515	1075	272	88.9
福井	福井赤十字病院	集計対象	1199	927	152	90.0
福井	福井大学医学部附属病院	集計対象	1246	757	311	85.7
福井	独立行政法人国立病院機構敦賀医療センター		182	113	24	75.3
山梨	山梨県立中央病院	集計対象	1848	1214	286	81.2
山梨	国立大学法人 山梨大学医学部附属病院	集計対象	1768	1057	306	77.1
山梨	市立甲府病院	集計対象	638	437	94	83.2
長野	長野県厚生農業協同組合連合会 佐久総合病院	集計対象	1835	1215	483	92.5
長野	国立大学法人 信州大学医学部附属病院	集計対象	2177	981	621	73.6
長野	諏訪赤十字病院	集計対象	1149	769	185	83.0
長野	飯田市立病院	集計対象	966	642	157	82.7
長野	長野市民病院	集計対象	1660	1116	404	91.6
長野	長野赤十字病院	集計対象	1573	956	316	80.9
長野	社会医療法人財団 慈泉会 相澤病院	集計対象	1356	927	156	79.9
長野	伊那中央病院	集計対象	905	575	188	84.3

都道府県	施設名称	集計対象	全登録数	自施設 診断自 施設治 療(症 例区分 2)	他施設 診断自 施設治 療(症 例区分 3)	自施設 治療 (症例 区分2, 3)登録 割合
長野	北アルプス医療センターあづみ病院	集計対象	292	190	(7-9)	67.5
長野	長野県厚生農業協同組合連合会北信総合病院	集計対象	553	462	56	93.7
岐阜	岐阜市民病院		1291	957	163	86.8
岐阜	岐阜大学医学部附属病院	集計対象	2027	1080	588	82.3
岐阜	高山赤十字病院	集計対象	633	416	56	74.6
岐阜	岐阜県総合医療センター	集計対象	1588	1111	255	86.0
岐阜	岐阜県立多治見病院	集計対象	1456	901	259	79.7
岐阜	大垣市民病院	集計対象	2070	1739	237	95.5
岐阜	社会医療法人厚生会 木沢記念病院	集計対象	1088	614	196	74.4
静岡	静岡県立静岡がんセンター	集計対象	6488	2778	1929	72.5
静岡	静岡県立総合病院	集計対象	2510	1615	580	87.5
静岡	社会福祉法人 聖隷福祉事業団 総合病院 聖隷三方原病院	集計対象	1510	882	230	73.6
静岡	社会福祉法人 聖隷福祉事業団 総合病院 聖隷浜松病院	集計対象	1967	1366	353	87.4
静岡	順天堂大学医学部附属静岡病院	集計対象	1407	1030	192	86.9
静岡	静岡市立静岡病院	集計対象	1249	993	119	89.0
静岡	藤枝市立総合病院	集計対象	1108	861	99	86.6
静岡	浜松医科大学医学部附属病院	集計対象	1486	849	375	82.4
静岡	浜松医療センター	集計対象	1141	840	137	85.6
静岡	磐田市立総合病院	集計対象	1409	979	172	81.7
静岡	富士市立中央病院		763	436	64	65.5
愛知	愛知県がんセンター	集計対象	3066	1105	1495	84.8
愛知	愛知県厚生農業協同組合連合会安城更生病院	集計対象	2038	1456	274	84.9
愛知	海南病院	集計対象	1311	944	98	79.5
愛知	国立病院機構 名古屋医療センター	集計対象	1726	1081	239	76.5
愛知	小牧市民病院		1798	1361	206	87.2
愛知	豊橋市民病院	集計対象	2247	1544	337	83.7
愛知	名古屋大学医学部附属病院		2594	1432	743	83.8
愛知	独立行政法人 地域医療機能推進機構 中京病院		1339	944	200	85.4
愛知	一宮市立市民病院	集計対象	1256	1015	205	97.1
愛知	公立陶生病院	集計対象	1217	983	107	89.6
愛知	愛知県厚生農業協同組合連合会 豊田厚生病院	集計対象	1500	1106	173	85.3
愛知	名古屋市立大学病院		1735	1032	472	86.7
愛知	名古屋第一赤十字病院	集計対象	2231	1587	341	86.4
愛知	名古屋第二赤十字病院	集計対象	2114	1356	332	79.8
愛知	藤田医科大学病院	集計対象	2795	1392	953	83.9
愛知	愛知医科大学病院		1295	954	249	92.9
三重	伊勢赤十字病院	集計対象	1694	1176	292	86.7
三重	松阪中央総合病院		782	564	75	81.7
三重	三重大学医学部附属病院		2547	1323	533	72.9
三重	三重県厚生農業協同組合連合会鈴鹿中央総合病院		1105	853	101	86.3
三重	市立四日市病院		1787	1250	257	84.3
滋賀	市立長浜病院	集計対象	637	544	46	92.6
滋賀	滋賀県立総合病院	集計対象	1424	824	245	75.1
滋賀	大津赤十字病院	集計対象	1413	1057	181	87.6
滋賀	彦根市立病院	集計対象	696	509	44	79.5
滋賀	滋賀医科大学医学部附属病院		1524	897	388	84.3
京都	京都桂病院	集計対象	1328	1105	118	92.1
京都	京都市立病院	集計対象	1291	816	112	71.9
京都	京都第一赤十字病院	集計対象	1498	1078	201	85.4
京都	京都第二赤十字病院	集計対象	1570	1185	209	88.8
京都	独立行政法人国立病院機構 京都医療センター	集計対象	1727	1041	276	76.3
京都	市立福知山市民病院	集計対象	877	532	105	72.6
京都	医療法人徳洲会宇治徳洲会病院	集計対象	495	397	27	85.7
大阪	大阪府立病院機構 大阪急性期・総合医療センター	集計対象	1967	1354	304	84.3
大阪	市立岸和田市民病院	集計対象	1216	886	149	85.1
大阪	地方独立行政法人市立東大阪医療センター	集計対象	1191	902	126	86.3
大阪	市立豊中病院	集計対象	2058	1532	239	86.1
大阪	大阪国際がんセンター	集計対象	3413	1498	1375	84.2
大阪	地方独立行政法人大阪市民病院機構大阪市立総合医療センター	集計対象	2806	1613	645	80.5

都道府県	施設名称	集計対象	全登録数	自施設 診断自 施設治 療(症 例区分 2)	他施設 診断自 施設治 療(症 例区分 3)	自施設 治療 (症例 区分2, 3)登録 割合
大阪	大阪赤十字病院	集計対象	2402	1853	245	87.3
大阪	独立行政法人国立病院機構 大阪南医療センター	集計対象	921	597	178	84.1
大阪	独立行政法人労働者健康安全機構大阪労災病院	集計対象	1669	1211	257	88.0
大阪	大阪医科大学附属病院	集計対象	2325	1217	748	84.5
大阪	大阪市立大学医学部附属病院	集計対象	3480	1574	1015	74.4
大阪	国立病院機構大阪医療センター	集計対象	1508	976	342	87.4
大阪	八尾市立病院	集計対象	961	709	167	91.2
兵庫	兵庫県立がんセンター	集計対象	3925	1735	1246	75.9
兵庫	神戸大学医学部附属病院	集計対象	3507	1598	970	73.2
兵庫	神戸市立医療センター中央市民病院	集計対象	2517	1397	516	76.0
兵庫	独立行政法人労働者健康安全機構 関西労災病院	集計対象	1833	1046	371	77.3
兵庫	公立学校共済組合近畿中央病院	集計対象	783	593	93	87.6
兵庫	姫路赤十字病院	集計対象	1683	1105	360	87.0
兵庫	赤穂市民病院	集計対象	487	383	21	83.0
兵庫	公立豊岡病院組合立豊岡病院	集計対象	951	749	101	89.4
兵庫	兵庫県立淡路医療センター	集計対象	745	546	91	85.5
兵庫	兵庫医科大学病院	集計対象	2632	1396	524	72.9
兵庫	兵庫県立柏原病院	集計対象	280	131	47	63.6
兵庫	神戸市立西神戸医療センター	集計対象	1459	969	205	80.5
奈良	奈良県立医科大学附属病院	集計対象	2474	1296	615	77.2
奈良	奈良県総合医療センター	集計対象	1008	635	217	84.5
奈良	天理よろづ相談所病院	集計対象	2130	1780	234	94.6
奈良	近畿大学奈良病院	集計対象	1365	834	263	80.4
奈良	市立奈良病院	集計対象	814	570	102	82.6
奈良	南和広域医療企業団 南奈良総合医療センター	集計対象	193	116	15	67.9
和歌山	紀南病院	集計対象	666	423	102	78.8
和歌山	独立行政法人国立病院機構 南和歌山医療センター	集計対象	667	364	141	75.7
和歌山	日本赤十字社和歌山医療センター	集計対象	2005	1659	213	93.4
和歌山	和歌山県立医科大学附属病院	集計対象	2622	1323	894	84.6
和歌山	橋本市民病院	集計対象	526	401	39	83.7
和歌山	公立那賀病院	集計対象	624	407	76	77.4
鳥取	鳥取県立厚生病院	集計対象	520	363	46	78.7
鳥取	独立行政法人国立病院機構 米子医療センター	集計対象	481	326	59	80.0
鳥取	鳥取県立中央病院	集計対象	782	652	68	92.1
鳥取	鳥取大学医学部附属病院	集計対象	1804	1161	408	87.0
島根	松江市立病院	集計対象	802	577	91	83.3
島根	松江赤十字病院	集計対象	1151	920	134	91.6
島根	島根大学医学部附属病院	集計対象	1233	702	353	85.6
島根	島根県立中央病院	集計対象	1245	970	143	89.4
島根	独立行政法人国立病院機構 浜田医療センター	集計対象	715	534	87	86.9
岡山	岡山済生会総合病院	集計対象	1718	1122	293	82.4
岡山	岡山赤十字病院	集計対象	1018	756	113	85.4
岡山	岡山大学病院	集計対象	2750	1238	882	77.1
岡山	公益財団法人大原記念倉敷中央医療機構 倉敷中央病院	集計対象	3109	2250	472	87.6
岡山	津山中央病院	集計対象	1336	845	127	72.8
岡山	岡山医療センター	集計対象	1134	823	157	86.4
岡山	川崎医科大学附属病院	集計対象	1569	942	315	80.1
広島	広島大学病院	集計対象	2779	1587	707	82.5
広島	県立広島病院	集計対象	1605	977	273	77.9
広島	地方独立行政法人広島市立病院機構 広島市立広島市民病院	集計対象	2995	1869	717	86.3
広島	広島赤十字・原爆病院	集計対象	1368	1046	179	89.5
広島	独立行政法人国立病院機構 呉医療センター	集計対象	1632	960	230	72.9
広島	東広島医療センター	集計対象	822	430	125	67.5
広島	広島県厚生農業協同組合連合会 尾道総合病院	集計対象	691	445	166	88.4
広島	福山市民病院	集計対象	1543	925	343	82.2
広島	市立三次中央病院	集計対象	700	500	90	84.3
山口	山口県立総合医療センター	集計対象	772	545	121	86.3
山口	国立病院機構 岩国医療センター	集計対象	1029	691	124	79.2
山口	山口県厚生農業協同組合連合会周東総合病院	集計対象	679	466	80	80.4

都道府県	施設名称	集計対象	全登録数	自施設 診断自 施設治 療(症 例区分 2)	他施設 診断自 施設治 療(症 例区分 3)	自施設 治療 (症例 区分2, 3)登録 割合
山口	独立行政法人地域医療機能推進機構徳山中央病院	集計対象	1428	988	210	83.9
山口	山口大学医学部附属病院		1924	972	583	80.8
徳島	徳島県立中央病院	集計対象	1031	797	122	89.1
徳島	徳島大学病院		1808	889	545	79.3
徳島	徳島赤十字病院		1157	804	196	86.4
徳島	徳島市民病院		829	544	164	85.4
香川	香川県立中央病院	集計対象	1481	944	324	85.6
香川	独立行政法人労働者健康安全機構香川労災病院	集計対象	1351	970	209	87.3
香川	三豊総合病院	集計対象	996	700	90	79.3
香川	高松赤十字病院	集計対象	1289	871	182	81.7
香川	国立大学法人 香川大学医学部附属病院	集計対象	1469	732	443	80.0
愛媛	市立宇和島病院	集計対象	1205	809	168	81.1
愛媛	独立行政法人国立病院機構 四国がんセンター	集計対象	3036	1499	841	77.1
愛媛	住友別子病院	集計対象	588	396	50	75.9
愛媛	愛媛大学医学部附属病院	集計対象	1806	822	492	72.8
愛媛	愛媛県立中央病院	集計対象	1931	1275	285	80.8
愛媛	松山赤十字病院	集計対象	1538	1121	144	82.2
愛媛	社会福祉法人恩賜財団 済生会今治病院	集計対象	547	262	89	64.2
高知	国立大学法人 高知大学医学部附属病院	集計対象	1677	1016	438	86.7
高知	高知県・高知市病院企業団立 高知医療センター	集計対象	1404	856	428	91.5
高知	高知県立幡多けんみん病院	集計対象	749	473	89	75.0
福岡	久留米大学病院	集計対象	3070	1436	689	69.2
福岡	公立八女総合病院	集計対象	527	366	64	81.6
福岡	地方独立行政法人大牟田市立病院	集計対象	770	450	129	75.2
福岡	社会保険田川病院	集計対象	658	454	52	76.9
福岡	飯塚病院	集計対象	1936	1379	270	85.2
福岡	独立行政法人国立病院機構福岡東医療センター	集計対象	610	395	66	75.6
福岡	北九州市立医療センター	集計対象	2343	1365	607	84.2
福岡	独立行政法人国立病院機構 九州がんセンター	集計対象	2694	1171	701	69.5
福岡	国立大学法人 九州大学病院	集計対象	3911	1708	1064	70.9
福岡	独立行政法人国立病院機構九州医療センター	集計対象	2079	1293	419	82.3
福岡	福岡県済生会福岡総合病院	集計対象	1461	839	263	75.4
福岡	福岡大学病院	集計対象	1949	1063	505	80.5
福岡	聖マリア病院	集計対象	1209	827	46	72.2
福岡	独立行政法人地域医療機能推進機構 九州病院	集計対象	2024	1324	358	83.1
福岡	産業医科大学病院	集計対象	1910	1131	421	81.3
福岡	戸畑共立病院		792	286	156	55.8
佐賀	地方独立行政法人 佐賀県医療センター好生館	集計対象	1287	733	227	74.6
佐賀	国立大学法人 佐賀大学医学部附属病院		1880	856	547	74.6
佐賀	唐津赤十字病院	集計対象	736	447	94	73.5
佐賀	独立行政法人国立病院機構 嬉野医療センター	集計対象	776	497	103	77.3
長崎	日本赤十字社長崎原爆病院	集計対象	1082	779	213	91.7
長崎	地方独立行政法人 佐世保市総合医療センター	集計対象	1479	1043	358	94.7
長崎	独立行政法人国立病院機構 長崎医療センター	集計対象	1682	1096	330	84.8
長崎	長崎みなとメディカルセンター	集計対象	937	663	97	81.1
長崎	長崎大学病院	集計対象	2439	1196	841	83.5
長崎	長崎県島原病院	集計対象	670	497	95	88.4
熊本	熊本大学病院	集計対象	2894	1486	815	79.5
熊本	独立行政法人労働者健康安全機構 熊本労災病院	集計対象	638	424	80	79.0
熊本	人吉医療センター	集計対象	728	434	70	69.2
熊本	熊本赤十字病院	集計対象	1437	975	222	83.3
熊本	国立病院機構 熊本医療センター	集計対象	1556	921	266	76.3
熊本	済生会熊本病院	集計対象	1669	1006	354	81.5
熊本	荒尾市民病院	集計対象	407	261	55	77.6
大分	大分県立病院	集計対象	1448	975	286	87.1
大分	大分赤十字病院	集計対象	785	486	141	79.9
大分	大分大学医学部附属病院	集計対象	1569	738	447	75.5
大分	独立行政法人国立病院機構別府医療センター		734	508	127	86.5
大分	大分県済生会日田病院	集計対象	385	209	37	63.9

都道府 県	施設名称	集計対象	全登録 数	自施設 診断自 施設治 療（症 例区分 2)	他施設 診断自 施設治 療（症 例区分 3)	自施設 治療 （症例 区分2, 3）登録 割合
大分	中津市立中津市民病院	集計対象	629	393	125	82.4
宮崎	宮崎県立宮崎病院	集計対象	1028	735	191	90.1
宮崎	国立病院機構 都城医療センター	集計対象	716	462	138	83.8
宮崎	国立大学法人宮崎大学医学部附属病院	集計対象	1602	806	401	75.3
鹿児島	鹿児島大学病院	集計対象	2100	916	701	77.0
鹿児島	国立病院機構 鹿児島医療センター	集計対象	714	365	192	78.0
鹿児島	鹿児島県立薩南病院	集計対象	175	103	27	74.3
鹿児島	独立行政法人国立病院機構 南九州病院	集計対象	280	176	57	83.2
鹿児島	県民健康プラザ 鹿屋医療センター	集計対象	461	204	117	69.6
鹿児島	鹿児島市立病院	集計対象	916	508	138	70.5
鹿児島	公益社団法人昭和会 今給黎総合病院	集計対象	890	432	208	71.9
鹿児島	出水郡医師会広域医療センター	集計対象	306	170	56	73.9
鹿児島	社会医療法人博愛会 相良病院	集計対象	933	560	128	73.7
沖縄	地方独立行政法人那覇市立病院	集計対象	896	504	176	75.9
沖縄	北部地区医師会病院	集計対象	228	150	12	71.1
沖縄	沖縄県立中部病院	集計対象	1006	579	169	74.4
沖縄	国立大学法人 琉球大学医学部附属病院	集計対象	1115	487	334	73.6

表 2-2-2 都道府県推薦病院調査参加 92 施設的全登録数及び症例区分 2, 3 の登録数

都道府県	施設名称	集計対象	全登録数	自施設 診断自 施設治 療(症 例区分 2)	他施設 診断自 施設治 療(症 例区分 3)	自施設 治療 (症例 区分 2, 3) 登録 割合	
総数			47	66,009	46,559	7,833	82.4
北海道	斗南病院			724	362	245	83.8
北海道	製鉄記念室蘭病院			553	496	38	96.6
北海道	苫小牧市立病院			510	488	(1-3)	96.1
北海道	旭川赤十字病院			850	759	68	97.3
青森	八戸市立市民病院	集計対象		1358	948	269	89.6
青森	三沢市立三沢病院	集計対象		441	262	84	78.5
青森	青森市民病院			865	611	184	91.9
秋田	中通総合病院	集計対象		589	399	63	78.4
秋田	市立秋田総合病院	集計対象		817	632	105	90.2
茨城	茨城西南医療センター病院	集計対象		552	347	47	71.4
茨城	水戸赤十字病院			1346	1088	108	88.9
群馬	国立病院機構沼田病院	集計対象		301	197	42	79.4
群馬	群馬県済生会前橋病院	集計対象		612	344	115	75.0
埼玉	上尾中央総合病院	集計対象		1393	998	77	77.2
埼玉	埼玉石心会病院			751	440	48	65.0
埼玉	小川赤十字病院	集計対象		483	358	40	82.4
埼玉	秀和総合病院			404	316	31	85.9
千葉	千葉徳洲会病院			516	285	33	61.6
東京	東京女子医科大学病院			1982	621	394	51.2
東京	日本医科大学多摩永山病院	集計対象		847	551	136	81.1
東京	国家公務員共済組合連合会 立川病院			1288	758	168	71.9
東京	東京都立大塚病院	集計対象		684	445	50	72.4
東京	JR 東京総合病院			773	526	50	74.5
東京	東京都済生会中央病院			1075	750	92	78.3
東京	社会福祉法人 三井記念病院	集計対象		1447	935	172	76.5
東京	社会医療法人河北医療財団 河北総合病院			648	523	0	80.7
東京	東大和病院	集計対象		670	509	26	79.9
東京	東京慈恵会医科大学葛飾医療センター			487	456	30	99.8
東京	東京慈恵会医科大学附属第三病院			1130	885	120	88.9
神奈川	平塚共済病院			639	506	42	85.8
神奈川	国家公務員共済組合連合会 横浜南共済病院	集計対象		1137	874	83	84.2
神奈川	独立行政法人国立病院機構横浜医療センター			824	444	281	88.0
新潟	労働者健康安全機構 新潟労災病院	集計対象		462	394	38	93.5
新潟	済生会新潟病院			1011	743	90	82.4
富山	富山労災病院	集計対象		274	216	13	83.6
富山	富山赤十字病院			810	650	77	89.8
富山	富山県済生会高岡病院			224	173	18	85.3
石川	地域医療機能推進機構 金沢病院	集計対象		327	241	13	77.7
石川	公立松任石川中央病院			519	488	17	97.3
岐阜	松波総合病院	集計対象		714	580	46	87.7
静岡	沼津市立病院	集計対象		1010	653	76	72.2
静岡	焼津市立総合病院	集計対象		839	592	103	82.8
静岡	国立病院機構 静岡医療センター			571	328	52	66.5
静岡	市立島田市民病院			869	723	46	88.5
愛知	春日井市民病院	集計対象		1131	895	95	87.5
愛知	医療法人豊田会 刈谷豊田総合病院			1618	1220	141	84.1
三重	済生会松阪総合病院			718	570	73	89.6
三重	松阪市民病院			559	458	46	90.2
滋賀	社会医療法人誠光会 草津総合病院	集計対象		594	353	83	73.4
滋賀	近江八幡市立総合医療センター	集計対象		485	379	76	93.8
滋賀	済生会滋賀県病院			604	438	64	83.1
京都	京都岡本記念病院			645	343	21	56.4
京都	社会福祉法人 恩賜財団 済生会京都府病院			279	213	12	80.6
大阪	地方独立行政法人 市立吹田市民病院	集計対象		650	526	101	96.5
大阪	大阪府済生会千里病院	集計対象		849	651	113	90.0
大阪	箕面市立病院	集計対象		780	570	92	84.9

都道府県	施設名称	集計対象	全登録数	自施設 診断自 施設治 療（症 例区分 2）	他施設 診断自 施設治 療（症 例区分 3）	自施設 治療 （症例 区分2、 3）登録 割合
大阪	Panasonic 健康保険組合松下記念病院		790	593	62	82.9
大阪	医療法人徳洲会 八尾徳洲会総合病院		889	629	42	75.5
大阪	ベルランド総合病院	集計対象	1220	906	105	82.9
大阪	府中病院		869	624	154	89.5
大阪	社会福祉法人恩賜財団大阪府済生会野江病院	集計対象	843	708	75	92.9
大阪	関西電力病院	集計対象	665	516	90	91.1
大阪	独立行政法人地域医療機能推進機構 大阪病院	集計対象	686	552	100	95.0
大阪	医療法人 警和会 大阪警察病院	集計対象	1641	1178	335	92.2
兵庫	神鋼記念病院		1080	763	230	91.9
奈良	国保中央病院		565	124	12	24.1
奈良	大和郡山病院		164	137	26	99.4
奈良	大和高田市立病院	集計対象	507	448	32	94.7
鳥取	鳥取市立病院	集計対象	648	517	69	90.4
鳥取	鳥取赤十字病院		646	501	56	86.2
鳥取	医療法人 十字会 野島病院		169	145	(1-3)	87.6
島根	松江医療センター		101	90	(4-6)	94.1
岡山	岡山市立市民病院	集計対象	364	320	0	87.9
岡山	一般財団法人 倉敷成人病センター	集計対象	647	463	100	87.0
広島	国家公務員共済組合連合会 呉共済病院		757	583	75	86.9
広島	公立学校共済組合 中国中央病院	集計対象	586	482	90	97.6
高知	高知赤十字病院		813	531	101	77.7
長崎	独立行政法人地域医療機能推進機構諫早総合病院	集計対象	1016	709	132	82.8
熊本	熊本再春医療センター		256	180	41	86.3
熊本	国家公務員共済組合連合会 熊本中央病院	集計対象	1024	664	190	83.4
熊本	大腸肛門病センター高野病院	集計対象	231	171	41	91.8
熊本	天草地域医療センター	集計対象	279	208	36	87.5
熊本	熊本地域医療センター	集計対象	506	344	76	83.0
大分	独立行政法人国立病院機構大分医療センター	集計対象	502	369	77	88.8
鹿児島	医療法人徳洲会 大隅鹿屋病院	集計対象	209	141	17	75.6
鹿児島	公益社団法人鹿児島共済会南風病院	集計対象	854	406	217	73.0
鹿児島	鹿児島市医師会病院	集計対象	552	295	230	95.1
鹿児島	今村総合病院		441	205	48	57.4
沖縄	社会医療法人敬愛会 中頭病院		1080	835	72	84.0
沖縄	沖縄県立宮古病院		192	105	(7-9)	58.3
沖縄	社会医療法人仁愛会 浦添総合病院	集計対象	514	281	102	74.5
沖縄	社会医療法人かりゆし会 ハートライフ病院	集計対象	465	326	36	77.8

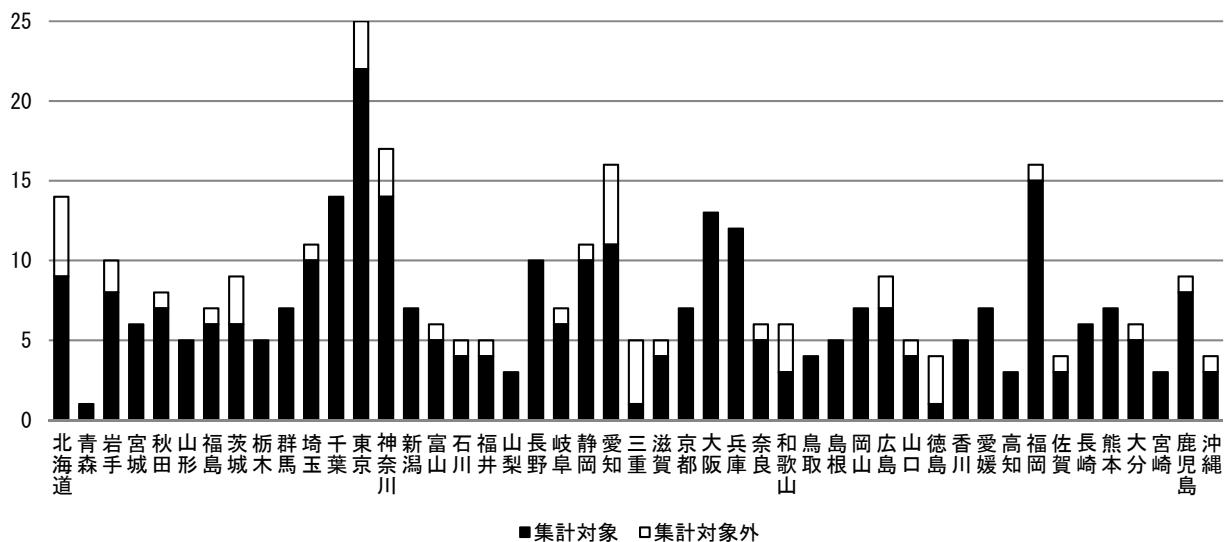


図 2-1 がん診療連携拠点病院等における都道府県・施設別生存状況把握割合 (都道府県推薦病院を除く)

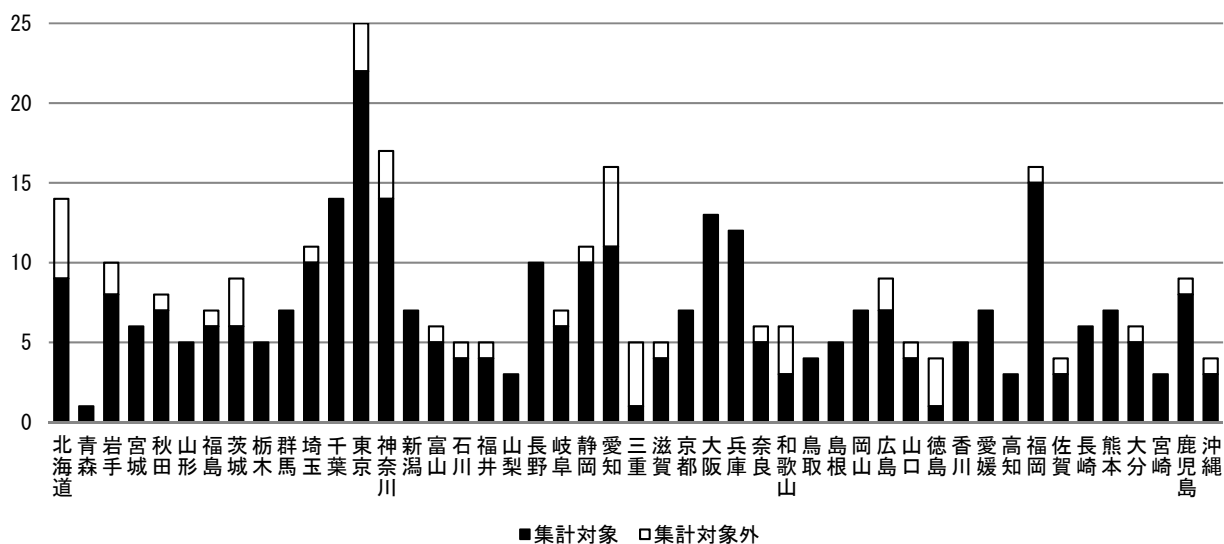


図 2-1 参考 調査参加施設における都道府県・施設別生存状況把握割合

Ⅲ 2012年5年生存率集計 結果詳細(全体) :悪性新生物<腫瘍>

1. 全がん

	対象数	施設数	死亡数	平均年齢	生存状況把握割合 (%)
2012	406,210	365	162,910	67.6	97.9

(0) 全がんの生存率集計値

全がんでの生存率集計値の算定に当たり、特性が異なるがんの生存率算定の意義について疑問を呈する声もあったが、先行する地域がん登録、全国がんセンター協議会加盟施設における既存生存率集計と比較するため、ここでは院内がん登録5年生存率集計においても全がんでの生存率集計結果について提示する。

(1) 生存状況把握割合

対象者は406,210例で、その内5年以内に死亡していた者は162,910例、打ち切りが8,683例であった。全体として、生存状況把握割合は97.9%であった。

(2) 対象者の属性

本集計対象者の属性を表3-1-1に示す。男性が58.0%、女性が42.0%とやや男性が多かった。診断時の年齢は、男女とも70歳代が最も多く、次いで60歳代となっており、60歳代、70歳代で全体の60.5%を占めた。60.7%の対象者に観血的治療が実施されており、54.1%が原発巣・治癒切除であった。発見経緯別にみると、その他・不明が半数以上であった。部位別にみると、男性では胃、肺、前立腺、大腸の順に、女性では乳房、大腸、胃の順に多かった。

表 3-1-1 対象者の属性

	男性		女性		全体	
	対象数	(%)	対象数	(%)	対象数	(%)
全体	235,711	100.0	170,499	100.0	406,210	100.0
拠点病院等	221,041	93.8	160,298	94.0	381,339	93.9
都道府県推薦病院	14,670	6.2	10,201	6.0	24,871	6.1
年齢						
平均年齢(SD)	69.1	(SD:11.7)	65.6	(SD:15.0)	67.6	(SD:13.3)
0-14歳	755	0.3	633	0.4	1,388	0.3
15-39歳	4,353	1.8	8,563	5.0	12,916	3.2
40歳代	7,656	3.2	17,457	10.2	25,113	6.2
50歳代	24,314	10.3	25,070	14.7	49,384	12.2
60歳代	73,141	31.0	43,135	25.3	116,276	28.6
70歳代	84,995	36.1	44,630	26.2	129,625	31.9
80歳以上	40,497	17.2	31,011	18.2	71,508	17.6
観血的治療						
有	129,143	54.8	117,284	68.8	246,427	60.7
原発巣・治癒切除	114,902	48.7	104,658	61.4	219,560	54.1
原発巣・非治癒切除	10,453	4.4	8,838	5.2	19,291	4.7
原発巣・治癒/非治癒の別不詳	3,788	1.6	3,788	2.2	7,576	1.9
無	106,568	45.2	53,215	31.2	159,783	39.3
発見経緯						
がん検診	17,094	7.3	15,901	9.3	32,995	8.1
健康診断・人間ドック	21,097	9.0	10,729	6.3	31,826	7.8
他疾患経過観察中	77,075	32.7	41,922	24.6	118,997	29.3
その他・不明	120,445	51.1	101,947	59.8	222,392	54.7
部位						
口腔咽頭	8,388	3.6	3,212	1.9	11,600	2.9
食道	11,050	4.7	1,854	1.1	12,904	3.2
胃	41,862	17.8	17,466	10.2	59,328	14.6
結腸	17,818	7.6	14,954	8.8	32,772	8.1
直腸	11,656	4.9	6,529	3.8	18,185	4.5
大腸(再掲)	29,474	12.5	21,483	12.6	50,957	12.5
肝臓	11,707	5.0	5,356	3.1	17,063	4.2
胆嚢胆管	4,824	2.0	3,846	2.3	8,670	2.1
膵臓	7,678	3.3	5,982	3.5	13,660	3.4
喉頭	3,270	1.4	237	0.1	3,507	0.9
肺	34,478	14.6	15,883	9.3	50,361	12.4
骨軟部	1,203	0.5	950	0.6	2,153	0.5
皮膚	5,175	2.2	4,996	2.9	10,171	2.5
乳房	212	0.1	35,650	20.9	35,862	8.8
子宮頸部	-		6,827	4.0	6,827	1.7
子宮体部	-		8,099	4.8	8,099	2.0
子宮	-		25	0.0	25	0.0
卵巣	-		5,172	3.0	5,172	1.3
前立腺	33,168	14.1	-		33,168	8.2
膀胱	6,133	2.6	1,843	1.1	7,976	2.0
腎尿路	8,200	3.5	3,630	2.1	11,830	2.9
脳神経	4,308	1.8	5,704	3.3	10,012	2.5
甲状腺	1,887	0.8	5,212	3.1	7,099	1.7
悪性リンパ腫	8,002	3.4	6,878	4.0	14,880	3.7
多発性骨髄腫	1,746	0.7	1,470	0.9	3,216	0.8
白血病	3,481	1.5	2,372	1.4	5,853	1.4
その他の血液	3,066	1.3	1,816	1.1	4,882	1.2
その他	6,399	2.7	4,536	2.7	10,935	2.7

(3)5年生存率

表 3-1-2 に、実測生存率及び相対生存率を示す。年齢が高いほど実測生存率と相対生存率との乖離が大きくなっているが、これは若年者と比較して高齢者ではがん以外の要因で死亡する例が多くなることが影響していると考えられる。観血的治療の実施別にみると、男女ともに観血的治療有、特に原発巣・治癒切除例において生存率が高くなっていた。

表 3-1-2 属性別 5 年生存率

	男性				女性				全体			
	実測	相対	95%信頼区間		実測	相対	95%信頼区間		実測	相対	95%信頼区間	
全体	54.6	63.9	63.7	64.2	66.4	71.7	71.5	72.0	59.5	67.3	67.1	67.4
拠点病院等	54.7	64.0	63.8	64.3	66.6	71.9	71.7	72.2	59.7	67.4	67.2	67.6
都道府県推薦病院	52.2	62.2	61.2	63.1	62.4	68.3	67.3	69.4	56.4	64.7	64.0	65.4
年齢												
0-14 歳	81.7	81.8	78.8	84.4	84.4	84.4	81.3	87.0	82.9	83.0	80.9	84.9
15-39 歳	77.4	77.7	76.4	79.0	86.9	87.1	86.4	87.8	83.7	83.9	83.3	84.6
40 歳代	70.3	71.0	70.0	72.1	85.7	86.2	85.7	86.8	81.0	81.6	81.1	82.1
50 歳代	65.2	67.1	66.5	67.7	78.6	79.7	79.1	80.2	72.0	73.5	73.1	73.9
60 歳代	61.0	65.5	65.1	65.8	71.9	73.9	73.5	74.4	65.1	68.6	68.3	68.9
70 歳代	53.6	63.8	63.4	64.2	61.2	66.5	66.0	67.0	56.2	64.7	64.4	65.1
80 歳以上	32.7	55.2	54.4	56.0	39.2	55.3	54.5	56.1	35.5	55.2	54.7	55.8
観血的治療												
有	70.7	81.9	81.6	82.2	81.3	87.2	87.0	87.5	75.7	84.5	84.3	84.7
原発巣・治癒切除	73.5	85.2	84.9	85.5	84.3	90.5	90.3	90.7	78.6	87.8	87.6	88.0
原発巣・非治癒切除	43.4	49.6	48.5	50.7	49.8	53.1	52.0	54.2	46.3	51.2	50.4	52.0
原発巣・治癒/非治癒 の別不詳	60.1	69.1	67.3	70.9	71.7	76.2	74.7	77.7	65.9	72.7	71.5	73.9
無	35.0	41.8	41.4	42.1	33.3	36.8	36.4	37.3	34.4	40.2	39.8	40.3

2. 胃癌

	対象数	施設数	死亡数	平均年齢	生存状況把握割合 (%)
2012	57,715	365	21,838	70.5	98.0
I 期	35,855	364	6,254	70.6	97.7
II 期	5,307	362	2,077	70.3	98.3
III 期	6,087	363	3,802	70.1	98.5
IV 期	9,622	364	8,984	69.6	98.8

施設数は、当該対象腫瘍が登録されていた施設数

(1) 生存状況把握割合

集計対象者は、57,715 例で、5 年以内に死亡していた者は 21,838 例、打ち切りが 1,146 例で、生存状況把握割合は、全体で 98.0%であった。

(2) 対象者の属性

胃の集計対象者の属性を表 3-2-1 に示す。性別にみると、男性が 7 割以上を占めた。診断時の年齢は、

70 歳代が最も多く、次いで 60 歳代となっており、60 歳代・70 歳代で全体の約 6 割以上を占めた。UICC TNM 分類総合ステージを見ると、I 期が 62.1%、次いで IV 期が 16.7%を占めた。80.4%において観血的治療が実施されており、75.2%が原発巣・治癒切除例であった。発見経緯としては、他疾患経過観察中が 31.4%であった。

表 3-2-1 対象者の属性

	男性		女性		全体	
	対象数	(%)	対象数	(%)	対象数	(%)
全体	40,959	100.0	16,756	100.0	57,715	100.0
拠点病院等	38,148	93.1	15,591	93.0	53,739	93.1
都道府県推薦病院	2,811	6.9	1,165	7.0	3,976	6.9
年齢						
平均年齢 (SD)	70.3	(SD:10.0)	70.8	(SD:12.1)	70.5	(SD:10.6)
0-14 歳	(1-3)		0	0.0	(1-3)	
15-39 歳	259	0.6	292	1.7	551	1.0
40 歳代	941	2.3	755	4.5	1,696	2.9
50 歳代	4,026	9.8	1,621	9.7	5,647	9.8
60 歳代	12,625	30.8	4,144	24.7	16,769	29.1
70 歳代	15,620	38.1	5,689	34.0	21,309	36.9
80 歳以上	7,487	18.3	4,255	25.4	11,742	20.3
UICC TNM 分類総合ステージ						
I 期	25,843	63.1	10,012	59.8	35,855	62.1
II 期	3,719	9.1	1,588	9.5	5,307	9.2
III 期	4,195	10.2	1,892	11.3	6,087	10.5
IV 期	6,627	16.2	2,995	17.9	9,622	16.7
不詳	575	1.4	269	1.6	844	1.5
観血的治療						
有	33,035	80.7	13,361	79.7	46,396	80.4
原発巣・治癒切除	30,945	75.6	12,449	74.3	43,394	75.2
原発巣・非治癒切除	1,693	4.1	765	4.6	2,458	4.3
原発巣・治癒/非治癒の別不詳	397	1.0	147	0.9	544	0.9
無	7,924	19.3	3,395	20.3	11,319	19.6
発見経緯						
がん検診	4,392	10.7	1,622	9.7	6,014	10.4
健康診断・人間ドック	5,346	13.1	1,643	9.8	6,989	12.1
他疾患経過観察中	13,506	33.0	4,622	27.6	18,128	31.4
その他・不明	17,715	43.3	8,869	52.9	26,584	46.1

(3)5年生存率

男女別にみた5年相対生存率はほぼ同様であった。年代別にみると、80歳以上では相対生存率と実測生存率の差が広がる傾向があった。また、観血治療を受けた者では、相対生存率は全体で87.0%であった。

表 3-2-2 属性別5年生存率

	男性				女性				全体			
	実測	相対	95%信頼区間		実測	相対	95%信頼区間		実測	相対	95%信頼区間	
全体	60.9	72.1	71.6	72.7	64.2	71.3	70.5	72.1	61.9	71.9	71.4	72.3
拠点病院等	61.4	72.6	72.0	73.2	64.5	71.6	70.8	72.5	62.3	72.3	71.8	72.8
都道府県推薦病院	54.8	65.4	63.1	67.6	59.3	67.0	63.7	70.1	56.1	65.9	64.0	67.7
年齢												
0-39歳	62.7	63.0	56.7	68.6	61.0	61.2	55.2	66.5	61.8	62.0	57.8	66.0
40歳代	70.8	71.6	68.5	74.4	70.7	71.1	67.7	74.2	70.7	71.4	69.1	73.5
50歳代	73.3	75.5	74.1	76.9	70.9	71.8	69.5	74.0	72.6	74.4	73.2	75.6
60歳代	69.0	74.0	73.1	74.8	71.9	74.0	72.5	75.4	69.7	74.0	73.2	74.7
70歳代	60.6	72.3	71.4	73.2	68.7	74.7	73.3	76.0	62.8	73.0	72.2	73.7
80歳以上	40.0	66.8	65.0	68.7	47.1	64.6	62.5	66.7	42.6	66.0	64.6	67.4
UICC TNM 総合ステージ												
I期	80.6	95.7	95.1	96.2	87.1	97.0	96.2	97.7	82.4	96.0	95.6	96.5
II期	58.3	68.5	66.6	70.3	65.9	73.0	70.3	75.5	60.6	69.9	68.3	71.4
III期	35.5	41.1	39.4	42.8	40.5	44.2	41.8	46.6	37.0	42.1	40.7	43.5
IV期	5.4	6.2	5.6	6.9	6.2	6.8	5.8	7.7	5.7	6.4	5.9	6.9
不詳	14.4	19.5	15.7	23.6	9.0	11.7	7.6	16.8	12.7	17.0	14.1	20.2
観血的治療												
有	73.9	87.0	86.5	87.6	78.8	87.0	86.2	87.7	75.3	87.0	86.6	87.5
原発巣・治癒切除	76.6	90.1	89.5	90.6	82.0	90.6	89.8	91.3	78.2	90.2	89.8	90.7
原発巣・非治癒切除	27.7	34.0	31.4	36.7	28.1	31.6	28.0	35.2	27.9	33.3	31.1	35.4
原発巣・治癒/非治癒の												
別不詳	58.2	69.2	63.2	74.8	62.4	69.8	60.3	78.1	59.3	69.4	64.4	74.1
無	6.5	8.2	7.5	8.9	6.3	7.6	6.6	8.6	6.4	8.0	7.4	8.6

3. 大腸癌

	対象数	施設数	死亡数	平均年齢	生存状況把握割合 (%)
2012	49,626	365	17,987	69.6	97.8
0期*	16,775	361	2,262	67.6	95.8
I期	12,957	364	2,209	69.3	97.5
II期	13,284	363	3,152	71.1	97.6
III期	12,842	364	3,998	68.7	98.1
IV期	9,791	364	8,026	68.3	98.2

*全体集計には含まれていない。施設数は、当該対象腫瘍が登録されていた施設数

(1) 生存状況把握割合

集計対象 49,626 例のうち、5 年以内に死亡していた者は 17,987 例、打ち切りが 1,079 例で、全体として生存状況把握割合は 97.8%であった。

年齢は、男女ともに 70 歳代が最も多く、次いで 60 歳代が多くなっていた。UICC TNM 分類総合ステージ別にみると、全体では I、II、III 期ともに 25%前後にばらついていた。87.1%の対象者がなんらかの観血的治療を受けており、78.7%が原発巣・治癒切除例であった。発見経緯としては、他疾患経過観察中が 23.8%、がん検診が 11.0%、健康診断・人間ドックが 7.8%であった。

(2) 対象者の属性

対象者の属性を表 3-3-1 に示す。性別にみると、女性より男性がやや多く男性が 57.9%を占めた。診断時の年

表 3-3①-1 対象者の属性

	男性		女性		全体	
	対象数	(%)	対象数	(%)	対象数	(%)
全体	28,729	100.0	20,897	100.0	49,626	100.0
拠点病院等	26,239	91.3	19,107	91.4	45,346	91.4
都道府県推薦病院	2,490	8.7	1,790	8.6	4,280	8.6
年齢						
平均年齢 (SD)	69.0	(SD:11.0)	70.3	(SD:12.5)	69.6	(SD:11.6)
0-14 歳	(1-3)		0	0.0	(1-3)	
15-39 歳	347	1.2	304	1.5	651	1.3
40 歳代	1,101	3.8	1,035	5.0	2,136	4.3
50 歳代	3,440	12.0	2,491	11.9	5,931	12.0
60 歳代	9,176	31.9	5,326	25.5	14,502	29.2
70 歳代	9,692	33.7	6,417	30.7	16,109	32.5
80 歳以上	4,970	17.3	5,324	25.5	10,294	20.7
UICC TNM 分類総合ステージ						
0期*	11,180	-	5,595	-	16,775	-
I期	7,915	27.6	5,042	24.1	12,957	26.1
II期	7,639	26.6	5,645	27.0	13,284	26.8
III期	7,102	24.7	5,740	27.5	12,842	25.9
IV期	5,638	19.6	4,153	19.9	9,791	19.7
不詳	435	1.5	317	1.5	752	1.5
観血的治療						
有	25,012	87.1	18,234	87.3	43,246	87.1
原発巣・治癒切除	22,619	78.7	16,459	78.8	39,078	78.7
原発巣・非治癒切除	1,993	6.9	1,472	7.0	3,465	7.0
原発巣・治癒/非治癒の別不詳	400	1.4	303	1.4	703	1.4
無	3,717	12.9	2,663	12.7	6,380	12.9
発見経緯						
がん検診	3,085	10.7	2,351	11.3	5,436	11.0
健康診断・人間ドック	2,412	8.4	1,472	7.0	3,884	7.8
他疾患経過観察中	7,147	24.9	4,662	22.3	11,809	23.8
その他・不明	16,085	56.0	12,412	59.4	28,497	57.4

*全体集計には含まれていない

(3)5年生存率

5年生存率を表3-3①-2に示す。5年相対生存率は、男女ともほぼ同様であり全体では約73%であった。他の部位と同様、年代が高くなるほど、実測生存率と相対生存率の差が大きくなるが、これは高齢者ほど他疾患で亡くなる例が少なくないためと考えられる。UICC TNM 分類総合ステージ別に相対生存率をみると、I期では94.8%、II期では89.3%であった。観血的治療を受けたものは、相対生存率は81.8%であり、原発巣・治癒切除例においては86.8%であった。

表3-3①-2 属性別5年生存率

	男性			女性			全体		
	実測	相対	95%信頼区間	実測	相対	95%信頼区間	実測	相対	95%信頼区間
全体	61.9	72.6	72.0 73.3	65.4	73.0	72.3 73.7	63.4	72.8	72.3 73.3
拠点病院等	62.0	72.7	72.0 73.4	65.4	72.9	72.1 73.6	63.5	72.8	72.3 73.3
都道府県推薦病院	60.9	71.9	69.5 74.1	65.4	73.9	71.4 76.4	62.8	72.7	71.0 74.4
年齢									
0-39歳	67.9	68.2	62.9 72.9	69.3	69.5	63.9 74.4	68.5	68.8	65.0 72.2
40歳代	71.8	72.6	69.8 75.2	73.4	73.9	71.0 76.5	72.6	73.2	71.3 75.1
50歳代	72.6	74.8	73.2 76.3	74.5	75.5	73.7 77.2	73.4	75.1	73.9 76.2
60歳代	69.1	74.0	73.0 75.0	73.9	76.1	74.8 77.2	70.9	74.8	74.0 75.5
70歳代	60.9	72.5	71.3 73.6	68.9	74.9	73.7 76.2	64.1	73.5	72.6 74.3
80歳以上	40.6	69.6	67.2 71.9	46.5	66.0	64.1 68.0	43.7	67.7	66.2 69.2
UICC TNM 総合ステージ									
0期*	84.2	96.7	95.9 97.5	90.4	98.0	97.1 98.8	86.3	97.1	96.5 97.7
I期	80.1	93.9	92.8 94.9	86.9	96.1	95.1 97.1	82.8	94.8	94.0 95.5
II期	74.3	89.2	88.0 90.4	78.3	89.5	88.3 90.7	76.0	89.3	88.5 90.2
III期	66.2	76.8	75.5 78.0	71.5	79.0	77.7 80.3	68.6	77.8	76.9 78.7
IV期	17.0	19.2	18.1 20.4	16.8	18.0	16.8 19.3	16.9	18.7	17.9 19.6
不詳	20.3	24.9	20.4 29.8	15.6	19.5	14.7 24.9	18.3	22.7	19.3 26.3
観血的治療									
有	69.7	81.7	81.0 82.3	73.7	82.0	81.3 82.7	71.4	81.8	81.3 82.3
原発巣・治癒切除	73.7	86.5	85.8 87.1	78.3	87.2	86.4 87.9	75.6	86.8	86.3 87.2
原発巣・非治癒切除	28.2	32.2	30.0 34.5	26.2	28.4	26.0 30.9	27.3	30.6	28.9 32.3
原発巣・治癒/非治癒の別不詳	49.0	56.3	50.5 61.8	56.9	62.8	56.4 68.7	52.4	59.1	54.8 63.2
無	9.0	10.6	9.5 11.7	8.0	9.3	8.1 10.5	8.6	10.0	9.2 10.9

*全体集計には含まれていない

結腸癌

	対象数	施設数	死亡数	平均年齢	生存状況把握割合 (%)
2012	32,318	365	11,896	70.8	97.8
0期*	12,410	360	1,727	66.8	95.8
I期	8,342	364	1,511	70.4	97.6
II期	9,222	363	2,194	72.1	97.6
III期	7,871	363	2,487	70.3	98.1
IV期	6,383	364	5,303	69.3	98.3

*全体集計には含まれていない。施設数は、当該対象腫瘍が登録されていた施設数

(1) 生存状況把握割合

対象数は、32,318例、うち死亡数が11,896例、打ち切り数が703例で生存状況把握割合は97.8%であった。

(2) 対象者の属性

男性が約55%、女性が約45%を占め、平均年齢は、70.8歳であった。UICC TNM分類総合ステージ別にみると、I～III期が約25%前後であった。約88%になんらかの観血的治療が実施されていた。

表 3-3②-1 結腸 対象者の属性

	男性		女性		全体	
	対象数	(%)	対象数	(%)	対象数	(%)
全体	17,616	100.0	14,702	100.0	32,318	100.0
拠点病院等	16,039	91.0	13,436	91.4	29,475	91.2
都道府県推薦病院	1,577	9.0	1,266	8.6	2,843	8.8
年齢						
平均年齢 (SD)	70.3	(SD:10.8)	71.3	(SD:12.2)	70.8	(SD:11.4)
0-14歳	(1-3)		0	0.0	(1-3)	
15-39歳	188	1.1	176	1.2	364	1.1
40歳代	545	3.1	612	4.2	1,157	3.6
50歳代	1,741	9.9	1,548	10.5	3,289	10.2
60歳代	5,180	29.4	3,615	24.6	8,795	27.2
70歳代	6,389	36.3	4,639	31.6	11,028	34.1
80歳以上	3,570	20.3	4,112	28.0	7,682	23.8
UICC TNM分類総合ステージ						
0期*	8,241	-	4,169	-	12,410	-
I期	5,024	28.5	3,318	22.6	8,342	25.8
II期	4,971	28.2	4,251	28.9	9,222	28.5
III期	3,942	22.4	3,929	26.7	7,871	24.4
IV期	3,411	19.4	2,972	20.2	6,383	19.8
不詳	268	1.5	232	1.6	500	1.5
観血的治療						
有	15,546	88.2	12,901	87.7	28,447	88.0
原発巣・治癒切除	14,083	79.9	11,629	79.1	25,712	79.6
原発巣・非治癒切除	1,233	7.0	1,058	7.2	2,291	7.1
原発巣・治癒/非治癒の別不詳	230	1.3	214	1.5	444	1.4
無	2,070	11.8	1,801	12.3	3,871	12.0
発見経緯						
がん検診	1,979	11.2	1,724	11.7	3,703	11.5
健康診断・人間ドック	1,484	8.4	1,099	7.5	2,583	8.0
他疾患経過観察中	5,180	29.4	3,685	25.1	8,865	27.4
その他・不明	8,973	50.9	8,194	55.7	17,167	53.1

*全体集計には含まれていない

(3)5年生存率

表 3-3②-2 結腸に、属性別 5 年実測生存率と相対生存率を示す。年齢が高くなるほど実測生存率と相対生存率の差に乖離が大きくなる傾向にあった。これは年齢が高いほどがん以外の死因で亡くなる確率が高くなることが影響していると考えられる。UICC TNM 分類総合ステージ別にみると、I 期、II 期では相対生存率は 90% 以上であった。

表 3-3②-2 結腸 属性別 5 年生存率

	男性				女性				全体			
	実測	相対	95%信頼区間		実測	相対	95%信頼区間		実測	相対	95%信頼区間	
全体	61.2	73.2	72.3	74.1	64.7	72.8	72.0	73.7	62.8	73.1	72.4	73.7
拠点病院等	61.3	73.3	72.4	74.2	64.8	72.8	71.9	73.7	62.9	73.1	72.4	73.7
都道府県推薦病院	60.5	72.4	69.5	75.3	64.1	73.1	70.0	76.1	62.1	72.8	70.6	74.8
年齢												
0-39 歳	65.0	65.3	58.0	71.6	67.2	67.4	59.9	73.9	66.1	66.3	61.1	70.9
40 歳代	71.4	72.1	68.1	75.8	71.3	71.8	68.0	75.2	71.3	71.9	69.2	74.5
50 歳代	72.3	74.5	72.3	76.6	73.0	74.0	71.7	76.2	72.7	74.3	72.7	75.8
60 歳代	69.4	74.4	73.1	75.8	73.8	75.9	74.4	77.4	71.2	75.0	74.0	76.0
70 歳代	61.6	73.6	72.1	75.0	69.0	75.1	73.6	76.5	64.7	74.2	73.2	75.3
80 歳以上	41.4	71.2	68.4	74.0	47.6	67.5	65.3	69.6	44.7	69.2	67.4	70.9
UICC TNM 総合ステージ												
0 期*	83.7	96.5	95.5	97.4	90.0	97.7	96.6	98.6	85.8	96.9	96.2	97.6
I 期	78.7	93.5	92.1	94.8	86.2	96.1	94.7	97.3	81.7	94.5	93.5	95.5
II 期	73.3	89.8	88.3	91.3	79.1	91.0	89.6	92.4	76.0	90.4	89.3	91.4
III 期	65.3	77.4	75.6	79.2	70.9	79.1	77.5	80.7	68.1	78.3	77.1	79.5
IV 期	16.1	18.4	17.0	19.8	15.6	16.8	15.4	18.2	15.8	17.6	16.6	18.7
不詳	21.2	26.0	20.2	32.3	14.2	18.2	12.7	24.5	18.0	22.5	18.4	26.9
観血的治療												
有	68.5	83.8	80.8	82.6	72.9	81.8	80.9	82.6	70.5	81.8	81.1	82.4
原発巣・治癒切除	72.5	86.6	85.8	87.5	77.7	87.3	86.5	88.2	74.9	87.0	86.3	87.6
原発巣・非治癒切除	25.6	29.7	26.9	32.6	23.3	25.4	22.7	28.3	24.5	27.7	25.7	29.7
原発巣・治癒/非治癒の別不詳	50.8	59.3	51.5	66.7	54.8	61.0	53.3	68.1	52.7	60.2	54.7	65.4
無	6.2	7.7	6.4	9.1	5.6	6.5	5.3	7.8	5.9	7.1	6.2	8.1

*全体集計には含まれていない

直腸癌

	対象数	施設数	死亡数	平均年齢	生存状況把握割合 (%)
2012	17,308	365	6,091	67.3	97.8
0期*	4,365	349	535	57.4	95.9
I期	4,615	362	698	67.5	97.4
II期	4,062	359	958	68.8	97.8
III期	4,971	363	1,511	66.3	98.1
IV期	3,408	361	2,723	66.2	98.0

*全体集計には含まれていない。施設数は、当該対象腫瘍が登録されていた施設数

(1) 生存状況把握割合

対象数は、17,308例、うち死亡数が6,091例、打ち切り数が376例で生存状況把握割合は97.8%であった。

(2) 対象者の属性

男性が約64%、女性が約36%を占め、平均年齢は、67.3歳であった。UICC TNM分類総合ステージ別にみると、III期が28.7%であった。約86%になんらかの観血的治療が実施されていた。

表 3-3③-1 直腸 対象者の属性

	男性		女性		全体	
	対象数	(%)	対象数	(%)	対象数	(%)
全体	11,113	100.0	6,195	100.0	17,308	100.0
拠点病院等	10,200	91.8	5,671	91.5	15,871	91.7
都道府県推薦病院	913	8.2	524	8.5	1,437	8.3
年齢						
平均年齢 (SD)	67.0	(SD:11.0)	67.9	(SD:12.8)	67.3	(SD:11.7)
15-39歳	159	1.4	128	2.1	287	1.7
40歳代	556	5.0	423	6.8	979	5.7
50歳代	1,699	15.3	943	15.2	2,642	15.3
60歳代	3,996	36.0	1,711	27.6	5,707	33.0
70歳代	3,303	29.7	1,778	28.7	5,081	29.4
80歳以上	1,400	12.6	1,212	19.6	2,612	15.1
UICC TNM分類総合ステージ						
0期*	2,939	-	1,426	-	4,365	-
I期	2,891	26.0	1,724	27.8	4,615	26.7
II期	2,668	24.0	1,394	22.5	4,062	23.5
III期	3,160	28.4	1,811	29.2	4,971	28.7
IV期	2,227	20.0	1,181	19.1	3,408	19.7
不詳	167	1.5	85	1.4	252	1.5
観血的治療						
有	9,466	85.2	5,333	86.1	14,799	85.5
原発巣・治癒切除	8,536	76.8	4,830	78.0	13,366	77.2
原発巣・非治癒切除	760	6.8	414	6.7	1,174	6.8
原発巣・治癒/非治癒の別不詳	170	1.5	89	1.4	259	1.5
無	1,647	14.8	862	13.9	2,509	14.5
発見経緯						
がん検診	1,106	10.0	627	10.1	1,733	10.0
健康診断・人間ドック	928	8.4	373	6.0	1,301	7.5
他疾患経過観察中	1,967	17.7	977	15.8	2,944	17.0
その他・不明	7,112	64.0	4,218	68.1	11,330	65.5

*全体集計には含まれていない

(3)5年生存率

表 3-3③-2 直腸に、属性別 5 年実測生存率と相対生存率を示す。年齢が高くなるほど実測生存率と相対生存率の差に乖離が大きくなる傾向にあった。これは年齢が高いほどがん以外の死因で亡くなる確率が高くなることが影響していると考えられる。UICC TNM 分類総合ステージ別にみると、全体では I 期では相対性生存率は 90%以上であった。

表 3-3③-2 直腸 属性別 5 年生存率

	男性				女性				全体			
	実測	相対	95%信頼区間		実測	相対	95%信頼区間		実測	相対	95%信頼区間	
全体	63.0	71.8	70.8	72.8	67.1	73.3	72.0	74.6	64.5	72.4	71.5	73.2
拠点病院等	63.1	71.9	70.8	72.9	67.0	73.1	71.8	74.4	64.5	72.3	71.5	73.2
都道府県推薦病院	61.7	70.9	67.1	74.5	68.3	75.8	71.2	80.1	64.1	72.7	69.8	75.5
年齢												
15-39 歳	71.4	71.7	63.9	78.2	72.2	72.4	63.6	79.4	71.8	72.0	66.3	76.9
40 歳代	72.3	73.1	69.1	76.7	76.5	76.9	72.5	80.8	74.1	74.8	71.9	77.4
50 歳代	72.9	75.0	72.8	77.1	76.9	77.9	75.1	80.5	74.3	76.1	74.3	77.7
60 歳代	68.6	73.4	71.9	75.0	74.3	76.4	74.2	78.4	70.3	74.3	73.1	75.6
70 歳代	59.4	70.4	68.3	72.3	68.8	74.6	72.2	76.9	62.7	71.9	70.3	73.4
80 歳以上	38.6	65.4	61.0	69.7	43.0	61.2	57.2	65.2	40.7	63.3	60.4	66.3
UICC TNM 総合ステージ												
0 期*	85.6	97.3	95.8	98.7	91.4	98.9	97.2	100.0	87.5	97.9	96.7	98.9
I 期	82.5	94.6	93.0	96.2	88.4	96.3	94.6	97.9	84.7	95.3	94.1	96.4
II 期	76.3	88.1	86.2	89.9	76.1	85.0	82.4	87.4	76.2	87.0	85.5	88.5
III 期	67.4	76.0	74.2	77.9	72.7	78.8	76.5	81.0	69.3	77.1	75.6	78.5
IV 期	18.5	20.5	18.7	22.3	20.0	21.2	18.8	23.7	19.0	20.7	19.3	22.2
不詳	18.7	23.2	16.3	31.0	19.2	23.1	13.9	34.1	18.9	23.2	17.5	29.5
観血的治療												
有	71.6	81.6	80.5	82.6	75.8	82.5	81.2	83.7	73.1	81.9	81.1	82.7
原発巣・治癒切除	75.6	86.2	85.1	87.2	79.7	86.8	85.5	88.0	77.1	86.4	85.6	87.2
原発巣・非治癒切除	32.3	36.3	32.5	40.0	33.3	36.0	31.1	40.9	32.7	36.2	33.2	39.2
原発巣・治癒/非治癒の別不詳	46.6	52.3	43.7	60.5	62.0	67.0	55.1	77.1	51.9	57.4	50.4	64.0
無	12.4	14.2	12.4	16.1	13.1	14.9	12.5	17.7	12.7	14.4	13.0	16.0

*全体集計には含まれていない

4. 肝細胞癌と肝内胆管癌

肝細胞癌

	対象数	施設数	死亡数	平均年齢	生存状況把握割合 (%)
2012	14,816	362	8,962	70.8	98.0
I 期	6,467	356	2,850	71.1	97.7
II 期	4,451	352	2,688	70.8	98.2
III 期	2,501	352	2,135	70.9	98.2
IV 期	1,126	315	1,066	68.9	98.6

施設数は、当該対象腫瘍が登録されていた施設数

(1) 生存状況把握割合

対象者は、14,816 例で、そのうち 5 年以内に死亡していたのは 6,288 例、打ち切りが 264 例であった。全体として、生存状況把握割合は 98.0%であった。

男性が約 71%を占めた。年代をみると、70 歳代が最も多く男性で 37.5%、女性は 45.0%であった。UICC TNM 総合ステージ別にみると、全体で I 期が約 44%、II 期が約 30%、III 期が約 17%となっていた。27.1%に観血的治療が実施されていた。発見経緯としては、他疾患経過観察中が 69.0%であった。

(2) 対象者の属性

対象者の属性を表 3-4①-1 に示す。性別にみると、

表 3-4①-1 対象者の属性

	男性		女性		全体	
	対象数	(%)	対象数	(%)	対象数	(%)
全体	10,309	100.0	4,507	100.0	14,816	100.0
拠点病院等	9,579	92.9	4,191	93.0	13,770	92.9
都道府県推薦病院	730	7.1	316	7.0	1,046	7.1
年齢						
平均年齢 (SD)	69.6	(SD:10.1)	73.6	(SD:9.4)	70.8	(SD:10.0)
0-14 歳	(1-3)		(1-3)		(1-3)	
15-39 歳	70	0.7	27	0.6	97	0.7
40 歳代	285	2.8	57	1.3	342	2.3
50 歳代	1,193	11.6	231	5.1	1,424	9.6
60 歳代	3,237	31.4	961	21.3	4,198	28.3
70 歳代	3,871	37.5	2,027	45.0	5,898	39.8
80 歳以上	1,652	16.0	1,203	26.7	2,855	19.3
UICC TNM 分類総合ステージ						
I 期	4,153	40.3	2,314	51.3	6,467	43.6
II 期	3,133	30.4	1,318	29.2	4,451	30.0
III 期	1,949	18.9	552	12.2	2,501	16.9
IV 期	889	8.6	237	5.3	1,126	7.6
不詳	185	1.8	86	1.9	271	1.8
取扱い規約治療前ステージ						
I 期	2,037	19.8	1,317	29.2	3,354	22.6
II 期	3,695	35.8	1,721	38.2	5,416	36.6
III 期	2,550	24.7	864	19.2	3,414	23.0
IV 期	1,794	17.4	493	10.9	2,287	15.4
不詳 (空欄含む)	233	2.3	112	2.5	345	2.3
観血的治療						
有	3,031	29.4	980	21.7	4,011	27.1
原発巣・治癒切除	2,793	27.1	910	20.2	3,703	25.0
原発巣・非治癒切除	153	1.5	44	1.0	197	1.3
原発巣・治癒/非治癒の別不詳	85	0.8	26	0.6	111	0.7
無	7,278	70.6	3,527	78.3	10,805	72.9
発見経緯						
がん検診	69	0.7	13	0.3	82	0.6
健康診断・人間ドック	422	4.1	69	1.5	491	3.3
他疾患経過観察中	6,839	66.3	3,388	75.2	10,227	69.0
その他・不明	2,979	28.9	1,037	23.0	4,016	27.1

(3)5年生存率

5年生存率を表3-4①-2に示す。全体として、相対生存率は男女ともに約45%とほぼ同様であった。他の部位と比較して、80歳以上を除き年代による実測生存率と相対生存率の差はやや小さくなっており、予後があまり良くないことを示唆している。UICC TNM分類別にみると、I期では相対生存率は全体で約64%である。観血的治療を受けたものの割合は約3割であるが、観血的治療を受けたものの相対生存率は71.0%であった。

表3-4①-2 属性別5年生存率

	男性				女性				全体			
	実測	相対	95%信頼区間		実測	相対	95%信頼区間		実測	相対	95%信頼区間	
全体	38.1	44.6	43.5	45.8	40.3	45.0	43.4	46.7	38.8	44.8	43.8	45.7
拠点病院等	38.3	44.9	43.8	46.1	40.5	45.2	43.6	46.9	39.0	45.0	44.1	45.9
都道府県推薦病院	34.6	41.0	36.9	45.2	37.8	42.5	36.4	48.7	35.6	41.5	38.0	44.9
年齢												
0-39歳	51.0	51.2	38.6	62.5	-	-			49.4	49.6	39.1	59.2
40歳代	49.8	50.4	44.3	56.2	50.6	50.9	37.2	63.1	49.9	50.5	45.0	55.7
50歳代	46.2	47.6	44.6	50.5	58.8	59.6	52.8	65.8	48.3	49.6	46.8	52.2
60歳代	42.1	45.1	43.3	46.9	52.7	54.3	51.0	57.6	44.5	47.2	45.6	48.8
70歳代	37.4	44.8	43.0	46.7	41.0	44.8	42.4	47.1	38.6	44.8	43.3	46.2
80歳以上	23.4	37.9	34.6	41.3	25.1	33.4	30.2	36.8	24.1	35.9	33.6	38.3
UICC TNM 総合ステージ												
I期	56.7	66.5	64.7	68.3	52.9	59.2	56.8	61.4	55.3	63.8	62.4	65.2
II期	39.4	46.1	44.0	48.1	37.8	41.8	38.9	44.7	38.9	44.8	43.1	46.4
III期	13.8	16.3	14.5	18.2	12.1	13.8	10.8	17.1	13.4	15.7	14.2	17.4
IV期	3.9	4.4	3.1	6.0	5.3	6.0	3.3	9.9	4.2	4.7	3.5	6.2
不詳	15.1	17.7	12.0	24.5	14.6	17.0	9.3	26.9	15.0	17.5	12.8	23.0
取扱い規約治療前ステージ												
I期	60.7	69.7	67.2	72.1	57.8	64.2	61.2	67.1	59.6	67.5	65.6	69.4
II期	49.3	58.5	56.6	60.4	46.2	51.6	48.9	54.2	48.3	56.2	54.7	57.8
III期	26.4	31.1	29.1	33.1	22.9	25.9	22.7	29.1	25.5	29.7	28.0	31.5
IV期	8.0	9.4	7.9	10.9	6.7	7.5	5.2	10.3	7.8	9.0	7.7	10.3
不詳(空欄含む)	18.7	21.9	16.1	28.5	24.6	27.6	18.8	37.2	20.6	23.9	18.9	29.3
観血的治療												
有	61.9	71.0	69.0	73.0	65.4	70.7	67.4	73.9	62.7	71.0	69.2	72.6
原発巣・治癒切除	64.0	73.5	71.4	75.5	67.4	72.9	69.5	76.1	64.8	73.3	71.5	75.0
原発巣・非治癒切除	32.7	37.0	28.8	45.5	29.8	32.3	18.3	47.5	32.0	35.9	28.7	43.3
原発巣・治癒/非治癒の別不詳	46.3	53.4	40.8	65.2	-	-			48.1	54.7	43.7	64.9
無	28.1	33.4	32.1	34.6	33.3	37.6	35.9	39.4	29.8	34.8	33.8	35.8

肝内胆管癌

	対象数	施設数	死亡数	平均年齢	生存状況把握割合 (%)
2012	1,973	339	1,645	70.8	98.6
I 期	256	154	136	72.5	97.3
II 期	371	177	261	69.7	97.8
III 期	123	89	98	72.0	97.6
IV 期	1,146	306	1,077	70.4	99.2

施設数は、当該対象腫瘍が登録されていた施設数

(1) 生存状況把握割合

対象者は、1,973 例で、そのうち5年以内に死亡していたのは1,645 例、打ち切りが28 例であった。全体として、生存状況把握割合は98.6%であった。

男性が約62%を占めた。年代をみると、70歳代が最も多く男性で約37%、女性は約39%を占めた。UICC TNM 総合ステージ別にみると、全体でI 期が約13%、II 期が約19%、III 期が約6%、IV 期が約58%と半数以上をIV 期が占めた。37.3%に観血的治療が実施されていた。発見経緯としては、他疾患経過観察中が44.7%を占めた。

(2) 対象者の属性

対象者の属性を表3-4②-1に示す。性別にみると、

表3-4②-1 対象者の属性

	男性		女性		全体	
	対象数	(%)	対象数	(%)	対象数	(%)
全体	1,232	100.0	741	100.0	1,973	100.0
拠点病院等	1,148	93.2	688	92.8	1,836	93.1
都道府県推薦病院	84	6.8	53	7.2	137	6.9
年齢						
平均年齢 (SD)	70.2	(SD:10.2)	71.7	(SD:10.7)	70.8	(SD:10.4)
15-39 歳	10	0.8	(7-9)		19	1.0
40 歳代	28	2.3	14	1.9	42	2.1
50 歳代	124	10.1	48	6.5	172	8.7
60 歳代	392	31.8	209	28.2	601	30.5
70 歳代	457	37.1	285	38.5	742	37.6
80 歳以上	221	17.9	176	23.8	397	20.1
UICC TNM 分類総合ステージ						
I 期	167	13.6	89	12.0	256	13.0
II 期	229	18.6	142	19.2	371	18.8
III 期	77	6.3	46	6.2	123	6.2
IV 期	704	57.1	442	59.6	1,146	58.1
不詳	55	4.5	22	3.0	77	3.9
取扱い規約治療前ステージ						
I 期	59	4.8	36	4.9	95	4.8
II 期	202	16.4	113	15.2	315	16.0
III 期	186	15.1	127	17.1	313	15.9
IV 期	618	50.2	369	49.8	987	50.0
不詳 (空欄含む)	167	13.6	96	13.0	263	13.3
観血的治療						
有	466	37.8	269	36.3	735	37.3
原発巣・治癒切除	397	32.2	219	29.6	616	31.2
原発巣・非治癒切除	51	4.1	40	5.4	91	4.6
原発巣・治癒/非治癒の別不詳	18	1.5	10	1.3	28	1.4
無	766	62.2	472	63.7	1,238	62.7
発見経緯						
がん検診	20	1.6	10	1.3	30	1.5
健康診断・人間ドック	90	7.3	40	5.4	130	6.6
他疾患経過観察中	560	45.5	321	43.3	881	44.7
その他・不明	562	45.6	370	49.9	932	47.2

(3)5年生存率

5年生存率を表3-4②-2に示す。全体として、IV期が半数以上を占めていることから相対生存率は全体で約18%であった。他の部位と比較して、年代による実測生存率と相対生存率の差はやや小さくなっており、予後があまり良くないことを示唆している。UICC TNM 分類別にみると、I期では相対生存率は全体で53.0%である。観血的治療を受けたものの割合は37.3%であるが、観血的治療を受けたものの相対生存率は約43%であった。

表3-4②-2 属性別5年生存率

	男性				女性				全体			
	実測	相対	95%信頼区間		実測	相対	95%信頼区間		実測	相対	95%信頼区間	
全体	16.5	19.2	16.8	21.7	14.8	16.0	13.3	18.9	15.9	18.0	16.2	19.8
拠点病院等	16.6	19.2	16.8	21.8	15.0	16.3	13.5	19.3	16.0	18.1	16.2	20.0
都道府県推薦病院	15.5	18.9	10.4	29.7	11.3	12.2	5.0	23.1	13.9	16.2	10.1	23.8
年齢												
15-39歳	-	-			-	-			-	-		
40歳代	-	-			-	-			15.6	15.7	6.4	28.7
50歳代	17.7	18.3	12.0	25.7	14.6	14.8	6.5	26.3	16.9	17.3	12.0	23.4
60歳代	18.7	20.0	16.0	24.3	19.9	20.5	15.2	26.4	19.1	20.2	16.9	23.6
70歳代	18.3	21.9	17.8	26.3	14.4	15.6	11.5	20.4	16.8	19.4	16.4	22.6
80歳以上	6.6	11.0	6.3	17.4	8.3	10.8	6.2	16.9	7.3	11.0	7.5	15.3
UICC TNM 総合ステージ												
I期	46.8	55.6	46.3	64.4	44.3	48.4	36.9	59.4	46.0	53.0	45.8	60.0
II期	27.6	31.6	25.1	38.4	29.7	31.8	23.9	40.1	28.4	31.7	26.6	36.9
III期	20.5	24.7	14.9	36.4	19.4	21.2	10.4	34.8	20.1	23.3	15.6	32.0
IV期	6.3	7.2	5.3	9.4	4.1	4.5	2.8	6.8	5.5	6.1	4.7	7.7
不詳	3.9	4.9	0.9	14.7	-	-			4.1	5.0	1.3	12.7
取扱い規約治療前ステージ												
I期	58.7	71.2	54.6	85.0	52.6	57.1	38.3	73.1	56.4	65.5	53.2	76.4
II期	32.6	38.1	30.6	45.7	34.9	38.1	28.6	47.7	33.4	38.1	32.1	44.1
III期	21.1	24.5	18.1	31.7	16.2	17.6	11.2	25.2	19.2	21.7	17.0	26.8
IV期	4.0	4.4	2.9	6.4	3.8	4.1	2.3	6.6	3.9	4.3	3.1	5.8
不詳(空欄含む)	23.2	27.6	18.5	37.8	15.3	16.3	7.2	28.8	20.7	23.9	16.9	31.8
観血的治療												
有	38.8	44.5	39.4	49.6	38.2	40.8	34.6	47.0	38.6	43.1	39.1	47.0
原発巣・治癒切除	42.4	48.8	43.2	54.4	41.9	44.8	37.8	51.8	42.2	47.3	42.9	51.7
原発巣・非治癒切除	13.7	15.3	6.7	27.4	22.9	24.4	11.9	39.4	17.7	19.3	11.6	28.6
原発巣・治癒/非治癒の別不詳	-	-			-	-			-	-		
無	2.8	3.3	2.1	4.9	1.2	1.3	0.5	2.9	2.2	2.5	1.7	3.6

5. 小細胞肺癌と非小細胞肺癌

小細胞肺癌

	対象数	施設数	死亡数	平均年齢	生存状況把握割合 (%)
2012	4,488	344	3,981	70.4	98.5
I 期	305	169	177	72.6	98.4
II 期	266	164	194	70.5	97.7
III 期	1,301	308	1,084	69.6	98.6
IV 期	2,557	339	2,475	70.4	98.5

施設数は、当該対象腫瘍が登録されていた施設数

(1) 生存状況把握割合

対象者は、4,488 例で、そのうち 5 年以内に死亡していた者は、3,981 例、打ち切りが 68 例で、全体として生存状況把握割合は 98.5%であった。

(2) 対象者の属性

対象者の属性を表 3-5①-1 に示す。対象者は、男性が 83.1%を占め、70 歳代が最も多かった。UICC TNM 分類総合ステージ別にみると、全体として IV 期

が 57.0%、次いで III 期が 29.0%であった。病期分布に男女差はほとんどなく、若干女性で III 期の割合が男性より多かった。観血的治療実施を受けた者の割合は、非小細胞肺癌と比較して低く、約 9%であった。発見経緯をみると、他疾患経過観察中が約 28%であった。

表 3-5①-1 対象者の属性

	男性		女性		全体	
	対象数	(%)	対象数	(%)	対象数	(%)
全体	3,731	100.0	757	100.0	4,488	100.0
拠点病院等	3,506	94.0	711	93.9	4,217	94.0
都道府県推薦病院	225	6.0	46	6.1	271	6.0
年齢						
平均年齢 (SD)	70.5	(SD:8.5)	69.8	(SD:9.2)	70.4	(SD:8.7)
15-39 歳	(7-9)		(1-3)		10	0.2
40 歳代	41	1.1	14	1.8	55	1.2
50 歳代	294	7.9	67	8.9	361	8.0
60 歳代	1,339	35.9	273	36.1	1,612	35.9
70 歳代	1,498	40.2	285	37.6	1,783	39.7
80 歳以上	552	14.8	115	15.2	667	14.9
UICC TNM 分類総合ステージ						
I 期	269	7.2	36	4.8	305	6.8
II 期	225	6.0	41	5.4	266	5.9
III 期	1,064	28.5	237	31.3	1,301	29.0
IV 期	2,132	57.1	425	56.1	2,557	57.0
不詳	41	1.1	18	2.4	59	1.3
観血的治療						
有	349	9.4	51	6.7	400	8.9
原発巣・治癒切除	303	8.1	44	5.8	347	7.7
原発巣・非治癒切除	28	0.8	(7-9)		35	0.8
原発巣・治癒/非治癒の別不詳	18	0.5	0	0.0	18	0.4
無	3,382	90.6	706	93.3	4,088	91.1
発見経緯						
がん検診	171	4.6	20	2.6	191	4.3
健康診断・人間ドック	334	9.0	40	5.3	374	8.3
他疾患経過観察中	1,054	28.2	210	27.7	1,264	28.2
その他・不明	2,172	58.2	487	64.3	2,659	59.2

(3)5年生存率

5年生存率を表3-5①-2に示す。全体での5年相対生存率は、IV期が半数以上を占めることから低く約12%であった。UICC TNM分類総合ステージ別にみると、I期では相対生存率が48.8%であった。観血的治療を受けた者の割合は少ないが、相対生存率は47.9%であった。

表3-5①-2 属性別5年生存率

	男性				女性				全体			
	実測	相対	95%信頼区間		実測	相対	95%信頼区間		実測	相対	95%信頼区間	
全体	9.8	11.2	10.1	12.3	13.2	14.0	11.5	16.7	10.3	11.7	10.7	12.7
拠点病院等	10.0	11.5	10.3	12.6	13.1	13.9	11.4	16.7	10.5	11.9	10.8	13.0
都道府県推薦病院	6.2	7.2	4.0	11.6	14.5	15.8	6.5	29.1	7.5	8.6	5.4	12.8
年齢												
15-39歳	-	-			-	-			-	-		
40歳代	20.1	20.4	9.6	34.0	-	-			16.7	16.9	8.3	28.1
50歳代	18.3	18.8	14.5	23.6	19.4	19.7	11.1	30.0	18.5	19.0	15.0	23.3
60歳代	11.5	12.3	10.6	14.3	15.6	16.0	11.8	20.8	12.2	13.0	11.3	14.7
70歳代	8.0	9.5	7.9	11.2	14.0	15.0	11.0	19.7	9.0	10.4	8.9	12.1
80歳以上	4.8	7.9	5.2	11.2	1.9	2.4	0.5	7.5	4.3	6.8	4.6	9.6
UICC TNM 総合ステージ												
I期	40.8	48.7	41.7	55.7	45.8	49.2	31.1	65.6	41.4	48.8	42.3	55.3
II期	23.5	26.9	20.8	33.6	39.0	41.8	26.1	57.2	26.0	29.4	23.5	35.5
III期	15.1	17.1	14.8	19.7	20.6	21.6	16.4	27.3	16.1	18.0	15.8	20.3
IV期	1.5	1.7	1.2	2.4	3.7	4.0	2.3	6.3	1.9	2.1	1.6	2.8
不詳	14.5	16.7	6.7	31.1	-	-			13.5	15.2	7.1	26.5
観血的治療												
有	39.7	45.8	39.8	51.8	58.1	61.3	45.6	74.2	42.0	47.9	42.3	53.4
原発巣・治癒切除	42.4	49.1	42.5	55.5	62.8	66.1	49.1	79.3	45.0	51.3	45.2	57.3
原発巣・非治癒切除	-	-			-	-			20.0	22.7	10.0	39.2
原発巣・治癒/非治癒の別不詳	-	-							-	-		
無	6.7	7.6	6.7	8.6	9.9	10.5	8.3	13.0	7.2	8.1	7.3	9.1

非小細胞肺癌

	対象数	施設数	死亡数	平均年齢	生存状況把握割合 (%)
2012	45,773	364	26,891	70.4	98.3
0期*	122	57	18	66.9	96.7
I期	18,575	355	4,850	70.4	98.0
II期	4,154	340	2,227	70.9	98.3
III期	8,105	358	6,063	69.8	98.5
IV期	14,300	362	13,190	70.2	98.6

*全体集計には含まれていない。施設数は、当該対象腫瘍が登録されていた施設数

(1) 生存状況把握割合

対象者は、45,773例で、そのうち5年以内に死亡していた者は、26,891例、打ち切りが791例で、全体として生存状況把握割合は98.3%であった。

TNM分類総合ステージ別にみると、全体としてI期が約41%、次いでIV期が約31%であった。病期分布に若干女性でI期の割合が男性より多かった。観血的治療実施を受けた者の割合は、小細胞肺癌と比較して多く、48.1%であった。発見経緯をみると、他疾患経過観察中が39.0%であった。

(2) 対象者の属性

対象者の属性を表3-5②-1に示す。対象者は、男性が67.0%を占め、70歳代が最も多かった。UICC

表3-5②-1 対象者の属性

	男性		女性		全体	
	対象数	(%)	対象数	(%)	対象数	(%)
全体	30,681	100.0	15,092	100.0	45,773	100.0
拠点病院等	28,996	94.5	14,286	94.7	43,282	94.6
都道府県推薦病院	1,685	5.5	806	5.3	2,491	5.4
年齢						
平均年齢 (SD)	70.7	(SD:9.9)	69.8	(SD:10.7)	70.4	(SD:10.2)
0-14歳	0	0.0	(1-3)		(1-3)	
15-39歳	181	0.6	149	1.0	330	0.7
40歳代	707	2.3	491	3.3	1,198	2.6
50歳代	2,672	8.7	1,577	10.4	4,249	9.3
60歳代	9,615	31.3	4,676	31.0	14,291	31.2
70歳代	11,580	37.7	5,467	36.2	17,047	37.2
80歳以上	5,926	19.3	2,731	18.1	8,657	18.9
UICC TNM 分類総合ステージ						
0期*	59	-	63	-	122	-
I期	10,880	35.5	7,695	51.0	18,575	40.6
II期	3,218	10.5	936	6.2	4,154	9.1
III期	6,224	20.3	1,881	12.5	8,105	17.7
IV期	9,856	32.1	4,444	29.4	14,300	31.2
不詳	503	1.6	136	0.9	639	1.4
観血的治療						
有	13,383	43.6	8,639	57.2	22,022	48.1
原発巣・治癒切除	12,614	41.1	8,333	55.2	20,947	45.8
原発巣・非治癒切除	555	1.8	229	1.5	784	1.7
原発巣・治癒/非治癒の別不詳	214	0.7	77	0.5	291	0.6
無	17,298	56.4	6,453	42.8	23,751	51.9
発見経緯						
がん検診	2,015	6.6	1,414	9.4	3,429	7.5
健康診断・人間ドック	3,871	12.6	2,217	14.7	6,088	13.3
他疾患経過観察中	11,914	38.8	5,924	39.3	17,838	39.0
その他・不明	12,881	42.0	5,537	36.7	18,418	40.2

*全体集計には含まれていない

(3)5年生存率

5年生存率を表3-5②-2に示す。全体での5年相対生存率は、男性が38.9%、女性が60.8%と女性でやや高かった。UICC TNM分類総合ステージ別にみても、やや男性より女性で相対生存率が高い傾向にあった。観血的治療を受けた者(原発巣・治癒切除)では相対生存率は全体で82.1%であった。

表3-5②-2 属性別5年生存率

	男性				女性				全体			
	実測	相対	95%信頼区間		実測	相対	95%信頼区間		実測	相対	95%信頼区間	
全体	33.1	38.9	38.3	39.5	56.2	60.8	60.0	61.7	40.7	46.3	45.8	46.8
拠点病院等	33.5	39.3	38.6	39.9	56.6	61.3	60.4	62.2	41.1	46.7	46.2	47.3
都道府県推薦病院	27.1	32.4	29.8	35.0	47.9	52.4	48.5	56.2	33.9	39.1	36.9	41.3
年齢												
0-39歳	39.5	39.7	32.5	46.7	63.8	64.0	55.5	71.3	50.3	50.5	44.9	55.8
40歳代	44.1	44.6	40.9	48.3	63.8	64.2	59.8	68.4	52.2	52.7	49.8	55.5
50歳代	44.5	45.8	43.8	47.8	66.5	67.4	65.0	69.7	52.7	53.9	52.3	55.4
60歳代	39.9	42.8	41.7	43.8	64.1	66.0	64.5	67.4	47.8	50.5	49.6	51.3
70歳代	32.3	38.5	37.5	39.5	56.4	61.2	59.8	62.7	40.0	46.0	45.1	46.8
80歳以上	17.1	28.0	26.4	29.6	34.1	45.3	42.9	47.7	22.4	33.8	32.5	35.2
UICC TNM 総合ステージ												
0期*	77.7	88.5	73.6	98.4	92.1	97.5	86.8	100.0	99.2	100.0	99.8	100.0
I期	64.5	76.7	75.6	77.7	86.5	93.7	92.8	94.5	73.6	84.0	83.2	84.7
II期	41.2	48.2	46.2	50.2	62.1	67.6	64.1	70.9	45.9	52.7	51.0	54.5
III期	20.9	23.8	22.6	25.0	36.5	39.3	36.9	41.6	24.5	27.5	26.4	28.5
IV期	4.5	5.1	4.7	5.6	11.3	12.2	11.2	13.2	6.6	7.3	6.9	7.8
不詳	7.9	10.7	7.7	14.3	16.0	19.6	12.7	27.9	9.6	12.7	9.9	16.1
観血的治療												
有	63.4	73.1	72.2	74.1	85.1	91.0	90.1	91.8	71.9	80.3	79.6	81.0
原発巣・治癒切除	65.3	75.3	74.4	76.3	86.0	92.0	91.2	92.7	73.6	82.1	81.5	82.8
原発巣・非治癒切除	28.1	32.2	27.9	36.5	52.6	56.3	49.1	63.0	35.3	39.4	35.7	43.1
原発巣・治癒/非治癒の別不詳	42.9	48.6	40.9	56.0	80.0	85.9	74.1	93.9	52.6	58.6	51.9	64.8
無	9.4	11.5	11.0	12.1	16.9	19.0	18.0	20.1	11.4	13.6	13.1	14.1

*全体集計には含まれていない

6. 女性乳癌

	対象数	施設数	死亡数	平均年齢	生存状況把握割合 (%)
2012	35,566	363	4,262	59.5	98.0
0期*	5,499	338	154	56.8	97.2
I期	16,072	360	777	59.3	98.1
II期	12,985	360	1,159	59.3	97.9
III期	4,354	351	984	60.1	97.8
IV期	1,981	333	1,261	59.7	98.3

*全体集計には含まれていない。施設数は、当該対象腫瘍が登録されていた施設数

(1) 生存状況把握割合

集計対象は、35,566例で、5年以内に亡くなっていたのが4,262例、打ち切りが719例であった。集計対象全体での生存状況把握割合は98.0%であった。

(2) 対象者の属性

対象者の属性を表3-6-1に示す。診断時の年齢をみると、60歳代が最も多く、次いで40、50歳代であった。また、35歳未満は、646例であった(1.8%)。UICC TNM分類総合ステージ別にみると、I期が最も多く約45%、次いでII期が約37%であった。観血的治療の実施割合は、約90%であった。発見経緯を見ると、大腸や肺と比較してがん検診がやや多かった。

表3-6-1 対象者の属性

	対象数	(%)
全体	35,566	100.0
拠点病院等	33,291	93.6
都道府県推薦病院	2,275	6.4
年齢		
平均年齢 (SD)	59.5	(SD:13.7)
15-39歳	2,241	6.3
40歳代	7,662	21.5
50歳代	7,518	21.1
60歳代	9,390	26.4
70歳代	5,828	16.4
80歳以上	2,927	8.2
35歳未満 (再掲)	646	1.8
UICC TNM 分類総合ステージ		
0期*	5,499	-
I期	16,072	45.2
II期	12,985	36.5
III期	4,354	12.2
IV期	1,981	5.6
不詳	174	0.5
観血的治療		
有	31,872	89.6
原発巣・治癒切除	29,588	83.2
原発巣・非治癒切除	1,478	4.2
原発巣・治癒/非治癒の別不詳	806	2.3
無	3,694	10.4
発見経緯		
がん検診	7,904	22.2
健康診断・人間ドック	1,864	5.2
他疾患経過観察中	4,651	13.1
その他・不明	21,147	59.5

*全体集計には含まれていない

(3) 5年生存率

5年生存率を表3-6-2に示す。全体として、相対生存率は92.3%であった。UICC TNM分類総合ステージ別にみると、I期が99.6%、II期が95.6%、III期が81.4%、IV期が37.1%であった。観血的治療実施を受けた者では、全体で96.7%であった。

表3-6-2 属性別5年相対生存率

	実測	相対	95%信頼区間	
全体	87.9	92.3	91.9	92.6
拠点病院等	88.0	92.4	92.0	92.7
都道府県推薦病院	86.0	91.2	89.6	92.7
年齢				
15-39歳	91.5	91.7	90.5	92.8
40歳代	93.6	94.2	93.6	94.7
50歳代	90.0	91.1	90.4	91.8
60歳代	89.8	92.3	91.7	92.9
70歳代	85.7	92.6	91.6	93.6
80歳以上	63.1	89.3	86.8	91.8
35歳未満 (再掲)	89.5	89.7	87.1	91.9
UICC TNM 総合ステージ				
0期*	97.2	100.0	100.0	100.0
I期	95.1	99.6	99.2	99.9
II期	91.0	95.6	95.1	96.2
III期	77.2	81.4	80.1	82.7
IV期	35.6	37.1	34.9	39.3
不詳	52.5	61.3	52.2	69.7
観血的治療				
有	92.5	96.7	96.4	97.0
原発巣・治癒切除	93.0	97.2	96.9	97.5
原発巣・非治癒切除	85.5	89.7	87.7	91.5
原発巣・治癒/非治癒の別不詳	88.4	92.7	90.1	94.8
無	47.9	52.5	50.8	54.3

*全体集計には含まれていない

7. 食道癌

	対象数	施設数	死亡数	平均年齢	生存状況把握割合 (%)
2012	12,811	363	7,363	68.8	98.0
0期*	1,844	273	391	69.4	97.2
I期	4,932	344	1,453	69.0	97.6
II期	1,629	307	875	68.8	98.6
III期	3,884	342	2,921	68.5	98.3
IV期	2,092	331	1,896	68.0	98.3

*全体集計には含まれていない。施設数は、当該対象腫瘍が登録されていた施設数

(1) 生存状況把握割合

集計対象は、12,811例で、5年以内に亡くなっていたのが7,363例、打ち切りが251例であった。全体として生存状況把握割合は、98.0%であった。

(2) 対象者の属性

集計対象の属性を表3-7-1に示す。集計対象のうち男性が約86%、女性が約14%であった。年齢分布をみると、60歳代が37.0%、70歳代が35.3%と多かった。UICC TNM分類総合ステージをみると、I期が最も多く約39%、次いでIII期が約30%、IV期が約16%、II期が約13%であった。観血的治療の実施割合は全体で約52%であり、約46%が原発巣・治癒切除例であった。発見経緯を見ると、他疾患経過観察中が約26%であった。

表3-7-1 対象者の属性

	男性		女性		全体	
	対象数	(%)	対象数	(%)	対象数	(%)
全体	10,979	100.0	1,832	100.0	12,811	100.0
拠点病院等	10,557	96.2	1,767	96.5	12,324	96.2
都道府県推薦病院	422	3.8	65	3.5	487	3.8
年齢						
平均年齢 (SD)	68.7	(SD:9.1)	69.1	(SD:10.9)	68.8	(SD:9.4)
15-39歳	24	0.2	17	0.9	41	0.3
40歳代	213	1.9	68	3.7	281	2.2
50歳代	1,380	12.6	243	13.3	1,623	12.7
60歳代	4,158	37.9	583	31.8	4,741	37.0
70歳代	3,921	35.7	607	33.1	4,528	35.3
80歳以上	1,283	11.7	314	17.1	1,597	12.5
UICC TNM 分類総合ステージ						
0期*	1,536	-	308	-	1,844	-
I期	4,303	39.2	629	34.3	4,932	38.5
II期	1,353	12.3	276	15.1	1,629	12.7
III期	3,292	30.0	592	32.3	3,884	30.3
IV期	1,798	16.4	294	16.0	2,092	16.3
不詳	233	2.1	41	2.2	274	2.1
観血的治療						
有	5,679	51.7	929	50.7	6,608	51.6
原発巣・治癒切除	5,106	46.5	844	46.1	5,950	46.4
原発巣・非治癒切除	423	3.9	59	3.2	482	3.8
原発巣・治癒/非治癒の別不詳	150	1.4	26	1.4	176	1.4
無	5,300	48.3	903	49.3	6,203	48.4
発見経緯						
がん検診	429	3.9	51	2.8	480	3.7
健康診断・人間ドック	1,038	9.5	90	4.9	1,128	8.8
他疾患経過観察中	2,973	27.1	386	21.1	3,359	26.2
その他・不明	6,539	59.6	1,305	71.2	7,844	61.2

*全体集計には含まれていない

(3) 5年生存率

5年生存率を表3-7-2に示す。全体での相対生存率は、47.6%であり、男性が47.2%、女性が49.8%であった。UICC TNM分類総合ステージ別にみると、5年相対生存率はⅠ期が約80%、Ⅱ期が約52%、Ⅲ期が約27%であった。観血的治療を受けた者の相対生存率は、約72%であり、その内原発巣・治癒切除例の相対生存率は約75%であった。

表3-7-2 属性別5年生存率

	男性				女性				全体			
	実測	相対	95%信頼区間		実測	相対	95%信頼区間		実測	相対	95%信頼区間	
全体	41.3	47.2	46.1	48.3	46.1	49.8	47.3	52.2	42.0	47.6	46.6	48.5
拠点病院等	41.7	47.6	46.5	48.7	45.9	49.6	47.0	52.1	42.3	47.9	46.9	48.9
都道府県推薦病院	30.9	35.9	30.7	41.3	49.1	55.0	40.6	68.0	33.4	38.6	33.6	43.5
年齢												
15-39歳	-	-			-	-			48.8	49.0	33.1	63.1
40歳代	51.9	52.5	45.4	59.1	53.8	54.1	41.4	65.2	52.3	52.9	46.8	58.6
50歳代	47.3	48.7	45.9	51.4	54.4	55.1	48.5	61.3	48.3	49.6	47.1	52.1
60歳代	46.2	49.5	47.9	51.1	51.5	53.0	48.7	57.1	46.8	49.9	48.4	51.5
70歳代	39.2	46.5	44.6	48.3	46.4	50.2	45.8	54.5	40.2	47.0	45.3	48.7
80歳以上	23.3	38.7	34.9	42.7	26.5	36.2	29.6	43.1	24.0	38.1	34.8	41.6
UICC TNM分類総合ステージ												
0期*	76.5	88.6	86.1	91.0	88.5	95.1	90.7	98.5	78.5	89.8	87.5	91.8
Ⅰ期	69.5	80.0	78.4	81.6	74.9	81.5	77.6	85.0	70.2	80.2	78.7	81.7
Ⅱ期	45.1	51.1	48.1	54.1	49.6	53.1	46.6	59.3	45.9	51.5	48.7	54.2
Ⅲ期	22.5	25.5	23.9	27.1	32.4	34.7	30.7	38.8	24.0	26.9	25.4	28.4
Ⅳ期	7.7	8.6	7.3	10.1	11.1	11.7	8.2	15.9	8.1	9.1	7.8	10.5
不詳	17.1	20.9	15.2	27.3	22.9	27.7	13.8	44.4	18.0	21.9	16.6	27.9
観血的治療												
有	63.5	71.6	70.2	73.0	67.9	72.2	68.9	75.3	64.1	71.7	70.4	73.0
原発巣・治癒切除	66.1	74.6	73.1	76.0	70.2	74.6	71.2	77.8	66.7	74.6	73.2	75.9
原発巣・非治癒切除	38.2	43.2	38.0	48.5	39.3	42.1	28.7	55.3	38.4	43.1	38.2	48.0
原発巣・治癒/非治癒の別不詳	46.5	52.0	42.9	60.7	-	-			48.2	53.4	45.0	61.3
無	17.2	20.3	19.1	21.5	23.2	25.9	22.8	29.0	18.1	21.1	20.0	22.3

*全体集計には含まれていない

8. 膵臓癌

	対象数	施設数	死亡数	平均年齢	生存状況把握割合 (%)
2012	13,599	364	12,057	70.3	98.4
0期*	220	117	42	70.2	97.7
I期	916	302	454	70.8	97.9
II期	3,747	352	3,009	70.6	98.6
III期	2,087	339	1,964	70.4	98.4
IV期	6,465	361	6,281	69.8	98.6

*全体集計には含まれていない。施設数は、当該対象腫瘍が登録されていた施設数

(1) 生存状況把握割合

集計対象は、13,599例で、5年以内に亡くなっていたのが12,057例、打ち切りが213例であった。集計対象全体で生存状況把握割合は98.4%であった。

(2) 対象者の属性

集計対象の属性を表3-8-1に示す。集計対象者は、男性が約56%、女性が約44%であった。診断時の年齢分布は、70歳代が約35%と最も多く、次いで60歳代が約31%、80歳以上が約20%であった。UICC TNM分類総合ステージの分布をみると、IV期が最も多く47.5%、次いでII期が27.6%、III期が15.3%であった。観血的治療の実施割合は、男女ともに27~28%であった。全体で22.9%が原発巣・治癒切除例であった。発見経緯を見ると、他疾患経過観察中が約29%であった。

表3-8-1 対象者の属性

	男性		女性		全体	
	対象数	(%)	対象数	(%)	対象数	(%)
全体	7,650	100.0	5,949	100.0	13,599	100.0
拠点病院等	7,123	93.1	5,507	92.6	12,630	92.9
都道府県推薦病院	527	6.9	442	7.4	969	7.1
年齢						
平均年齢 (SD)	69.3	(SD:10.4)	71.6	(SD:10.9)	70.3	(SD:10.7)
15-39歳	64	0.8	47	0.8	111	0.8
40歳代	245	3.2	147	2.5	392	2.9
50歳代	889	11.6	536	9.0	1,425	10.5
60歳代	2,533	33.1	1,629	27.4	4,162	30.6
70歳代	2,685	35.1	2,116	35.6	4,801	35.3
80歳以上	1,234	16.1	1,474	24.8	2,708	19.9
UICC TNM分類総合ステージ						
0期*	133	-	87	-	220	-
I期	509	6.7	407	6.8	916	6.7
II期	2,118	27.7	1,629	27.4	3,747	27.6
III期	1,115	14.6	972	16.3	2,087	15.3
IV期	3,715	48.6	2,750	46.2	6,465	47.5
不詳	193	2.5	191	3.2	384	2.8
観血的治療						
有	2,196	28.7	1,606	27.0	3,802	28.0
原発巣・治癒切除	1,795	23.5	1,317	22.1	3,112	22.9
原発巣・非治癒切除	330	4.3	216	3.6	546	4.0
原発巣・治癒/非治癒の別不詳	71	0.9	73	1.2	144	1.1
無	5,454	71.3	4,343	73.0	9,797	72.0
発見経緯						
がん検診	54	0.7	38	0.6	92	0.7
健康診断・人間ドック	338	4.4	196	3.3	534	3.9
他疾患経過観察中	2,326	30.4	1,665	28.0	3,991	29.3
その他・不明	4,932	64.5	4,050	68.1	8,982	66.0

*全体集計には含まれていない

(3) 5年生存率

5年生存率を表3-8-2に示す。5年相対生存率は、全体で約12%であった。肝や肺と同様、実測生存率と相対生存率の差は他の部位と比較して小さく、予後があまり良くないがんと考えられる。年代別にみても、実測生存率、相対生存率はほぼ同程度であった。但し、15-39歳、40歳代では対象者数がやや少なく95%信頼区間の幅が広がっている点に留意する必要がある。UICC TNM分類総合ステージ別にみると、相対生存率はI期が約57%、II期が約21%、III期が約5%、IV期が約2%であった。観血治療を受けた者の相対生存率は約35%であり、原発巣・治癒切除例のみをみても相対生存率は約39%にとどまった。

表3-8-2 属性別5年生存率

	男性			女性			全体		
	実測	相対	95%信頼区間	実測	相対	95%信頼区間	実測	相対	95%信頼区間
全体	9.6	11.1	10.3 11.9	11.1	12.0	11.1 12.9	10.3	11.5	10.9 12.1
拠点病院等	9.8	11.2	10.4 12.0	11.3	12.2	11.3 13.2	10.4	11.6	11.1 12.3
都道府県推薦病院	7.9	9.4	6.8 12.5	8.2	9.0	6.4 12.2	8.1	9.2	7.3 11.4
年齢									
15-39歳	24.4	24.5	14.6 35.8	57.0	57.2	41.7 70.0	38.4	38.5	29.3 47.6
40歳代	14.9	15.0	10.8 19.9	25.4	25.5	18.7 32.9	18.8	18.9	15.2 23.0
50歳代	12.3	12.7	10.5 15.0	14.0	14.2	11.4 17.4	13.0	13.3	11.5 15.1
60歳代	11.2	12.0	10.7 13.3	14.0	14.4	12.7 16.2	12.3	12.9	11.9 14.0
70歳代	8.9	10.5	9.3 11.9	11.0	12.0	10.6 13.5	9.8	11.2	10.2 12.2
80歳以上	4.4	7.2	5.4 9.3	3.9	5.1	3.9 6.6	4.1	6.0	5.0 7.3
UICC TNM分類総合ステージ									
0期*	77.2	88.5	79.1 95.7	86.1	93.5	83.4 99.7	80.7	90.5	83.9 95.7
I期	47.5	56.1	50.9 61.1	53.2	57.9	52.5 63.1	50.0	56.9	53.1 60.5
II期	17.6	20.1	18.3 22.0	20.6	22.4	20.3 24.5	18.9	21.1	19.7 22.6
III期	4.5	5.2	3.9 6.7	4.6	4.9	3.6 6.5	4.5	5.0	4.1 6.1
IV期	1.5	1.7	1.3 2.2	1.7	1.8	1.3 2.4	1.6	1.7	1.4 2.1
不詳	6.2	7.7	4.1 12.9	4.3	4.9	2.2 9.4	5.3	6.4	3.9 9.6
観血的治療									
有	28.6	32.5	30.4 34.7	35.7	38.2	35.6 40.7	31.6	34.9	33.3 36.6
原発巣・治癒切除	32.0	36.4	33.9 38.9	38.9	41.6	38.8 44.4	34.9	38.6	36.8 40.5
原発巣・非治癒切除	10.4	11.6	8.3 15.7	17.1	18.2	13.2 23.9	13.0	14.3	11.3 17.6
原発巣・治癒/非治癒の別不詳	28.2	31.8	20.7 43.9	32.0	34.5	23.3 46.2	30.1	33.2	25.1 41.6
無	1.9	2.2	1.8 2.7	1.7	1.9	1.5 2.3	1.8	2.0	1.8 2.4

*全体集計には含まれていない

9. 子宮頸癌

	対象数	施設数	死亡数	平均年齢	生存状況把握割合 (%)
2012	6,803	327	1,825	54.0	97.1
0期*	11,121	328	88	39.9	87.2
I期	3,082	304	189	47.7	96.2
II期	1,100	238	267	60.3	97.8
III期	1,580	252	607	56.9	97.5
IV期	950	240	717	61.5	99.2

*全体集計には含まれない。施設数は、当該対象腫瘍が登録されていた施設数

(1) 生存状況把握割合

集計対象は、6,803例で、5年以内に亡くなっていたのは1,825例、打ち切りが195例であった。集計対象全体の生存状況把握割合は97.1%であった。

(2) 対象者の属性

集計対象の属性を表3-9-1に示す。診断時の年齢を見ると、40歳代、15～39歳と比較的若い年代が多かった。UICC TNM分類総合ステージの分布をみると、I期が約45%と最も多く、次いでIII期が約23%、II期が約16%であった。観血的治療の実施割合は約59%であった。発見経緯を見ると、がん検診が約17%であった。

表3-9-1 対象者の属性

	全体	
	症例数	(%)
全体	6,803	100.0
拠点病院等	6,583	96.8
都道府県推薦病院	220	3.2
年齢		
平均年齢 (SD)	54.0	(SD:16.1)
15-39歳	1,459	21.4
40歳代	1,644	24.2
50歳代	1,127	16.6
60歳代	1,232	18.1
70歳代	821	12.1
80歳以上	520	7.6
UICC TNM分類総合ステージ		
0期*	11,121	-
I期	3,082	45.3
II期	1,100	16.2
III期	1,580	23.2
IV期	950	14.0
不詳	91	1.3
観血的治療		
有	3,983	58.5
原発巣・治癒切除	3,560	52.3
原発巣・非治癒切除	258	3.8
原発巣・治癒/非治癒の別不詳	165	2.4
無	2,820	41.5
発見経緯		
がん検診	1,179	17.3
健康診断・人間ドック	213	3.1
他疾患経過観察中	718	10.6
その他・不明	4,693	69.0

*全体集計には含まれない

(3) 5年生存率

5年生存率を表3-9-2に示す。全体として、実測生存率が約73%、相対生存率が約75%であった。UICC TNM分類総合ステージ別に相対生存率をみると、I期が約96%、II期が約80%、III期が約64%、IV期が約25%であった。観血的治療を受けた者の相対生存率は約91%であり、その内、原発巣・治癒切除例では約92%であった。

表3-9-2 属性別5年生存率

	実測	相対	95%信頼区間	
全体	72.9	75.4	74.3	76.5
拠点病院等	72.8	75.4	74.3	76.5
都道府県推薦病院	73.7	75.3	68.7	80.8
年齢				
15-39歳	87.6	87.8	86.0	89.4
40歳代	81.6	82.1	80.1	83.9
50歳代	73.2	74.1	71.4	76.6
60歳代	71.4	73.3	70.6	75.8
70歳代	57.4	62.2	58.4	65.8
80歳以上	31.1	43.4	37.8	49.1
UICC TNM分類総合ステージ				
0期*	99.2	100.0	99.8	100.0
I期	93.8	95.7	94.8	96.5
II期	75.5	79.6	76.8	82.2
III期	61.1	63.7	61.2	66.2
IV期	24.1	25.2	22.4	28.1
不詳	49.3	55.4	43.3	66.5
観血的治療				
有	89.3	90.5	89.5	91.5
原発巣・治癒切除	91.1	92.4	91.4	93.3
原発巣・非治癒切除	70.9	71.9	65.8	77.2
原発巣・治癒/非治癒の別不詳	77.5	79.1	71.7	84.8
無	49.6	53.4	51.3	55.3

*全体集計には含まれない

10. 子宮内膜癌

	対象数	施設数	死亡数	平均年齢	生存状況把握割合 (%)
2012	7,744	335	1,448	59.9	98.3
I 期	5,336	328	420	59.2	98.1
II 期	508	206	70	59.4	98.2
III 期	1,089	265	386	61.2	99.1
IV 期	657	239	509	63.4	98.8

施設数は、当該対象腫瘍が登録されていた施設数

(1) 生存状況把握割合

集計対象は、7,744 例で、5 年以内に亡くなっていたのが 1,448 例、打ち切りが 129 例であった。集計対象全体として、生存状況把握割合は 98.3%であった。

(2) 対象者の属性

集計対象の属性を表 3-10-1 に示す。診断時の年齢を見ると、50 歳代が約 3 割と最も多く、次いで 60 歳代が約 28%、70 歳代が約 16%であった。UICC TNM 分類総合ステージの分布をみると、I 期が約 69%、II 期が約 7%、III 期が約 14%、IV 期が約 9%であった。観血的治療の実施割合は、約 91%であった。発見経緯をみると、他疾患経過観察中が約 15%であった。

表 3-10-1 対象者の属性

	全体	
	対象数	(%)
全体	7,744	100.0
拠点病院等	7,379	95.3
都道府県推薦病院	365	4.7
年齢		
平均年齢 (SD)	59.9	(SD:12.6)
15-39 歳	405	5.2
40 歳代	1,128	14.6
50 歳代	2,282	29.5
60 歳代	2,140	27.6
70 歳代	1,266	16.3
80 歳以上	523	6.8
UICC TNM 分類総合ステージ		
I 期	5,336	68.9
II 期	508	6.6
III 期	1,089	14.1
IV 期	657	8.5
不詳	154	2.0
観血的治療		
有	7,066	91.2
原発巣・治癒切除	6,404	82.7
原発巣・非治癒切除	337	4.4
原発巣・治癒/非治癒の別不詳	325	4.2
無	678	8.8
発見経緯		
がん検診	546	7.1
健康診断・人間ドック	173	2.2
他疾患経過観察中	1,137	14.7
その他・不明	5,888	76.0

(3) 5 年生存率

5 年生存率を表 3-10-2 に示す。全体での 5 年実測生存率は約 81%、相対生存率が約 84%であった。UICC TNM 分類総合ステージ別に相対生存率をみると、I 期が約 96%、II 期が約 90%、III 期が約 67%、IV 期が約 23%であった。観血的治療を受けた者の相対生存率は、約 89%であり、原発巣・治癒切除例では 92.0%であった。

表 3-10-2 属性別 5 年生存率

	実測	相対	95%信頼区間	
全体	81.2	84.4	83.5	85.3
拠点病院等	81.4	84.6	83.7	85.5
都道府県推薦病院	77.3	80.7	75.8	84.9
年齢				
15-39 歳	92.0	92.3	89.2	94.5
40 歳代	92.8	93.4	91.7	94.7
50 歳代	88.6	89.8	88.4	91.0
60 歳代	80.5	82.7	80.9	84.4
70 歳代	71.1	76.8	74.0	79.4
80 歳以上	42.2	57.6	51.7	63.4
UICC TNM 総合ステージ				
I 期	92.1	95.6	94.8	96.4
II 期	86.1	90.3	86.8	93.1
III 期	64.4	66.8	63.8	69.7
IV 期	22.0	22.9	19.7	26.3
不詳	58.9	61.8	53.2	69.5
観血的治療				
有	85.9	89.1	88.2	89.9
原発巣・治癒切除	88.8	92.0	91.2	92.8
原発巣・非治癒切除	41.1	42.8	37.3	48.2
原発巣・治癒/非治癒の別不詳	76.0	79.9	74.5	84.4
無	31.6	34.5	30.7	38.4

11. 前立腺癌

	対象数	施設数	死亡数	平均年齢	生存状況把握割合 (%)
2012	33,149	356	5,478	71.3	98.0
I 期	12,889	346	1,339	71.1	98.0
II 期	9,775	345	846	70.1	98.0
III 期	5,079	334	689	71.2	98.1
IV 期	4,792	350	2,380	73.8	97.9

施設数は、当該対象腫瘍が登録されていた施設数

(1) 生存状況把握割合

集計対象は、33,149 例で、5 年以内に亡くなっていたのが 5,478 例、打ち切りが 675 例であった。集計対象全体で生存状況把握割合は 98.0%であった。

(2) 対象者の属性

集計対象の属性を表 3-11-1 に示す。診断時の年齢は、70 歳代が約 45%、80 歳以上が約 15%で、70 歳以上が 6 割を占めた。UICC TNM 分類総合ステージの分布をみると、I 期が最も多く約 39%であった。観血的治療の実施割合は、約 31%であった。発見経緯を見ると、がん検診が約 19%、健康診断・人間ドックが約 11%であった。

表 3-11-1 対象者の属性

	全体	
	症例数	(%)
全体	33,149	100.0
拠点病院等	30,760	92.8
都道府県推薦病院	2,389	7.2
年齢		
平均年齢 (SD)	71.3	(SD:7.8)
0-14 歳	0	
15-39 歳	(1-3)	
40 歳代	88	0.3
50 歳代	1,927	5.8
60 歳代	11,194	33.8
70 歳代	15,034	45.4
80 歳以上	4,904	14.8
UICC TNM 分類総合ステージ		
I 期	12,889	38.9
II 期	9,775	29.5
III 期	5,079	15.3
IV 期	4,792	14.5
不詳	614	1.9
観血的治療		
有	10,274	31.0
原発巣・治癒切除	8,598	25.9
原発巣・非治癒切除	1,315	4.0
原発巣・治癒/非治癒の別不詳	361	1.1
無	22,875	69.0
発見経緯		
がん検診	6,225	18.8
健康診断・人間ドック	3,543	10.7
他疾患経過観察中	11,977	36.1
その他・不明	11,404	34.4

(3) 5 年生存率

5 年生存率を表 3-11-2 に示す。全体として、5 年実測生存率は、約 83%、相対生存率が約 99%であった。年代が高くなるほど、実測生存率と相対生存率の差が大きくなり、高齢になるほど前立腺がん以外の要因で死亡させている例が多いと考えられた。5 年相対生存率は、どの年代も 90%以上と高い。UICC TNM 分類総合ステージ別にみると、I 期から III 期では、相対生存率は 100%であった。観血的治療を受けた者の相対生存率は、治癒切除、非治癒切除例に関わらずほぼ 100%であった。

表 3-11-2 属性別 5 年生存率

	実測	相対	95%信頼区間	
全体	83.3	98.5	98.1	99.0
拠点病院等	83.4	98.5	98.0	99.0
都道府県推薦病院	81.9	99.3	97.3	100.0
年齢				
40 歳代	89.4	90.6	81.8	95.6
50 歳代	94.3	97.3	96.1	98.3
60 歳代	91.9	98.8	98.2	99.3
70 歳代	84.3	100.0	99.4	100.0
80 歳以上	56.2	92.9	90.6	95.2
UICC TNM 総合ステージ				
I 期	89.5	100.0	100.0	100.0
II 期	91.3	100.0	100.0	100.0
III 期	86.3	100.0	100.0	100.0
IV 期	49.7	61.4	59.6	63.1
不詳	62.8	85.8	80.4	90.9
観血的治療				
有	95.4	100.0	100.0	100.0
原発巣・治癒切除	95.6	100.0	100.0	100.0
原発巣・非治癒切除	95.3	100.0	100.0	100.0
原発巣・治癒/非治癒の別不詳	91.3	100.0	98.4	100.0
無	77.9	95.3	94.7	96.0

12. 膀胱癌

	対象数	施設数	死亡数	平均年齢	生存状況把握割合 (%)
2012	7,964	349	3,572	73.5	98.1
0期*	6,884	339	1,356	71.5	97.6
I期	4,354	342	1,292	73.0	97.9
II期	1,571	331	798	74.6	98.1
III期	811	279	505	74.0	98.6
IV期	947	301	782	72.0	98.5

*全体集計には含まれない。施設数は、当該対象腫瘍が登録されていた施設数

(1) 生存状況把握割合

集計対象は、7,964例で、5年以内に亡くなっていた者が3,572例、打ち切りが154例であった。集計対象全体で生存状況把握割合は、98.1%であった。

(2) 対象者の属性

集計対象の属性を表3-12-1に示す。性別で見ると、男性が約77%、女性が約23%であった。診断時の年齢分布をみると、70歳代が最も多く約34%、80歳以上が約33%、6割以上が70歳以上であった。UICC TNM分類総合ステージの分布をみると、I期が約55%と半数以上を占めた。観血的治療の実施割合は、約87%であった。発見経緯を見ると、他疾患経過観察中が約23%であった。

表3-12-1 対象者の属性

	男性		女性		全体	
	対象数	(%)	対象数	(%)	対象数	(%)
全体	6,127	100.0	1,837	100.0	7,964	100.0
拠点病院等	5,624	91.8	1,699	92.5	7,323	92.0
都道府県推薦病院	503	8.2	138	7.5	641	8.0
年齢						
平均年齢 (SD)	73.0	(SD:10.4)	75.2	(SD:11.4)	73.5	(SD:10.7)
0-14歳	(1-3)		0	0.0	(1-3)	
15-39歳	19	0.3	17	0.9	36	0.5
40歳代	119	1.9	41	2.2	160	2.0
50歳代	451	7.4	110	6.0	561	7.0
60歳代	1,557	25.4	318	17.3	1,875	23.5
70歳代	2,148	35.1	583	31.7	2,731	34.3
80歳以上	1,832	29.9	768	41.8	2,600	32.6
UICC TNM分類総合ステージ						
0期*	5,599	-	1,285	-	6,884	-
I期	3,481	56.8	873	47.5	4,354	54.7
II期	1,165	19.0	406	22.1	1,571	19.7
III期	590	9.6	221	12.0	811	10.2
IV期	680	11.1	267	14.5	947	11.9
不詳	211	3.4	70	3.8	281	3.5
観血的治療						
有	5,392	88.0	1,500	81.7	6,892	86.5
原発巣・治癒切除	4,238	69.2	1,134	61.7	5,372	67.5
原発巣・非治癒切除	636	10.4	213	11.6	849	10.7
原発巣・治癒/非治癒の別不詳	518	8.5	153	8.3	671	8.4
無	735	12.0	337	18.3	1,072	13.5
発見経緯						
がん検診	36	0.6	(4-6)		41	0.5
健康診断・人間ドック	185	3.0	42	2.3	227	2.9
他疾患経過観察中	1,427	23.3	416	22.6	1,843	23.1
その他・不明	4,479	73.1	1,374	74.8	5,853	73.5

*全体集計には含まれない

(3) 5年生存率

5年生存率を表3-12-2に示す。全体の5年実測生存率は約55%、相対生存率が約67%であった。70歳代以上では、実測生存率と相対生存率の差がやや大きくなっていった。年代別にみた相対生存率は、全体としては70歳代まで69.5%であるが、80歳以上では55.2%であった。UICC TNM分類総合ステージ別に相対生存率をみると、全体でⅠ期が約86%、Ⅱ期が約60%、Ⅲ期が約45%、Ⅳ期が約19%であった。観血的治療を受けた者の相対生存率は74.0%で、その内原発巣・治癒切除例では79.4%であった。

表3-12-2 属性別5年生存率

	男性			女性			全体					
	実測	相対	95%信頼区間	実測	相対	95%信頼区間	実測	相対	95%信頼区間			
全体	56.3	70.1	68.5	71.6	49.8	58.3	55.6	61.0	54.8	67.3	66.0	68.7
拠点病院等	56.0	69.8	68.2	71.4	49.4	57.9	55.1	60.7	54.5	67.0	65.6	68.4
都道府県推薦病院	58.8	73.6	68.0	78.8	54.1	63.3	53.1	72.6	57.8	71.3	66.4	75.9
年齢												
0-39歳	-	-			-				78.2	78.5	61.3	88.8
40歳代	86.2	87.2	79.4	92.4	78.1	78.5	62.4	88.5	84.1	85.0	78.2	89.9
50歳代	76.1	78.4	74.1	82.2	67.0	67.9	58.1	76.0	74.3	76.4	72.4	79.9
60歳代	70.1	75.2	72.7	77.6	64.5	66.4	60.7	71.6	69.2	73.7	71.4	75.9
70歳代	59.0	70.8	68.2	73.2	60.0	65.2	60.7	69.4	59.2	69.5	67.3	71.7
80歳以上	33.9	59.7	55.9	63.6	31.5	45.4	40.6	50.2	33.2	55.2	52.2	58.3
UICC TNM分類総合ステージ												
0期*	79.5	97.5	96.2	98.8	82.6	94.5	92.0	96.7	80.1	96.9	95.7	98.0
Ⅰ期	70.6	88.0	86.1	89.9	68.0	79.8	76.1	83.4	70.1	86.3	84.6	88.0
Ⅱ期	50.2	63.3	59.6	66.8	44.3	52.1	46.3	57.8	48.7	60.3	57.2	63.3
Ⅲ期	36.1	44.3	39.5	49.1	39.8	45.7	38.2	53.1	37.1	44.7	40.7	48.7
Ⅳ期	18.1	21.0	17.8	24.5	12.8	14.2	10.1	19.0	16.6	19.1	16.4	21.9
不詳	30.8	42.0	33.6	50.7	25.7	32.4	20.4	45.8	29.6	39.6	32.5	46.9
観血的治療												
有	61.4	76.0	74.4	77.6	57.8	67.1	64.2	70.0	60.6	74.0	72.6	75.4
原発巣・治癒切除	66.0	81.1	79.3	82.9	63.6	73.3	70.0	76.5	65.5	79.4	77.9	81.0
原発巣・非治癒切除	37.0	47.4	42.6	52.2	29.9	36.6	29.2	44.2	35.2	44.6	40.5	48.7
原発巣・治癒/非治癒の別不詳	53.6	68.0	62.4	73.3	53.4	63.1	53.4	72.0	53.5	66.9	62.1	71.5
無	18.0	24.8	21.0	28.7	13.9	17.6	13.2	22.6	16.7	22.5	19.5	25.6

*全体集計には含まれない

13. 喉頭癌

	対象数	施設数	死亡数	平均年齢	生存状況把握割合 (%)
2012	3,396	295	1,062	70.0	97.6
0期*	158	102	18	68.2	98.1
I期	1,431	276	273	69.9	97.6
II期	776	229	210	70.3	97.4
III期	480	184	159	70.5	96.5
IV期	656	206	397	69.1	98.9

*全体集計には含まれない。施設数は、当該対象腫瘍が登録されていた施設数

(1) 生存状況把握割合

集計対象は、3,396例で、5年以内に亡くなっていたのが1,062例、打ち切りが81例であった。集計対象全体で生存状況把握割合は、97.6%であった。

(2) 対象者の属性

集計対象の属性を表3-13-1に示す。性別で見ると、男性が約94%、女性が約6%であった。診断時の年齢分布をみると、70歳代・60歳代で約7割を占めた。UICC TNM分類総合ステージの分布をみると、I期が約42%を占めた。観血的治療の実施割合は、約29%であった。発見経緯を見ると、他疾患経過観察中が約14%であった。

表3-13-1 対象者の属性

	男性		女性		全体	
	対象数	(%)	対象数	(%)	対象数	(%)
全体	3,176	100.0	220	100.0	3,396	100.0
拠点病院等	3,085	97.1	217	98.6	3,302	97.2
都道府県推薦病院	91	2.9	(1-3)		94	2.8
年齢						
平均年齢 (SD)	70.0	(SD:9.2)	69.9	(SD:10.4)	70.0	(SD:9.3)
15-39歳	(7-9)		(1-3)		12	0.4
40歳代	35	1.1	(4-6)		40	1.2
50歳代	332	10.5	24	10.9	356	10.5
60歳代	1,163	36.6	78	35.5	1,241	36.5
70歳代	1,106	34.8	73	33.2	1,179	34.7
80歳以上	531	16.7	37	16.8	568	16.7
UICC TNM 分類総合ステージ						
0期*	145	-	13	-	158	-
I期	1,349	42.5	82	37.3	1,431	42.1
II期	718	22.6	58	26.4	776	22.9
III期	457	14.4	23	10.5	480	14.1
IV期	604	19.0	52	23.6	656	19.3
不詳	48	1.5	(4-6)		53	1.6
観血的治療						
有	928	29.2	69	31.4	997	29.4
原発巣・治癒切除	763	24.0	58	26.4	821	24.2
原発巣・非治癒切除	73	2.3	(4-6)		79	2.3
原発巣・治癒/非治癒の別不詳	92	2.9	(4-6)		97	2.9
無	2,248	70.8	151	68.6	2,399	70.6
発見経緯						
がん検診	18	0.6	(1-3)		20	0.6
健康診断・人間ドック	27	0.9	(1-3)		28	0.8
他疾患経過観察中	452	14.2	33	15.0	485	14.3
その他・不明	2,679	84.4	184	83.6	2,863	84.3

*全体集計には含まれない

(3) 5年生存率

5年生存率を表3-13-2に示す。全体の5年実測生存率は約68%、相対生存率が約80%であった。70歳代以上では、実測生存率と相対生存率の差が大きくなっていた。年代別にみた相対生存率は、どの年代においても70%以上であった。UICC TNM分類総合ステージ別に相対生存率をみると、全体でI期が約95%、II期が約86%、III期が約78%、IV期が約45%であった。観血的治療を受けた者の相対生存率は、約78%であった。

表3-13-2 属性別5年生存率

	男性				女性				全体			
	実測	相対	95%信頼区間		実測	相対	95%信頼区間		実測	相対	95%信頼区間	
全体	68.3	80.1	78.2	82.0	70.7	77.3	70.1	83.3	68.4	79.9	78.0	81.7
拠点病院等	68.4	80.2	78.3	82.1	71.2	77.8	70.6	83.8	68.6	80.1	78.2	81.9
都道府県推薦病院	62.4	75.2	61.9	86.3	33.3	37.8	1.0	87.7	61.4	73.9	60.9	84.9
年齢												
15-39歳	-	-			-	-			-	-		
40歳代	88.4	89.5	72.9	96.7	-	-			84.8	85.8	70.0	94.0
50歳代	81.0	83.5	78.6	87.4	-	-			80.9	83.3	78.6	87.1
60歳代	76.9	82.5	79.8	85.0	74.4	76.7	65.1	85.2	76.8	82.1	79.5	84.6
70歳代	65.9	78.1	74.7	81.3	69.8	75.7	62.8	85.7	66.1	78.0	74.7	81.1
80歳以上	44.4	75.1	67.9	82.3	58.4	80.3	56.0	99.6	45.3	75.5	68.5	82.3
UICC TNM分類総合ステージ												
0期*	88.2	100.0	94.2	100.0	-	-			88.6	100.0	95.0	100.0
I期	80.3	94.4	91.8	96.8	89.0	97.0	87.1	100.0	80.8	94.6	92.0	96.9
II期	72.7	85.9	81.9	89.6	72.3	81.9	66.7	92.9	72.7	85.6	81.7	89.2
III期	66.3	78.1	72.7	83.0	63.9	67.1	42.6	84.0	66.2	77.5	72.3	82.3
IV期	38.5	44.2	39.7	48.6	46.2	48.6	34.0	62.0	39.1	44.5	40.3	48.8
不詳	57.6	66.0	48.5	80.5	-	-			55.9	64.1	47.5	78.1
観血的治療												
有	66.0	77.7	74.0	81.2	70.6	76.3	62.9	86.4	66.3	77.6	74.0	80.9
原発巣・治癒切除	66.4	78.4	74.3	82.3	72.0	77.5	62.9	88.1	66.8	78.4	74.4	82.0
原発巣・非治癒切除	57.5	67.7	53.4	79.9	-	-			58.2	68.0	54.4	79.7
原発巣・治癒/非治癒の別不詳	69.5	79.5	67.5	89.0	-	-			69.0	78.9	67.2	88.2
無	69.2	81.1	78.8	83.3	70.8	77.7	68.9	84.9	69.3	80.9	78.7	83.0

*全体集計には含まれない

14. 胆嚢癌

	対象数	施設数	死亡数	平均年齢	生存状況把握割合 (%)
2012	3,061	363	2,249	73.5	97.9
0期*	46	40	(4-6)	68.5	100.0
I期	454	239	102	71.3	95.4
II期	483	247	190	73.8	97.9
III期	572	274	471	75.3	98.3
IV期	1,438	344	1,390	72.9	98.5

*全体集計には含まれない。施設数は、当該対象腫瘍が登録されていた施設数

(1) 生存状況把握割合

集計対象は、3,061例で、5年以内に亡くなっていたのが2,249例、打ち切りが63例であった。集計対象全体で生存状況把握割合は、97.9%であった。

(2) 対象者の属性

集計対象の属性を表3-14-1に示す。性別で見ると、男性が約46%、女性が約54%であった。診断時の年齢分布をみると、70歳代が約36%、80歳以上が約31%であった。UICC TNM分類総合ステージの分布をみると、IV期が47.0%を占めた。観血的治療の実施割合は、約45%であった。発見経緯を見ると、他疾患経過観察中が36.0%であった。

表3-14-1 対象者の属性

	男性		女性		全体	
	対象数	(%)	対象数	(%)	対象数	(%)
全体	1,402	100.0	1,659	100.0	3,061	100.0
拠点病院等	1,280	91.3	1,517	91.4	2,797	91.4
都道府県推薦病院	122	8.7	142	8.6	264	8.6
年齢						
平均年齢 (SD)	72.8	(SD:10.1)	74.0	(SD:10.9)	73.5	(SD:10.6)
15-39歳	(4-6)		(4-6)		10	0.3
40歳代	26	1.9	32	1.9	58	1.9
50歳代	106	7.6	115	6.9	221	7.2
60歳代	338	24.1	363	21.9	701	22.9
70歳代	537	38.3	573	34.5	1,110	36.3
80歳以上	391	27.9	570	34.4	961	31.4
UICC TNM分類総合ステージ						
0期*	22	-	24	-	46	-
I期	223	15.9	231	13.9	454	14.8
II期	243	17.3	240	14.5	483	15.8
III期	245	17.5	327	19.7	572	18.7
IV期	636	45.4	802	48.3	1,438	47.0
不詳	55	3.9	59	3.6	114	3.7
観血的治療						
有	666	47.5	715	43.1	1,381	45.1
原発巣・治癒切除	567	40.4	591	35.6	1,158	37.8
原発巣・非治癒切除	83	5.9	103	6.2	186	6.1
原発巣・治癒/非治癒	16	1.1	21	1.3	37	1.2
の別不詳						
無	736	52.5	944	56.9	1,680	54.9
発見経緯						
がん検診	(7-9)		13	0.8	20	0.7
健康診断・人間ドック	82	5.8	59	3.6	141	4.6
他疾患経過観察中	536	38.2	565	34.1	1,101	36.0
その他・不明	777	55.4	1,022	61.6	1,799	58.8

*全体集計には含まれない

(3) 5年生存率

5年生存率を表3-14-2に示す。全体の5年実測生存率はIV期が約半数を占めたことから約26%、相対生存率が約31%であった。UICC TNM分類総合ステージ別に相対生存率をみると、全体でI期が約91%、II期が約73%、III期が約20%、IV期が約2%であった。観血的治療を受けた者の相対生存率は、約64%で、その内原発巣・治癒切除例では約73%であった。

表3-14-2 属性別5年生存率

	男性				女性				全体			
	実測	相対	95%信頼区間		実測	相対	95%信頼区間		実測	相対	95%信頼区間	
全体	26.3	32.7	29.8	35.6	25.5	29.1	26.7	31.5	25.9	30.7	28.9	32.6
拠点病院等	26.3	32.6	29.6	35.7	25.7	29.3	26.8	31.8	26.0	30.8	28.9	32.7
都道府県推薦病院	26.4	33.4	23.9	43.7	22.5	26.7	18.9	35.4	24.3	29.8	23.6	36.5
年齢												
15-39歳	-	-			-	-			-	-		
40歳代	-	-			51.9	52.3	33.6	68.1	45.8	46.2	32.9	58.5
50歳代	34.0	34.9	25.9	44.2	35.2	35.6	26.9	44.5	34.6	35.3	28.9	41.7
60歳代	29.7	31.8	26.7	37.1	27.6	28.5	23.8	33.3	28.6	30.1	26.6	33.6
70歳代	26.5	31.7	27.3	36.3	28.2	30.6	26.6	34.7	27.4	31.2	28.2	34.2
80歳以上	20.0	33.8	27.4	40.7	17.5	24.8	20.5	29.5	18.5	28.4	24.7	32.3
UICC TNM分類総合ステージ												
0期*	-	-			-	-			87.0	100.0	84.4	100.0
I期	76.1	91.8	84.4	98.0	78.4	89.2	82.4	94.7	77.2	90.5	85.6	94.7
II期	57.9	73.9	65.7	81.5	63.0	71.5	64.1	78.0	60.4	72.7	67.2	77.7
III期	15.8	19.8	14.4	25.9	17.1	19.7	15.2	24.7	16.6	19.8	16.2	23.6
IV期	1.5	1.9	0.9	3.4	2.5	2.8	1.8	4.3	2.1	2.4	1.6	3.4
不詳	12.7	17.4	7.6	31.2	18.3	22.9	12.1	36.4	15.7	20.3	12.6	29.8
観血的治療												
有	52.8	65.1	60.3	69.7	56.5	63.7	59.4	67.7	54.7	64.4	61.2	67.4
原発巣・治癒切除	59.7	73.6	68.4	78.4	63.4	71.5	66.9	75.7	61.6	72.5	69.1	75.7
原発巣・非治癒切除	9.2	12.1	5.4	22.0	23.8	26.6	17.9	36.3	17.3	20.3	14.3	27.2
原発巣・治癒/非治癒の別不詳	-	-			-	-			23.4	27.2	12.8	44.7
無	2.1	2.8	1.6	4.4	1.6	2.0	1.1	3.2	1.9	2.3	1.6	3.3

*全体集計には含まれない

15. 腎癌

	対象数	施設数	死亡数	平均年齢	生存状況把握割合 (%)
2012	8,358	349	2,185	65.7	97.9
I 期	5,582	341	684	64.7	97.8
II 期	410	214	77	62.9	98.5
III 期	990	271	343	68.1	98.7
IV 期	1,232	311	1,027	68.8	98.1

施設数は、当該対象腫瘍が登録されていた施設数

(1) 生存状況把握割合

集計対象は、8,358 例で、5 年以内に亡くなっていたのが 2,185 例、打ち切りが 172 例であった。集計対象全体で生存状況把握割合は、97.9%であった。

(2) 対象者の属性

集計対象の属性を表 3-15-1 に示す。性別で見ると、男性が約 71%、女性が約 29%であった。診断時の年齢分布をみると、60 歳代が約 32%、70 歳代が約 29%であった。UICC TNM 分類総合ステージの分布をみると、I 期が約 67%を占めた。観血的治療の実施割合は、約 84%であった。発見経緯を見ると、他疾患経過観察中が約 50%であった。

表 3-15-1 対象者の属性

	男性		女性		全体	
	対象数	(%)	対象数	(%)	対象数	(%)
全体	5,893	100.0	2,465	100.0	8,358	100.0
拠点病院等	5,544	94.1	2,342	95.0	7,886	94.4
都道府県推薦病院	349	5.9	123	5.0	472	5.6
年齢						
平均年齢 (SD)	65.1	(SD:11.9)	67.2	(SD:12.6)	65.7	(SD:12.2)
0-14 歳	0	0.0	(1-3)	(1-3)	(1-3)	(1-3)
15-39 歳	161	2.7	62	2.5	223	2.7
40 歳代	512	8.7	166	6.7	678	8.1
50 歳代	1,033	17.5	347	14.1	1,380	16.5
60 歳代	1,938	32.9	727	29.5	2,665	31.9
70 歳代	1,647	27.9	747	30.3	2,394	28.6
80 歳以上	602	10.2	414	16.8	1,016	12.2
UICC TNM 分類総合ステージ						
I 期	3,935	66.8	1,647	66.8	5,582	66.8
II 期	257	4.4	153	6.2	410	4.9
III 期	699	11.9	291	11.8	990	11.8
IV 期	897	15.2	335	13.6	1,232	14.7
不詳	105	1.8	39	1.6	144	1.7
観血的治療						
有	4,960	84.2	2,088	84.7	7,048	84.3
原発巣・治癒切除	4,638	78.7	1,976	80.2	6,614	79.1
原発巣・非治癒切除	193	3.3	62	2.5	255	3.1
原発巣・治癒/非治癒	129	2.2	50	2.0	179	2.1
の別不詳						
無	933	15.8	377	15.3	1,310	15.7
発見経緯						
がん検診	103	1.7	37	1.5	140	1.7
健康診断・人間ドック	919	15.6	296	12.0	1,215	14.5
他疾患経過観察中	2,899	49.2	1,244	50.5	4,143	49.6
その他・不明	1,972	33.5	888	36.0	2,860	34.2

(3) 5年生存率

5年生存率を表3-15-2に示す。全体の5年実測生存率は約74%、相対生存率が約82%であった。年代別にみた相対生存率は、70歳以上を除き80%以上であった。UICC TNM分類総合ステージ別に相対生存率をみると、全体でI期が約97%、II期が約88%、III期が約74%、IV期が約17%であった。観血的治療を受けた者の相対生存率は、約91%で、その内原発巣・治癒切除例では約93%であった。

表3-15-2 属性別5年生存率

	男性				女性				全体			
	実測	相対	95%信頼区間		実測	相対	95%信頼区間		実測	相対	95%信頼区間	
全体	72.6	81.5	80.2	82.8	76.2	82.0	80.1	83.8	73.6	81.7	80.6	82.7
拠点病院等	72.6	81.6	80.2	82.9	76.1	81.9	80.0	83.8	73.6	81.7	80.6	82.8
都道府県推薦病院	71.9	80.6	74.9	85.6	77.0	83.4	74.1	90.5	73.2	81.3	76.6	85.5
年齢												
0-39歳	88.7	89.2	83.1	93.2	88.6	88.8	77.7	94.6	88.7	89.1	84.1	92.6
40歳代	87.9	88.9	85.6	91.4	89.7	90.2	84.4	94.0	88.3	89.2	86.5	91.4
50歳代	83.1	85.4	82.9	87.6	89.0	90.1	86.3	93.1	84.6	86.6	84.5	88.5
60歳代	76.1	81.4	79.3	83.4	80.1	82.4	79.2	85.2	77.2	81.7	80.0	83.4
70歳代	65.7	78.6	75.8	81.3	76.0	82.5	79.0	85.7	68.9	79.9	77.7	82.0
80歳以上	44.9	73.5	66.9	80.0	51.2	68.0	61.4	74.3	47.4	71.2	66.5	75.8
UICC TNM分類総合ステージ												
I期	86.5	96.8	95.6	98.0	90.2	96.6	95.0	98.1	87.6	96.8	95.8	97.7
II期	78.8	86.8	80.7	91.8	84.9	90.3	83.1	95.4	81.1	88.2	83.6	91.9
III期	65.4	75.1	70.9	79.1	64.5	70.4	64.1	76.1	65.2	73.8	70.3	77.0
IV期	15.9	18.0	15.4	20.8	14.0	15.4	11.5	19.8	15.4	17.3	15.1	19.7
不詳	62.0	69.6	58.2	79.2	61.1	72.2	51.9	88.0	61.7	70.2	60.5	78.7
観血的治療												
有	81.5	90.4	89.2	91.6	85.4	91.1	89.4	92.6	82.7	90.6	89.7	91.6
原発巣・治癒切除	83.9	93.1	91.9	94.2	87.4	93.2	91.5	94.6	84.9	93.1	92.1	94.0
原発巣・非治癒切除	33.2	36.7	29.3	44.1	27.8	29.8	18.4	42.3	31.8	34.9	28.7	41.4
原発巣・治癒/非治癒の別不詳	68.0	75.4	65.6	83.6	78.0	84.8	69.4	94.8	70.8	78.1	70.1	84.8
無	24.4	31.4	27.9	35.1	24.1	29.0	23.9	34.4	24.3	30.7	27.8	33.7

16. 腎盂尿管癌

	対象数	施設数	死亡数	平均年齢	生存状況把握割合 (%)
2012	3,309	339	1,936	73.4	97.7
0期*	764	257	182	71.8	97.8
I期	654	256	190	73.0	97.6
II期	455	228	187	73.4	97.4
III期	942	296	468	72.8	97.8
IV期	1,073	299	945	73.1	97.9

*全体集計には含まれない。施設数は、当該対象腫瘍が登録されていた施設数

(1) 生存状況把握割合

集計対象は、3,309例で、5年以内に亡くなっていたのが1,936例、打ち切りが77例であった。集計対象全体で生存状況把握割合は、97.7%であった。

(2) 対象者の属性

集計対象の属性を表3-16-1に示す。性別で見ると、男性が約67%、女性が約33%であった。診断時の年齢分布をみると、70歳代が最も多く約39%、80歳以上が約29%であった。UICC TNM分類総合ステージの分布をみると、IV期が約32%を占めた。観血的治療の実施割合は、約69%であった。発見経緯を見ると、他疾患経過観察中が約33%であった。

表3-16-1 対象者の属性

	男性		女性		全体	
	対象数	(%)	対象数	(%)	対象数	(%)
全体	2,230	100.0	1,079	100.0	3,309	100.0
拠点病院等	2,072	92.9	1,009	93.5	3,081	93.1
都道府県推薦病院	158	7.1	70	6.5	228	6.9
年齢						
平均年齢 (SD)	72.3	(SD:9.7)	75.5	(SD:9.4)	73.4	(SD:9.7)
15-39歳	(7-9)		(4-6)		13	0.4
40歳代	37	1.7	(7-9)		45	1.4
50歳代	156	7.0	49	4.5	205	6.2
60歳代	588	26.4	193	17.9	781	23.6
70歳代	886	39.7	413	38.3	1,299	39.3
80歳以上	554	24.8	412	38.2	966	29.2
UICC TNM分類総合ステージ						
0期*	572	-	192	-	764	-
I期	463	20.8	191	17.7	654	19.8
II期	315	14.1	140	13.0	455	13.8
III期	637	28.6	305	28.3	942	28.5
IV期	692	31.0	381	35.3	1,073	32.4
不詳	123	5.5	62	5.7	185	5.6
観血的治療						
有	1,566	70.2	718	66.5	2,284	69.0
原発巣・治癒切除	1,372	61.5	613	56.8	1,985	60.0
原発巣・非治癒切除	136	6.1	68	6.3	204	6.2
原発巣・治癒/非治癒	58	2.6	37	3.4	95	2.9
の別不詳	664	29.8	361	33.5	1,025	31.0
発見経緯						
がん検診	(7-9)		(4-6)		13	0.4
健康診断・人間ドック	54	2.4	23	2.1	77	2.3
他疾患経過観察中	788	35.3	316	29.3	1,104	33.4
その他・不明	1,379	61.8	736	68.2	2,115	63.9

*全体集計には含まれない

(3) 5年生存率

5年生存率を表3-16-2に示す。全体の5年実測生存率は約41%、相対生存率が約49%であった。年代別にみた相対生存率は、全体で70歳以上では50%を下まわっていた。UICC TNM分類総合ステージ別に相対生存率をみると、全体でⅠ期が約85%、Ⅱ期が約70%、Ⅲ期が約59%、Ⅳ期が約12%であった。観血的治療を受けた者の相対生存率は、約66%で、その内原発巣・治癒切除例では約71%であった。

表3-16-2 属性別5年生存率

	男性				女性				全体			
	実測	相対	95%信頼区間		実測	相対	95%信頼区間		実測	相対	95%信頼区間	
全体	41.8	51.0	48.5	53.5	38.8	44.4	41.0	47.8	40.8	48.8	46.8	50.8
拠点病院等	41.5	50.7	48.1	53.3	38.9	44.4	40.9	47.8	40.6	48.6	46.5	50.7
都道府県推薦病院	46.0	55.0	45.4	64.2	37.1	44.6	31.0	58.2	43.3	51.8	43.9	59.5
年齢												
15-39歳	-	-			-	-			-	-		
40歳代	62.3	63.0	44.4	77.0	-	-			64.8	65.5	48.9	77.9
50歳代	57.9	59.7	51.2	67.3	49.0	49.7	35.0	62.9	55.8	57.3	50.0	64.0
60歳代	48.6	52.2	47.8	56.5	53.0	54.5	47.0	61.5	49.7	52.8	49.0	56.5
70歳代	42.3	50.6	46.7	54.5	42.3	46.2	41.0	51.4	42.3	49.2	46.0	52.3
80歳以上	27.4	46.0	39.8	52.4	26.3	35.6	29.9	41.5	26.9	41.3	37.0	45.7
UICC TNM分類総合ステージ												
0期*	73.2	88.1	83.4	92.2	83.7	93.5	86.7	98.6	75.9	89.5	85.7	92.9
Ⅰ期	69.6	86.0	80.5	90.9	73.0	84.1	76.1	90.7	70.6	85.4	80.9	89.5
Ⅱ期	58.2	70.8	63.9	77.1	59.2	68.1	58.1	76.9	58.5	69.9	64.3	75.2
Ⅲ期	50.9	61.1	56.3	65.7	47.6	53.9	47.4	60.2	49.8	58.7	54.9	62.5
Ⅳ期	10.2	12.2	9.7	15.2	11.4	12.7	9.4	16.6	10.7	12.4	10.3	14.7
不詳	23.9	32.9	23.0	43.9	9.9	13.0	5.3	24.8	19.2	26.0	18.7	34.3
観血的治療												
有	56.0	67.3	64.3	70.2	56.5	63.8	59.6	67.9	56.1	66.2	63.7	68.6
原発巣・治癒切除	60.0	72.1	68.9	75.2	60.8	68.8	64.3	73.1	60.2	71.1	68.5	73.6
原発巣・非治癒切除	21.1	25.9	17.9	34.9	19.9	22.8	13.0	34.7	20.7	24.9	18.5	32.0
原発巣・治癒/非治癒の別不詳	40.9	48.0	32.8	62.6	50.1	54.3	35.8	70.4	44.6	50.6	38.9	61.8
無	8.2	11.0	8.4	14.0	3.2	4.0	2.1	6.8	6.5	8.5	6.6	10.6

*全体集計には含まれない

17. 甲状腺癌

甲状腺乳頭濾胞癌

	対象数	施設数	死亡数	平均年齢	生存状況把握割合 (%)
2012	6,604	346	487	57.6	97.1
I 期	2,717	318	101	49.6	95.8
II 期	335	178	24	59.7	97.3
III 期	1,982	311	102	62.3	98.3
IV 期	1,467	295	241	65.0	98.3

施設数は、当該対象腫瘍が登録されていた施設数

(1) 生存状況把握割合

集計対象は、6,604 例で、5 年以内に亡くなっていたのが 487 例、打ち切りが 190 例であった。集計対象全体で生存状況把握割合は、97.1%であった。

(2) 対象者の属性

集計対象の属性を表 3-17①-1 に示す。性別で見ると、男性が約 26%、女性が約 74%であった。診断時の年齢分布をみると、60 歳代が最も多く約 26%であった。UICC TNM 分類総合ステージの分布をみると、I 期が約 41%を占めた。観血的治療の実施割合は、約 92%であった。発見経緯を見ると、他疾患経過観察中が約 44%であった。

表 3-17①-1 対象者の属性

	男性		女性		全体	
	対象数	(%)	対象数	(%)	対象数	(%)
全体	1,714	100.0	4,890	100.0	6,604	100.0
拠点病院等	1,615	94.2	4,600	94.1	6,215	94.1
都道府県推薦病院	99	5.8	290	5.9	389	5.9
年齢						
平均年齢 (SD)	58.8	(SD:14.8)	57.2	(SD:15.5)	57.6	(SD:15.3)
0-14 歳	(7-9)		(4-6)		12	0.2
15-39 歳	199	11.6	714	14.6	913	13.8
40 歳代	242	14.1	821	16.8	1,063	16.1
50 歳代	329	19.2	933	19.1	1,262	19.1
60 歳代	499	29.1	1,240	25.4	1,739	26.3
70 歳代	361	21.1	930	19.0	1,291	19.5
80 歳以上	77	4.5	247	5.1	324	4.9
UICC TNM 分類総合ステージ*						
I 期	599	34.9	2,118	43.3	2,717	41.1
II 期	94	5.5	241	4.9	335	5.1
III 期	465	27.1	1,517	31.0	1,982	30.0
IV 期	522	30.5	945	19.3	1,467	22.2
不詳	34	2.0	69	1.4	103	1.6
観血的治療						
有	1,570	91.6	4,519	92.4	6,089	92.2
原発巣・治癒切除	1,347	78.6	4,047	82.8	5,394	81.7
原発巣・非治癒切除	124	7.2	306	6.3	430	6.5
原発巣・治癒/非治癒	99	5.8	166	3.4	265	4.0
の別不詳						
無	144	8.4	371	7.6	515	7.8
発見経緯						
がん検診	29	1.7	160	3.3	189	2.9
健康診断・人間ドック	290	16.9	741	15.2	1,031	15.6
他疾患経過観察中	787	45.9	2,116	43.3	2,903	44.0
その他・不明	608	35.5	1,873	38.3	2,481	37.6

(3) 5年生存率

5年生存率を表3-17①-2に示す。全体の5年実測生存率は約93%、相対生存率が約97%であった。年代別にみた相対生存率は、どの年代でも94%以上であった。UICC TNM分類総合ステージ別に相対生存率をみると、全体でIV期でも90%を超えていた。

表3-17①-2 属性別5年生存率

	男性				女性				全体			
	実測	相対	95%信頼区間		実測	相対	95%信頼区間		実測	相対	95%信頼区間	
全体	88.2	95.8	94.0	97.3	94.1	97.7	97.0	98.4	92.5	97.2	96.5	97.8
拠点病院等	88.1	95.6	93.7	97.2	94.1	97.7	97.0	98.4	92.6	97.2	96.5	97.8
都道府県推薦病院	89.9	99.2	90.5	100.0	93.0	97.1	93.3	99.7	92.2	97.6	94.2	100.0
年齢												
0-39歳	99.0	99.4	96.4	100.0	99.7	99.9	99.1	100.0	99.6	99.8	99.1	100.0
40歳代	97.5	98.5	95.4	99.9	98.8	99.4	98.3	99.9	98.5	99.2	98.2	99.8
50歳代	90.9	93.4	89.6	96.1	97.4	98.7	97.4	99.5	95.7	97.3	96.0	98.3
60歳代	88.5	94.8	91.5	97.5	95.5	98.1	96.8	99.2	93.5	97.2	95.9	98.3
70歳代	78.9	93.9	88.4	98.5	87.2	94.4	91.9	96.6	84.9	94.3	92.0	96.3
80歳以上	62.3	100.0	87.0	100.0	68.2	91.2	82.8	98.5	66.8	94.5	86.7	100.0
UICC TNM分類総合ステージ												
I期	92.5	97.5	94.9	99.5	97.3	99.5	98.6	100.0	96.2	99.0	98.2	99.7
II期	91.4	97.5	89.0	100.0	93.3	98.8	94.5	100.0	92.7	98.4	94.8	100.0
III期	92.9	100.0	98.8	100.0	95.4	99.6	98.4	100.0	94.8	100.0	99.0	100.0
IV期	79.6	88.9	84.7	92.4	85.6	90.8	88.2	93.0	83.5	90.1	87.9	92.1
不詳	72.9	83.2	62.1	96.9	84.8	92.3	80.1	99.7	80.8	89.3	79.1	96.5
観血的治療												
有	90.8	98.0	96.3	99.4	95.9	99.2	98.6	99.8	94.6	98.9	98.3	99.5
原発巣・治癒切除	92.2	99.4	97.7	100.0	96.4	99.6	99.0	100.0	95.4	99.6	99.0	100.0
原発巣・非治癒切除	78.2	85.2	76.1	92.1	89.8	94.1	90.0	97.2	86.4	91.6	87.7	94.7
原発巣・治癒/非治癒の別不詳	87.8	94.8	85.8	100.0	94.6	97.9	93.0	100.0	92.0	96.8	92.6	99.6
無	60.2	70.7	60.7	79.5	71.0	78.4	72.9	83.2	67.9	76.2	71.5	80.6

甲状腺未分化癌

	対象数	施設数	死亡数	平均年齢	生存状況把握割合 (%)
2012	153	101	143	71.7	100.0
IV期	146	96	137	71.9	100.0

*施設数は、当該対象腫瘍が登録されていた施設数

(1) 生存状況把握割合

集計対象は、153例で、5年以内に亡くなっていたのが143例であった。集計対象全体で生存状況把握割合は、100.0%であった。

(2) 対象者の属性

集計対象の属性を表3-17②-1に示す。性別で見ると、男性が約43%、女性が約57%であった。診断時の年齢分布を見ると、70歳代が最も多く約31%であった。観血的治療の実施割合は、約39%であった。発見経緯を見ると、他疾患経過観察中が約16%であった。

表3-17②-1 対象者の属性

	男性		女性		全体	
	対象数	(%)	対象数	(%)	対象数	(%)
全体	66	100.0	87	100.0	153	100.0
拠点病院等	59	89.4	82	94.3	141	92.2
都道府県推薦病院	(7-9)		(4-6)		12	7.8
年齢						
平均年齢 (SD)	69.3	(SD:10.5)	73.5	(SD:11.2)	71.7	(SD:11.1)
15-39歳	(1-3)		(1-3)		(1-3)	
40歳代	(1-3)		0	0.0	(1-3)	
50歳代	(4-6)		(4-6)		10	6.5
60歳代	24	36.4	23	26.4	47	30.7
70歳代	22	33.3	25	28.7	47	30.7
80歳以上	11	16.7	32	36.8	43	28.1
UICC TNM 分類総合ステージ						
IV期	62	93.9	84	96.6	146	95.4
不詳	(4-6)		(1-3)		(7-9)	
観血的治療						
有	20	30.3	40	46.0	60	39.2
原発巣・治癒切除	(7-9)		22	25.3	31	20.3
原発巣・非治癒切除	(7-9)		14	16.1	23	15.0
原発巣・治癒/非治癒の別不詳	(1-3)		(4-6)		(4-6)	
無	46	69.7	47	54.0	93	60.8
発見経緯						
がん検診	0	0.0	0	0.0	0	0.0
健康診断・人間ドック	0	0.0	0	0.0	0	0.0
他疾患経過観察中	12	18.2	13	14.9	25	16.3
その他・不明	54	81.8	74	85.1	128	83.7

(3) 5年生存率

5年生存率を表3-17②-2に示す。全体の5年実測生存率、相対生存率ともに10%未満であった。対象数が限られるため生存率値の解釈には留意が必要である。

表3-17②-2 属性別5年生存率

	男性			女性			全体		
	実測	相対	95%信頼区間	実測	相対	95%信頼区間	実測	相対	95%信頼区間
全体	4.6	5.6	1.5 14.1	8.1	9.4	4.1 17.4	6.5	7.7	4.0 13.2
拠点病院等	3.4	4.4	0.8 13.3	7.3	8.1	3.3 15.8	5.7	6.6	3.1 12.0
都道府県推薦病院	-	-		-	-		-	-	
年齢									
50歳代	-	-		-	-		-	-	
60歳代	-	-		-	-		4.3	4.5	0.8 13.4
70歳代	-	-		-	-		6.4	7.2	1.9 17.7
80歳以上	-	-		9.4	12.6	3.2 30.0	9.3	13.1	4.2 28.2
UICC TNM分類総合ステージ									
IV期	4.8	6.0	1.6 15.1	7.1	8.1	3.3 15.8	6.2	7.2	3.5 12.6
不詳	-	-		-	-		-	-	
観血的治療									
有	-	-		15.0	17.5	7.1 32.2	15.0	17.7	8.7 29.6
無	0.0	0.0	0.0 0.0	2.1	2.4	0.2 10.9	1.1	1.3	0.1 6.1

甲状腺腫瘍

	対象数	施設数	死亡数	平均年齢	生存状況把握割合 (%)
2012	34	29	(4-6)	61.4	100.0

*施設数は、当該対象腫瘍が登録されていた施設数

(1) 生存状況把握割合

集計対象は、34例であった。集計対象全体で生存状況把握割合は、100.0%であった。

(2) 対象者の属性

集計対象の属性を表 3-17③-1 に示す。対象数が限られるため全体でのみ示す。診断時の平均年齢は 61.4 歳であった。観血的治療を受けた者が 33 名であった。発見経緯を見ると、他疾患経過観察中が 13 名であった。

表 3-17③-1 対象者の属性

	対象数	(%)
全体	34	100.0
拠点病院等	34	100.0
都道府県推薦病院	0	0.0
年齢		
平均年齢 (SD)	61.4	(SD:16.1)
15-39 歳	(4-6)	
40 歳代	(7-9)	
50 歳代	(1-3)	
60 歳代	(7-9)	
70 歳代	11	32.4
80 歳以上	(1-3)	
UICC TNM 分類総合ステージ*		
I 期	(7-9)	
II 期	(1-3)	
III 期	(7-9)	
IV 期	16	47.1
不詳	0	0.0
観血的治療		
有	33	97.1
原発巣・治癒切除	25	73.5
原発巣・非治癒切除	(4-6)	
原発巣・治癒/非治癒の別不詳	(1-3)	
無	(1-3)	
発見経緯		
がん検診	(1-3)	
健康診断・人間ドック	(4-6)	
他疾患経過観察中	13	38.2
その他・不明	16	47.1

(3) 5年生存率

5年生存率を表 3-17③-2 に示す。全体の5年実測生存率が 85.3%、相対生存率が 92.0%であった。対象数が限られるため生存率値の解釈には留意が必要である。

表 3-17③-2 属性別 5年生存率

	全体			
	実測	相対	95%信頼区間	
全体	85.3	92.0	73.6	100.0
拠点病院等	85.3	92.0	73.6	100.0
観血的治療				
有	84.9	90.0	71.4	99.1
無	-	-		

18. 女性卵巣癌

	対象数	施設数	死亡数	平均年齢	生存状況把握割合 (%)
2012	5,141	335	1,980	58.3	98.4
I 期	2,064	310	212	54.1	97.8
II 期	439	193	114	57.7	98.6
III 期	1,656	299	958	60.8	98.7
IV 期	807	274	605	63.5	99.3

(1) 生存状況把握割合

集計対象は、5,141 例で、5 年以内に亡くなっていた者が 1,980 例であった。集計対象全体で生存状況把握割合は、98.4%であった。

(2) 対象者の属性

集計対象の属性を表 3-18-1 に示す。診断時の年齢分布をみると、60 歳代が最も多く約 26%、次いで 50 歳代が約 25%であった。UICC TNM 分類総合ステージの分布をみると、I 期が約 40%を占めた。観血的治療の実施割合は、約 85%であった。

表 3-18-1 対象者の属性

	対象数	(%)
全体	5,141	100.0
拠点病院等	4,841	94.2
都道府県推薦病院	300	5.8
年齢		
平均年齢 (SD)	58.3	(SD:14.4)
0-14 歳	26	0.5
15-39 歳	420	8.2
40 歳代	894	17.4
50 歳代	1,297	25.2
60 歳代	1,353	26.3
70 歳代	818	15.9
80 歳以上	333	6.5
UICC TNM 分類総合ステージ		
I 期	2,064	40.1
II 期	439	8.5
III 期	1,656	32.2
IV 期	807	15.7
不詳	175	3.4
観血的治療		
有	4,385	85.3
原発巣・治癒切除	3,045	59.2
原発巣・非治癒切除	904	17.6
原発巣・治癒/非治癒の別不詳	436	8.5
無	756	14.7
発見経緯		
がん検診	173	3.4
健康診断・人間ドック	177	3.4
他疾患経過観察中	974	18.9
その他・不明	3,817	74.2

(3) 5年生存率

5年生存率を表3-18-2に示す。全体の5年実測生存率は約61%、相対生存率が約63%であった。年代別にみた相対生存率は、全体としては60歳代まで60%以上であるが、70歳以上でやや低い傾向にあった。UICC TNM分類総合ステージ別に相対生存率をみると、全体でI期が約92%、II期が約76%、III期が約43%、IV期が約26%であった。観血的治療を受けた者の相対生存率は70.7%で、その内原発巣・治癒切除例では80.8%であった。

表3-18-2 属性別5年生存率

	実測	相対	95%信頼区間	
全体	61.2	63.2	61.8	64.6
拠点病院等	61.3	63.3	61.9	64.7
都道府県推薦病院	59.0	61.3	55.2	66.8
年齢				
0-39歳	86.9	87.1	83.4	90.0
40歳代	72.5	72.9	69.8	75.7
50歳代	67.3	68.2	65.5	70.7
60歳代	60.8	62.5	59.7	65.1
70歳代	42.5	45.8	42.1	49.5
80歳以上	19.8	25.9	20.5	31.8
UICC TNM 総合ステージ				
I期	89.6	92.1	90.7	93.4
II期	73.9	76.2	71.6	80.2
III期	41.7	43.3	40.8	45.7
IV期	24.6	25.6	22.5	28.7
不詳	47.5	49.8	41.8	57.3
観血的治療				
有	68.7	70.7	69.3	72.1
原発巣・治癒切除	78.5	80.8	79.2	82.2
原発巣・非治癒切除	38.1	39.3	36.0	42.6
原発巣・治癒/非治癒の別不詳	63.8	65.4	60.6	69.9
無	17.4	18.5	15.7	21.5

19. 資料: 治療前ステージと術後病理学的ステージの差異

院内がん登録生存率集計では、治療開始前のがんの状態をより正確に表している術後病理学的ステージがある場合は、術後病理学的ステージを、無い場合は治療前ステージを用いて、UICC TNM 分類総合ステージとして集計してきた。ここでは、自施設初回治療開始例、観血的治療の実施有、かつ術前治療が行われなかった例（上皮内がん含）を対象に、術後病理学的ステージと治療前ステージ、そして術後病理学的T分類と治療前T分類の差異について検討した。がんや患者の状態等より、診療上治療前に進行度を判断することが困難な場合もあると考えられる。今回の検討は、生存率等の算出において重要となるがんの進行度をみるにあたっての資料として活用していただきたい。なお、がんの診療において、手術症例では術後病理学的なステージを含めて治療方針が検討され治療が行われている。治療前と術後病理学的進行度情報の差異が、単純に患者の診療における過小過剰医療を示すものではない。

表 18-1 治療前ステージと術後病理学的ステージの差異

	対象 n	Same (%)	Up (%)	Down (%)	不明 (%)
胃	46,412	77.5	12.8	3.6	6.1
大腸	59,949	55.8	14.0	11.5	18.7
肝細胞	4,011	69.1	15.9	4.4	10.7
肝内胆管	736	51.9	26.9	6.7	14.5
肺小細胞	400	65.3	23.8	3.5	7.5
肺非小細胞	22,130	73.2	14.6	5.0	7.2
女性乳	37,220	61.6	14.3	8.1	16.0
食道	8,111	56.7	12.2	6.1	25.0
膵臓	4,020	57.0	20.2	6.5	16.2
子宮頸	14,145	82.0	8.3	1.7	8.0
子宮内膜	7,100	76.0	11.4	3.4	9.3
前立腺	10,276	34.4	47.8	2.6	15.2
膀胱	13,490	66.1	8.0	14.0	11.9
喉頭	1,079	62.6	7.8	6.5	23.2
胆嚢	1,427	46.2	13.8	7.6	32.4
腎	7,049	84.3	6.3	4.1	5.3
腎盂尿管	2,963	47.2	21.5	13.6	17.6
甲状腺乳頭濾胞	6,089	59.0	25.8	4.3	11.0

※治療前/術後病理学的ステージのいずれかが不明/空欄であった場合は不明

表 18-2 治療前 T 分類と術後病理学的 T 分類

1. 胃癌

	pT0	pTis	pT1	pT2	pT3	pT4
cT0	0	0	21(100.0)	0	0	0
cTis	0	4-6	14(73.7)	0	0	0
cT1	8	0	28823(95.1)	867(2.9)	429(1.4)	196(0.6)
cT2	0	0	1677(35.3)	1427(30.0)	968(20.4)	681(14.3)
cT3	0	0	368(7.5)	547(11.2)	2134(43.7)	1834(37.6)
cT4	0	0	53(1.5)	120(3.4)	860(24.0)	2543(71.1)

2. 大腸癌

	pT0	pTis	pT1	pT2	pT3	pT4
cT0	0	45(76.3)	12(20.3)	0	1-3	1-3
cTis	0	8205(90.5)	827(9.1)	20(0.2)	13(0.1)	1-3
cT1	4-6	1082(13.5)	5515(68.6)	954(11.9)	429(5.3)	54(0.7)
cT2	1-3	119(1.7)	871(12.6)	2623(37.9)	2809(40.6)	496(7.2)
cT3	1-3	31(0.2)	180(1.1)	1377(8.4)	12128(73.9)	2693(16.4)
cT4	0	1-3	10(0.1)	123(1.5)	3489(43.7)	4366(54.6)

3. 肝細胞癌

	pT1	pT2	pT3	pT4
cT1	1733(75.3)	515(22.4)	41(1.8)	11(0.5)
cT2	105(12.6)	663(79.8)	56(6.7)	7-9
cT3	17(4.5)	40(10.5)	313(82.2)	11(2.9)
cT4	0	1-3	4-6	59(90.8)

4. 肝内胆管癌

	pT1	pT2	pT3	pT4
cT1	133(51.0)	95(36.4)	18(6.9)	15(5.7)
cT2	16(7.4)	158(73.1)	21(9.7)	21(9.7)
cT3	1-3	16(20.0)	55(68.8)	7-9
cT4	1-3	1-3	4-6	55(84.6)

5. 小細胞肺癌

	pT1	pT2	pT3	pT4
cT1	160(62.3)	83(32.3)	13(5.1)	1-3
cT2	11(12.0)	62(67.4)	19(67.4)	0
cT3	0	7-9	10(50.0)	1-3
cT4	0	0	1-3	1-3

6. 非小細胞肺癌

	pT0	pTis	pT1	pT2	pT3	pT4
cT0	0	0	1-3	0	0	0
cTis	0	17(81.0)	1-3	0	1-3	0
cT1	1-3	63(0.5)	10396(78.4)	2465(18.6)	303(2.3)	34(0.3)
cT2	1-3	1-3	1006(17.0)	4286(72.2)	563(9.5)	78(1.3)
cT3	0	1-3	63(5.6)	307(27.4)	698(62.3)	51(4.6)
cT4	0	0	7-9	28(15.6)	41(22.8)	103(57.2)

7. 女性乳癌

	pT0	pTis	pT1	pT2	pT3	pT4
cT0	4-6	0	1-3	0	0	0
cTis	1-3	4263(76.5)	1189(21.3)	100(1.8)	17(0.3)	1-3
cT1	1-3	610(3.8)	13481(84.7)	1700(10.7)	88(0.6)	31(0.2)
cT2	1-3	165(1.9)	2333(27.5)	5572(65.7)	336(4.0)	79(0.9)
cT3	0	20(3.5)	105(18.3)	173(30.1)	255(44.3)	22(3.8)
cT4	0	1-3	29(4.0)	91(12.7)	31(4.3)	563(78.5)

8. 食道癌

	pT0	pTis	pT1	pT2	pT3	pT4
cT0	1-3	1-3	0	0	0	0
cTis	0	1130(71.7)	444(28.2)	1-3	0	0
cT1	0	272(8.1)	3021(89.9)	49(1.5)	19(0.6)	0
cT2	0	1-3	151(35.4)	104(24.4)	160(37.5)	7-9
cT3	1-3	0	24(3.7)	51(7.9)	517(80.2)	52(8.1)
cT4	0	0	0	1-3	18(34.0)	33(62.3)

9. 胰臟癌

	pTis	pT1	pT2	pT3	pT4
cT0	0	0	0	1-3	0
cTis	99(83.9)	7-9	7-9	4-6	0
cT1	30(5.8)	234(45.3)	60(11.6)	180(34.9)	12(2.3)
cT2	15(2.6)	35(6.1)	209(36.2)	294(51.0)	24(4.2)
cT3	7-9	26(1.5)	58(3.3)	1589(89.7)	91(5.1)
cT4	1-3	4-6	10(2.9)	119(34.9)	206(60.4)

10. 子宮頸癌

	pT0	pTis	pT1	pT2	pT3	pT4
cT0	1-3	14(87.5)	0	0	0	0
cTis	4-6	9291(93.7)	612(6.2)	7-9	1-3	0
cT1	1-3	134(5.5)	2037(83.0)	275(11.2)	4-6	1-3
cT2	0	1-3	122(25.2)	351(72.4)	4-6	4-6
cT3	0	0	4-6	1-3	7-9	1-3
cT4	0	0	0	0	0	7-9

11. 子宮內膜癌

	pT0	pTis	pT1	pT2	pT3	pT4
cT0	0	1-3	4-6	0	0	0
cTis	0	16(51.6)	15(48.4)	0	0	0
cT1	1-3	7-9	4829(89.6)	264(4.9)	279(5.2)	11(0.2)
cT2	0	0	125(24.6)	287(56.4)	96(18.9)	1-3
cT3	0	0	51(12.5)	19(4.6)	324(79.2)	15(3.7)
cT4	0	0	0	0	7-9	19(70.4)

12. 前立腺癌

	pT0	pT1	pT2	pT3	pT4
cT0	0	4-6	1-3	0	0
cT1	1-3	136(3.6)	3022(80.4)	593(15.8)	7-9
cT2	1-3	4-6	3242(73.1)	1172(26.4)	16(0.4)
cT3	1-3	0	144(31.2)	308(66.7)	7-9
cT4	0	0	4-6	1-3	15(75.0)

13. 膀胱癌

	pT0	pTis	pT1	pT2	pT3	pT4
cT0	13(61.9)	7-9	1-3	0	0	0
cTis	1-3	4538(90.9)	406(8.1)	40(0.8)	1-3	4-6
cT1	1-3	1117(24.6)	3051(67.3)	305(6.7)	42(0.9)	17(0.4)
cT2	0	163(11.6)	316(22.4)	749(53.1)	147(10.4)	36(2.6)
cT3	0	20(3.2)	82(13.2)	196(31.6)	281(45.2)	42(6.8)
cT4	0	4-6	14(9.3)	23(15.3)	20(13.3)	89(59.3)

14. 喉頭癌

	pTis	pT1	pT2	pT3	pT4
cTis	42(77.8)	10(18.5)	1-3	0	0
cT1	16(6.7)	206(85.8)	16(6.7)	1-3	1-3
cT2	0	10(8.5)	90(76.9)	13(11.1)	4-6
cT3	0	7-9	18(8.0)	153(67.7)	47(20.8)
cT4	0	1-3	4-6	19(10.3)	157(85.3)

15. 胆嚢癌

	pTis	pT1	pT2	pT3	pT4
cT0	1-3	1-3	1-3	1-3	0
cTis	11(100.0)	0	0	0	0
cT1	4-6	188(62.0)	100(33.0)	7-9	0
cT2	1-3	39(11.5)	259(76.4)	34(10.0)	4-6
cT3	0	1-3	63(28.3)	139(62.3)	19(8.5)
cT4	0	0	4-6	17(27.4)	41(66.1)

16. 腎癌

	pTis	pT1	pT2	pT3	pT4
cTis	1-3	1-3	1-3	0	0
cT1		4826(93.1)	45(0.9)	306(5.9)	4-6
cT2		106(17.7)	328(54.7)	157(26.2)	7-9
cT3		77(10.4)	57(7.7)	591(79.5)	18(2.4)
cT4		1-3	12(13.5)	41(46.1)	33(37.1)

17. 腎盂尿管癌

	pT0	pTis	pT1	pT2	pT3	pT4
cT0	1-3	0	0	0	0	0
cTis	0	332(79.8)	40(9.6)	16(3.8)	28(6.7)	0
cT1	1-3	148(19.7)	342(45.5)	99(13.2)	154(20.5)	7-9
cT2	0	51(8.4)	98(16.2)	196(32.3)	253(41.7)	7-9
cT3	0	22(3.8)	26(4.5)	26(4.5)	445(77.4)	56(9.7)
cT4	0	0	0	4-6	4-6	38(79.2)

18. 甲状腺乳頭濾胞癌

	pT0	pT1	pT2	pT3	pT4
cT0	1-3	1-3	0	0	0
cT1	1-3	1863(62.0)	67(2.2)	974(32.4)	97(3.2)
cT2	0	189(16.2)	423(36.2)	488(41.8)	68(5.8)
cT3	0	44(5.2)	50(5.9)	676(80.1)	74(8.8)
cT4	0	4-6	7-9	101(28.1)	244(68.0)

※甲状腺未分化癌、甲状腺髓様癌は対象数が少ないため集計を行っていない
治療前/術後病理学的 T が不明あるいは空欄であった場合は除く。

付表一覧

1. 集計対象施設一覧
2. 都道府県別 2012 年 5 年生存率集計